

## 第 1 章

### 事業の経緯及び今年度の事業概要



# 第1章 事業の経緯及び今年度の事業概要

## 1-1 事業の経緯

駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援事業（以下「市町村支援事業」という。）は、駐留軍用地又は駐留軍用地跡地（以下「返還跡地等」という。）の跡地利用の推進を図るため、返還跡地等の所在市町村（以下「関係市町村」という。）が実施する返還跡地等の利用に関する取組に対し、適切な支援を行うことを目的に平成11年度から実施している。

【関係市町村：21市町村】

国頭村、東村、名護市、本部町、伊江村、宜野座村、恩納村、金武町、読谷村、うるま市、嘉手納町、沖縄市、北中城村、北谷町、宜野湾市、浦添市、那覇市、久米島町、渡名喜村、北大東村及び石垣市

### 1 平成11年度及び12年度

#### (1) アドバイザー派遣検討会議の開催

市町村への適切なアドバイスを行うために、有識者等で構成する「アドバイザー派遣検討会議」を設置し、関係市町村からの要請を受け、跡地利用に関する課題及びその解決方策等について検討を行った。

#### (2) アドバイザー派遣

関係市町村からの要請により、跡地利用に関する講演会や地域関係者を交えた会議へ「アドバイザー派遣」を行った。平成11年度は北中城村及び恩納村へ、平成12年度は国頭村、沖縄市及び北中城村へ派遣した。

#### (3) その他の支援事業

##### ア 跡地カルテの作成

17の各施設・区域ごとの跡地利用の取組状況及び課題等を対象市町村のヒアリング等を通して抽出し、課題等の共通認識を図り、「アドバイザー派遣」における基礎資料等として整理した「跡地カルテ」を作成した。

【対象市町村：14市町村】

国頭村、東村、本部町、伊江村、恩納村、金武町、読谷村、うるま市、沖縄市、北中城村、北谷町、宜野湾市、浦添市及び那覇市

## イ 跡地関連資料の収集及び整理

跡地利用の手法・制度を整理するとともに、参考事例等跡地関連資料の収集及び整理を行った。

## 2 平成 13 年度

### (1) 事業スキームの検討

前年度に開催された「アドバイザー派遣検討会議」での議論を受け、前年度までのアドバイザーの派遣制度を改め、対象市町村に対してより適切な支援を行うための事業スキームの検討を行った。

### (2) アドバイザー派遣

事業スキームに基づき、より効果的な形で対象市町村に対して派遣を行えるよう、派遣する対象市町村の「跡地カルテ」やアドバイザーとのディスカッションを踏まえて支援方針案を作成した。

また、「アドバイザー派遣」を行った対象市町村（沖縄市・北中城村・宜野湾市・那覇市）に対して、複数回派遣を実施し、初回派遣では、地域の課題を引き出すための対象市町村職員との十分なディスカッションを行い、2 回目には対象市町村の短期・中長期の取組についてアドバイスメモを作成して提案した。

### (3) 市町村支援事業検討会の開催

対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援を行うため、「市町村支援事業検討会」を 2 回開催し、対象市町村に対する「アドバイザー派遣」等の支援策の検討及び今後の市町村支援プログラムのあり方の検討を行った。

### (4) その他の支援事業

#### ● 跡地カルテの更新

前年度に作成した「跡地カルテ」の更新を行った。

## 3 平成 14 年度

### (1) 市町村支援事業検討会議の開催

前年度に引き続き、対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、「市町村支援事業検討会議」を 2 回開催し、①市町村支援事業の年間プログラムの検討、②対象市町村の選定、③適切なアドバイザーの選定、④その他市町村支援に関する必要な事項の検討等を行い、当年度の総括及び次年度以降

の市町村支援スキームの検討を行った。

## (2) アドバイザー派遣

対象市町村に対し、市町村支援事業説明会を開催してアドバイザー派遣の募集を行い、「市町村支援事業検討会議」において派遣対象地区として決定された、金武町及び那覇市に対して「アドバイザー派遣」を行った。

## (3) 重点課題検討調査

前年度に「アドバイザー派遣」を行った対象市町村の課題等を整理し、国、県、市町村及びその作業班からなる「重点課題検討調査会」を4回開催し、重点的に検討を必要とする課題の絞り込みやその解決策について検討を行った。

## (4) その他の支援事業

### ア 跡地カルテの更新

前年度に引き続き、「跡地カルテ」の更新を行い、原則としてSACO及び日米合同委員会において返還合意が行われた地区、既返還地区で跡地利用が図られていない地区を対象とし、現時点での返還の目途、跡地利用計画の策定状況等を勘案して、それぞれの段階で取り組むことが望まれる項目を把握した上で熟度の整理を行った。

また、「普天間飛行場跡地利用に関するとりまとめ」における106項目との関係も示した。

### イ 跡地利用の促進（パンフレット）の更新

「跡地利用の促進（パンフレット）」について次の項目を改訂し、更新を行った。

- ・跡地対策協議会の設置に伴う駐留軍用地跡地対策に係る体制の変化を表示
- ・当年度の「アドバイザー派遣」の実績を追加
- ・今後の跡地利用について、国・県・市町村の役割と次年度の市町村支援事業を紹介

### ウ 跡地ガイドブックの作成

各施設・区域の「跡地カルテ」の概要と、施設の現況写真（航空写真）及び跡地利用への取組状況を整理した「跡地ガイドブック」を作成した。

## 4 平成15年度

### (1) 市町村支援事業検討会議の開催

これまでと同様に、対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、「市町村支援事業検討会議」を3回開催し、①市町村

支援事業の年間プログラムの検討、②対象市町村の選定、③適切なアドバイザーの選定、④その他市町村支援に関する必要な事項の検討等を行い、当年度の総括及び次年度以降の市町村支援スキームの検討を行った。

## (2) アドバイザー派遣

市町村支援事業説明会を開催してアドバイザー派遣の募集を行い、「市町村支援事業検討会議」において派遣対象地区として決定された、恩納村、金武町、石川市（現うるま市）、沖縄市及び北中城村に対して「アドバイザー派遣」を行った。

## (3) その他の支援事業

### ア ホームページコンテンツの充実

市町村支援事業において検討・議論された成果について、経常的な情報公開を図るため、現存する跡地利用対策課のホームページを基本として、「ホームページコンテンツ」の追加・更新を行った。

### イ 跡地利用の促進（パンフレット）の更新

「跡地利用の促進（パンフレット）」について次の項目を改訂し、更新を行った。

- ・返還施設面積、跡地利用概況及び利用面積を最新の数値に更新
- ・「アドバイザー派遣」の流れを変更するとともに、当年度の「アドバイザー派遣」の実績を追加
- ・今後の跡地利用について、①駐留軍用地跡地利用対策関連経費、②大規模駐留軍用地等利用推進費の事業説明文を追記

## 5 平成 16 年度

### (1) 市町村個別訪問（市町村ヒアリング）の実施

対象市町村へ個別訪問を行い、施設について個別の課題等を整理し、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」の募集を行った。

### (2) 市町村支援事業検討会議の開催

対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、「市町村支援事業検討会議」を 4 回開催し、跡地利用に係る市町村支援のあり方、支援内容及び支援の進め方等の検討等を行うとともに、当年度までの課題整理と次年度以降の事業展開の方向性の検討を行った。

### (3) 情報交換会の開催

対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、関係市町村共通の課題等の情報交換を行い、担当者のスキルアップを支援し、担当者同士で気軽に連絡がとりあえる関係を築くことで、跡地利用の促進に寄与することを目的として、「情報交換会」を2回開催し、アドバイザーからの情報提供（地権者の合意形成、企業誘致等）や参加者による意見交換を行った。

### (4) 専門家の派遣（アドバイザー派遣及び相談対応）

「市町村支援事業検討会議」において派遣対象地区として決定された、恩納村及び石川市（現うるま市）に対して「アドバイザー派遣」を行った。

また、前年度までに実施した「アドバイザー派遣」に対して継続的なアドバイスを行うために、市町村からの相談（恩納村10回、金武町2回、石川市（現うるま市）9回）に対して地域担当コンサルタントが対応した。

### (5) その他の支援事業

#### ア 実績のデータベース化

「アドバイザー派遣」の実績及び「跡地カルテ」をデータベース化し、対象市町村へCD-ROM等の電子媒体で配付した。

#### イ 跡地カルテの更新

平成15年度版の「跡地カルテ」を対象市町村に送付し、担当者の修正箇所指摘に基づき、「跡地カルテ」の更新を行った。

#### ウ 跡地利用の促進（パンフレット）の更新

市町村支援事業の成果を広く広報・普及するためにデザインを含めてリニューアルし、次の項目を改訂し、更新を行った。

- ・「アドバイザー派遣」の流れに相談対応を追加
- ・新設の「情報交換会」の説明を追加

#### エ 情報交換会のパンフレット作成

新設した「情報交換会」の内容について、対象市町村の担当者の今後の業務に参考となるよう事例紹介資料や意見交換会の内容及び参考資料をパンフレットとして作成した。

#### オ 返還跡地・施設ガイドの更新

平成14年度に作成した「跡地ガイドブック」を「跡地カルテ」の更新内容に基づき、「返還跡地・施設ガイド」として更新した。

## 6 平成 17 年度

### (1) 市町村個別訪問（市町村ヒアリング）の実施

前年度に引き続き、対象市町村へ個別訪問を行い、施設について個別の課題等を整理し、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」の募集を行った。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に、従来の「市町村支援事業検討会議」を「駐留軍用地跡地利用推進懇談会」（以下「推進懇談会」という。）と改め、3 回開催し、跡地利用を巡る課題と今後の対応や、市町村支援事業の役割等について意見交換を行った。

### (3) 情報交換会の開催

前年度に引き続き、対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を 3 回開催し、事業手法ミックスによる効率的な事業推進、地権者の合意形成、跡地利用推進の体制整備等について、アドバイザー等からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

### (4) 専門家の派遣（アドバイザー及びコンサルタント派遣、相談対応）

「アドバイザー派遣」は要請のあった恩納村及び北中城村に対して派遣を行い、対象市町村からの相談（恩納村 4 回、金武町 3 回、うるま市 1 回、沖縄市 1 回、北中城村 1 回）に対して地域担当コンサルタントが対応した。

また、当年度から「コンサルタント派遣」のメニューを新設した。ただし、当年度は対象市町村からの要請はなかった。

### (5) その他の支援事業

#### ア 関係情報の整理・資料作成

駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料を体系的に整理を行った。

#### イ 跡地カルテの更新

13 市町村・24 施設について、対象市町村個別に改訂への協力依頼を行い、「跡地カルテ」の更新を行った。



## ウ 成果の広報普及活動の充実

当年度の活動を基に、「跡地利用の促進（パンフレット）」及び「ホームページコンテンツ」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ、対象市町村へ配付した。

## 7 平成18年度

### (1) 市町村個別訪問（市町村ヒアリング）の実施

対象市町村へ個別訪問を2回行い、施設について個別の課題等を整理し、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」等の募集を行った。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

前年度に引き続き、対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を2回開催し、広域的な跡地利用のマスタープラン等の検討や、新設したプロジェクト・マネージャーの役割等について意見交換を行った。

### (3) 情報交換会の開催

前年度に引き続き、対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を3回開催し、1回目は返還予定駐留軍用地に係る計画的用地の確保、2回目は市町村の広域連携をテーマに、有識者等からの情報提供や参加者による意見交換を行い、また、3回目はミニシンポジウムとし、北中城村へ派遣中のプロジェクト・マネージャーからアワセゴルフ場地区の事例報告、パネリストと参加者による意見交換等を行った。

### (4) 専門家の派遣（アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等）

従来の「アドバイザー派遣」及び相談対応、「コンサルタント派遣」に加え、当年度から「プロジェクト・マネージャー派遣」の制度を創設した。

「アドバイザー派遣」は要請のあった北中城村及び那覇市に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は、跡地利用等に関し専門的知識を有する者を派遣し、対象市町村の跡地利用に係る負担を軽減することにより、跡地利用の促進及び円滑化を図ることを目的に、北中城村からの要請に応じて半年間の派遣を行った。

なお、当年度の「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

## (5) その他の支援事業

### ア 跡地カルテの更新

当年度から対象市町村に新たに浦添市を加えて 14 市町村・25 施設に対して、対象市町村個別に改訂への協力依頼を行い、「跡地カルテ」の更新を行った。

### イ 成果の広報普及活動の充実

当年度の活動を基に、「跡地利用の促進（パンフレット）」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ、対象市町村へ配付した。

### ウ 関係情報の整理・資料作成

駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料について次の項目を整理・更新した。

- ・ 沖縄県単費調査リスト
- ・ 沖縄総合事務局調査リスト
- ・ 推進費調査リスト
- ・ 市町村支援事業の流れ

## 8 平成 19 年度

### (1) 市町村個別訪問（市町村ヒアリング）の実施

対象市町村へ個別訪問を 2 回行い、施設について個別の課題等を把握・整理し、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」や「プロジェクト・マネージャー派遣」の募集を行った。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

これまでと同様、対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を 2 回開催し、推進懇談会の位置付けや今後の支援事業の取組、ギンバル訓練場の跡地利用に向けた支援等について意見交換を行った。

### (3) アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等専門家の派遣

「アドバイザー派遣」は要請のあった恩納村及び金武町に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、跡地利用の促進及び円滑化に向けた技術的かつ人的な支援を図るため、北中城村へ年間を通じて派遣した。

なお、当年度の「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

#### (4) 情報交換会の開催

前年度に引き続き、対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を3回開催し、1回目は埋蔵文化財調査の取組事例や課題、2回目は事業用地確保に向けた地権者合意形成、3回目は企業誘致の取組等をテーマに、有識者等からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

#### (5) その他の支援事業

##### ア 成果の広報普及活動の充実

当年度の活動を基に、「跡地利用の促進（パンフレット）」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ対象市町村へ配付した。

##### イ 関係情報の整理・資料作成

これまでと同様、駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料について整理・更新し、併せて、支援事業や推進費のこれまでの流れを整理した。

- ・ 沖縄県単費調査リスト
- ・ 沖縄総合事務局調査リスト
- ・ 推進費調査リスト
- ・ 市町村支援事業の流れ
- ・ 推進費の流れ

##### ウ キャンプ瑞慶覧地区の整理

キャンプ瑞慶覧（宜野湾市部分）で、大規模返還がなされた場合の対応を整理した。

##### エ 市町村課長等会議の開催

跡地利用に取り組んでいる対象市町村の担当課長等による会議を開催し、取組状況の報告、市町村支援事業のメニューや推進費の活用について意見交換を行い、今後の進め方を確認した。

##### オ 有識者意見交換会の開催

跡地利用の有識者（アドバイザー）等による意見交換会を開催し、市町村支援事業の改善点や新規提案事項、推進費の活用の今後の方向性等について意見交換を行った。

##### カ 先進地調査

跡地利用の実現に向けて、参考となる大規模開発（新市街地整備）の先進地（愛知県名古屋地区及び周辺）の状況について、現地調査を行った。

## 9 平成 20 年度

### (1) 市町村個別訪問（市町村ヒアリング）の実施

返還跡地等の跡地利用に取り組んでいる対象市町村へ跡地利用に向けた課題等を把握・整理するため個別訪問を 2 回行い、結果を「跡地カルテ」に反映させるとともに、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」及び「プロジェクト・マネージャー派遣」等の募集を行った。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

これまでと同様、対象市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を 2 回開催し、金武町（ギンバル訓練場）、恩納村（恩納通信所）及び北中城村（アワセゴルフ場）の担当者から取組状況報告や課題等の説明を受け、意見交換を行った。

また、対象市町村の跡地利用担当者のための、駐留軍用地跡地利用の手引となるもの（以下「手引書」という。）の作成等について提案がなされた。

### (3) アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等専門家の派遣

「アドバイザー派遣」は要請のあった本部町、恩納村、金武町、読谷村、沖縄市及び北中城村に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、北中城村からの要請に応じて、跡地利用の促進及び円滑化に向けた技術的かつ人的な支援を図るため、北中城村へ年間を通じて派遣した。

また、「コンサルタント派遣」は北中城村の要請により、2 名の派遣を行った。

### (4) 情報交換会の開催

これまでと同様、対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を 2 回開催し、1 回目は土地区画整理事業等の課題や留意点、2 回目は環境影響評価等について、有識者から具体的な取組事例や手続等を紹介し、参加者による意見交換等を行った。

### (5) 市町村跡地担当課長等会議の開催

対象市町村の跡地担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため「市町村跡地担当課長等会議」（以下「担当課長会議」という。）を 2 回開催し、1 回目は那覇新都心事業の事例紹介等、2 回目は軍用地跡地利用の特徴と市町村の役割等について、有識者からの情報提供や参加者による意見交換を行った。

## (6) その他の支援事業

### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書としてとりまとめるとともに、「跡地利用の促進（パンフレット）」及び「跡地カルテ」の更新、「ホームページコンテンツ」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ、対象市町村へ配付した。

### イ 関係情報の整理・資料作成

これまでと同様、駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料等について整理・更新した。

### ウ 有識者意見交換会の開催

跡地利用の有識者（「推進懇談会」の座長）と、対象市町村への跡地利用支援のあり方について意見交換を行い、当年度以降の市町村支援事業の進め方の妥当性や「手引書」の方向性について確認した。

### エ 手引書目次案の作成

「手引書」について、関係者とのヒアリングを経て、その内容の具体性を高め、跡地に係る関係者との意見調整を行うため、「手引書」の目次案を作成した。

## 10 平成21年度

### (1) 市町村個別訪問（市町村ヒアリング）の実施

返還跡地等の跡地利用に取り組んでいる対象市町村へ跡地利用に向けた取組状況や課題等を把握・整理するために個別訪問を2回行い、結果を「跡地カルテ」に反映させるとともに、市町村支援事業に対する要望の有無についてヒアリングを行った。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

これまでと同様、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を2回開催し、北中城村（アワセゴルフ場）から取組状況報告と課題の説明を受けて意見交換を行い、また、次年度から作成する「手引書」の内容を示す「手引書構成案」を作成した。

### (3) アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等専門家の派遣

「アドバイザー派遣」は要請のあった読谷村及び那覇市に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

なお、当年度は「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

#### (4) 情報交換会の開催

これまでと同様、対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を2回開催し、1回目はエリアマネジメントの取組事例、返還跡地を活用するまでの沖縄防衛局の役割、2回目は地域資源活用によるブランドづくり、那覇新都心における跡地利用事業の成果等についてをテーマに、有識者等からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

#### (5) 市町村跡地担当課長等会議の開催

前年度に引き続き、対象市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため「担当課長会議」を2回開催し、1回目は地域の特性を活かした社会資本整備のあり方、2回目は住民参加型のまちづくりの事例等をテーマに、有識者等からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

#### (6) その他の支援事業

##### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の促進（パンフレット）」及び「跡地カルテ」の更新、「ホームページコンテンツ」の更新を行い、「情報交換会」及び「担当課長会議」の内容を冊子にまとめ、対象市町村へ配付した。

##### イ 関係情報の整理・資料作成

これまでと同様、駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料等について整理・更新した。

##### ウ 「手引書構成案」の作成

有識者、対象市町村担当者等の跡地関係者との意見交換を経て、「推進懇談会」において作成した。

##### エ 有識者意見交換会の開催

「推進懇談会」の委員を中心とした有識者と、対象市町村への跡地利用支援のあり方について意見交換を行い、「手引書構成案」の意見交換を行った。

### 11 平成22年度

#### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

対象市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び支援要望の有無についてヒアリングを行うため、対象市町村を2回個別に訪問するとともに、

ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

## (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、対象市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を2回開催し、アドバイザー等専門家の派遣等のあり方の検討や、「手引書」の策定に併せて、今後の跡地利用を進めるに当たっての考え方を取りまとめた「メッセージ」の作成を行った。

## (3) 情報交換会

対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を2回開催し、埋蔵文化財調査に関する手続きや留意点、取組事例、関係機関との調整等について、対象市町村担当者等及び有識者等からの情報提供、意見交換等を行った。

## (4) 跡地関係市町村担当課長会議

対象市町村の担当課長を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため、「担当課長会議」を2回開催し、1回目は環境に配慮したまちづくり、2回目は不発弾等対策についてをテーマに、有識者等からの情報提供と参加者による意見交換等を行った。

なお、第2回「担当課長会議」では、「手引書」の内容等について意見交換を行った。

## (5) アドバイザー等専門家の派遣

対象市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった金武町及び北中城村に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、アワセゴルフ場跡地利用の推進に従事させるため、北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

なお、当年度は「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

## (6) その他の支援事業

### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の促進(パンフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の作成を行った。

また、「情報交換会」、「担当課長会議」での講演会の内容を冊子にまとめ、対象市町村へ配付した。

さらに、平成16年度に作成した「返還跡地・施設ガイド」について、これまでの「跡



地カルテ」の更新内容等に基づきリニューアルし、新たに「返還跡地・返還合意施設ガイド」として作成した。

## イ 関係情報の整理

これまでの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績を整理した。

## ウ キャンプ瑞慶覧に関する類似地区意見交換会

地域性、隣接性、返還に向けた段階等から類似性のある地区として、「キャンプ瑞慶覧」を抽出し、対象市町村のうち関係する市町村（沖縄市・北中城村・北谷町・宜野湾市）の担当者を対象に、各跡地の取組状況や今後の課題を担当者間で情報共有することを目的として「類似地区意見交換会」を実施した。

## エ 手引書の作成

対象市町村担当者等の跡地利用の指針となる「手引書」について、前年度作成した「手引書構成案」を基に、手引書作成作業部会の助言等を経て取りまとめを行った。

## 12 平成 23 年度

### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

対象市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び支援要望の有無についてヒアリングを行うため、対象市町村を2回個別に訪問するとともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、対象市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資するため「推進懇談会」を2回開催し、跡地利用に促進に向けた民間参画の実現を果たす上での県及び市町村の役割等について、意見交換を行った。

### (3) 情報交換会

対象市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を2回開催し、1回目は地権者合意形成に必要な要素や市町村担当者の心構えについて、2回目は世界的な都市間競争に勝ち抜くために行政が果たすべき役割等及び県内や県外の事例を通して企業誘致における新しい動きと市町村の役割等について、講演形式で情報提供を行った。

### (4) 跡地関係市町村担当課長会議

対象市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行う



ため、「担当課長会議」を2回開催し、1回目は跡地利用における地権者の参画・組織づくりについて、実務担当者による講演形式で行い、2回目は組合施行の取組を基に、地権者の跡地利用への参画及び企業誘致・立地や投資を巡る県外の事例紹介について、講演形式で情報提供を行った。

## (5) アドバイザー等専門家の派遣

対象市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった金武町及び宜野湾市に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、アワセゴルフ場等跡地利用の推進に従事させるため、北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

なお、当年度は「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

## (6) その他の支援事業

### ア 企業誘致に関する類似地区意見交換会

第1回「推進懇談会」において「跡地利用を進める上で、民間の活用を実現するために県や市町村が果たすべき役割」について議論されたことを受け、企業誘致の実績がある、又は、企業誘致を予定している対象市町村を対象に「民間参画の方法・進め方等における市町村の役割・課題等」について意見交換を行った。

### イ 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の促進(パンフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の作成を行った。

また、「情報交換会」、「担当課長会議」での講演会の内容を冊子にまとめ、対象市町村へ配付した。

### ウ 関係情報の整理

これまでの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績を整理した。

## 13 平成24年度

### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

対象市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び支援要望の有無についてヒアリングを行うため、対象市町村を2回個別に訪問するとともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

## (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、対象市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を2回開催し、民間参画を促進するための市町村等が果たす役割や、今後の支援事業の新たな取組等について意見交換を行った。

## (3) 跡地関係市町村担当課長会議

関係市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため、「担当課長会議」を2回開催し、1回目は「沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法（以下「跡地利用特措法」という。）」について、内閣府及び防衛省担当者による説明等が行われ、2回目は災害に強く環境にやさしいまちをつくるための考え方や手法について、講演形式で情報提供を行った。

## (4) 情報交換会

関係市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、担当職員間の情報共有や意見交換の場として、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を2回開催し、1回目は民間事業者の企画開発力及び経営ノウハウを活用し、周辺地域を含めた跡地利用の活性化を促す手法等について、講演形式で情報提供を行った。また、「アワセゴルフ場跡地の進捗状況」について、北中城村担当者による説明が行われた。2回目は用地確保のため活用が求められる集約換地の活用方法と現状、用地の活用における民間活用の事例・あり方について及び土地区画整理事業の業務の相当部分を民間事業者へ委託する手法等について、講演形式で情報提供を行った。

## (5) アドバイザー等専門家の派遣

対象市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった宜野湾市、読谷村及び本部町に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった北中城村及び北谷町へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、アワセゴルフ場跡地利用の推進に従事させるため、北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

## (6) その他の支援事業

### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(パンフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

また、「情報交換会」、「担当課長会議」での講演会の内容を冊子にまとめ、関係市町村へ配付した。

## イ 手引書の更新

平成 22 年度に発行した「駐留軍用地跡地利用のための手引書」を平成 24 年 4 月 1 日に跡地利用特措法が施行されたこと等から、手引書の内容を更新した。

## ウ 関係情報の整理

平成 23 年度までの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績及び平成 24 年度沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）による跡地関係調査の実績を整理した。

### 14 平成 25 年度

#### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

対象市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び支援要望の有無についてヒアリングを行うため、対象市町村を 2 回個別に訪問するとともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、対象市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を 2 回開催し、本部町（上本部飛行場跡地）や金武町（ギンバル訓練場跡地）の担当者から取組状況報告を受け、今後の支援事業の新たな取組や都市的利用以外の市町村への支援メニューについて意見交換を行った。

#### (3) 跡地関係市町村担当課長会議

関係市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため、「担当課長会議」を 2 回開催し、1 回目は跡地に残された貴重な緑地を保全するための考え方や手法について、講演形式で情報提供を行った。また、沖縄振興開発金融公庫から、跡地利用における同公庫の取組や、平成 25 年度に関係市町村を対象に拡充・創設された「駐留軍用地跡地開発促進貸付制度」について、情報提供を行った。2 回目は基地跡地という特殊性がある地区の合意形成の事例等について、読谷村内の 2 地区の地区計画による取組状況等を講演形式で情報提供を行った。また、小規模な区域を段階的に整備する「柔らかい区画整理」を実施することのメリットや事例について、講演形式で情報提供を行った。

#### (4) 情報交換会

関係市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、担当職員間の情報共有や意見交換の場として、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を 2 回開催し、1 回目は 6 次産業化による地域資源を活用した新しい産業の事例等について、講演形式

で情報提供を行った。また、北中城村へ派遣したプロジェクト・マネージャーから、アワセゴルフ場跡地における事業化までの取組状況や問題点等活動状況等の報告を行った。2 回目は平成 23 年度に改正された環境影響評価法における制度の概要等について、講演形式で情報提供を行った。また、アワセゴルフ場跡地において、実際に調査を実施した担当者から、環境影響評価を実施する際の留意点等について、講演形式で情報提供を行った。

## (5) アドバイザー等専門家の派遣

対象市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった宜野湾市、浦添市及び那覇市に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった宜野湾市及び北中城村へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は返還が合意されているキャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区、喜舎場住宅地区）及び既返還地であるキャンプ瑞慶覧（サウスプラザ地区）の跡地利用の推進に従事させるため、前年度に引き続き北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

## (6) その他の支援事業

### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(パンフレット)」、「跡地カルテ」及び「返還跡地・返還合意施設ガイド」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

### イ 関係情報の整理

平成 23 年度までの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績及び平成 25 年度沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）による跡地関係調査の実績を整理した。

## 15 平成 26 年度

### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

対象市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び支援要望の有無についてヒアリングを行うため、対象市町村を 2 回個別に訪問するとともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、対象市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を 2 回開催し、今後の市町村支援事業の新たな取組として、今後の跡地

利用における土地の集約と計画的土地利用について意見交換を行った。

### (3) 跡地関係市町村連絡会議

関係市町村において跡地利用の実務に携わっている担当者を対象に、跡地利用担当者間の連携強化を図り、必要な情報を提供するとともに、担当者のスキルアップを図るため、「跡地関係市町村連絡会議（以下、「連絡会議」という。）」を1回開催し、今後返還が予定されている返還跡地等において跡地利用を推進していく上でも、埋蔵文化財調査は重要なプロセスであると同時に、跡地利用計画や事業の進捗においては重要な要素となってくることから、円滑な跡地利用への取組の推進と貴重な文化財の調査・保護を両立させるための取組として、埋蔵文化財調査を実施する上での留意点等について、埋蔵文化財調査の実務を担当してきた経験者等による、講演形式で情報提供を行った。

### (4) 跡地関係市町村個別会議

跡地利用の手法が類似する関係市町村を対象に、各市町村の跡地利用に対する取組状況の報告及び意見交換を中心に行い、より具体的、深掘りした情報の共有を図るため、「跡地関係市町村個別会議（以下「個別会議」という。）」を2回開催し、1回目は平成25年4月に発表された「統合計画」で返還予定時期等が示された、嘉手納飛行場より南の施設を有する関係市町村を対象に、跡地利用特措法に基づく先行取得の取組状況及び予定等を報告するとともに、今後の跡地等における事業化への取組の参考にすることを目的に意見交換を行った。また、意見交換に先立ち、跡地利用特措法の先行取得制度の概要等について説明するとともに、土地区画整理事業における土地の集約化の事例、土地の評価、先行取得の必要性等について、有識者による講演会形式で情報提供を行った。

2回目は、嘉手納飛行場より北の区域の関係市町村を対象に、6次産業化の事例や6次産業化のポイント等について参考事例等の情報提供をするとともに、跡地利用の取組状況等の情報を共有することを目的に意見交換を行った。また、意見交換に先立ち、農と緑を活かした土地利用の事例等について、有識者による講演会形式で情報提供を行った。

### (5) アドバイザー等専門家の派遣

対象市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった宜野湾市に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった北谷町へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は平成27年3月末に返還が予定されているキャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の跡地利用実現に向けた関係機関や地主会等との対外的な各種調整、跡地利用計画及び地権者合意形成への助言等を行うため、宜野湾市からの要請に応じて2名派遣を行った。

## (6) その他の支援事業

### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(パンフレット)」、「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

### イ 関係情報の整理

平成 26 年度沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）による跡地関係調査の実績を整理した。

## 16 平成 27 年度

### (1) 関係市町村の検討課題の把握等

関係市町村における返還跡地等の取組状況及びその検討課題を把握するとともに、アドバイザー等専門家の派遣等の支援要望を確認するため、対象市町村を 2 回個別に訪問し、ヒアリングを行い、ヒアリング結果を「跡地カルテ」等に反映した。

また、対象市町村の文化財調査の状況を把握するため、文化財調査を担当する部署からもヒアリングを実施した。

### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

駐留軍用地跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、返還跡地等、対象市町村ごとに異なる課題について意見交換し、跡地利用を推進する際の留意点、新たな支援方法を検討し、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を 2 回開催し、今後の市町村支援事業の新たな取組として、跡地関係市町村に対する情報発信のあり方について意見交換を行った。

### (3) 跡地関係市町村連絡会議

関係市町村において跡地利用の実務に携わっている担当者を対象に、跡地利用担当者間の連携強化を図り、必要な情報を提供するとともに、担当者のスキルアップを図るため、「跡地関係市町村連絡会議（以下、「連絡会議」という。）」を 1 回開催し、今後返還が予定されている返還跡地等において跡地利用を推進していく中で、訪日外国客数が急増している状況から、対日インバウンド観光産業の現状や外国人投資家及び観光客が沖縄に対して抱いているイメージ、地方公共団体が海外投資家と交流するうえでの留意点、それらを踏まえたうえでの海外投資家への情報発信のあり方等について、中国や台湾における豊富な実務経験を有する有識者による、講演形式で情報提供を行った。

#### (4) 跡地関係市町村個別会議

跡地利用の取組や課題等が類似する関係市町村を対象に、各市町村の跡地利用に対する取組状況の報告及び意見交換を中心に、より具体的、深掘りした情報の共有を図るため、「跡地関係市町村個別会議（以下「個別会議」という。）」を2回開催した。

1 回目は、嘉手納飛行場より南の関係市町村を対象に、各市町村が跡地利用で計画している公共施設にはどのようなものがあり、その整備を行うにはどういったPFI事業が適しているか、全国の類似事例やその自治体の取組等を通じて、各市町村がどういった取組を行えばよいかなどについて情報交換することを目的とした意見交換を実施した。

また、意見交換に先立ち、全国の自治体が実施しているPFI事業の取組や公民連携によるPFI事業の考え方やノウハウ等の紹介を含むPFI事業の事例等について、有識者による講演形式で情報提供を行った。

2 回目は、嘉手納飛行場より北の関係市町村を対象に、滞在型市民農園を各市町村で展開すると想定した場合の地域活性化、経済的効果等のメリットや懸案事項などについて情報共有することを目的とした意見交換を実施した。

また、意見交換に先立ち、各自治体が跡地利用で検討している医療・福祉・観光等の施設と連携した土地活用方策の一つとして、滞在型市民農園（＝クラインガルテン）の開設・管理・運営等についてのノウハウや全国の事例等について、有識者による講演形式で情報提供を行った。

#### (5) アドバイザー等専門家の派遣

対象市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった宜野湾市、金武町及び読谷村に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった北谷町、宜野湾市及び金武町へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は平成27年3月末に返還されたキャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の跡地利用の推進及び関係機関や地主会等との対外的な各種調整、跡地利用計画及び地権者合意形成への助言等を行うため、宜野湾市からの要請に応じて2名派遣を行った。

#### (6) その他の支援事業

##### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(パンフレット)」、「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

##### イ 手引書の更新

策定から5年が経過している「駐留軍用地跡地利用のための手引書」について、その間の法制度を含む各種制度の変化などが生じていることから、再度記述内容等を点



検し、現状に合致するよう更新を行った。

## ウ 関係情報の整理

平成 27 年度沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）による跡地関係調査の実績を整理した。

### 17 平成 28 年度

#### (1) 関係市町村の検討課題の把握等

関係市町村における返還跡地等の取組状況及びその検討課題を把握するとともに、アドバイザー等専門家の派遣等の支援要望を確認するため、原則として、対象市町村を 2 回個別に訪問し、ヒアリングを行い、ヒアリング結果を「跡地カルテ」等に反映した。

また、文化財調査の状況を把握するため、文化財を担当する部署からもヒアリングを実施した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

駐留軍用地跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者により構成し、関係市町村ごとに異なる課題について意見交換し、跡地利用を推進する際の留意点及び新たな支援方法を検討し、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を 2 回開催した。

#### (3) 跡地関係市町村連絡会議

関係市町村において跡地利用の実務に携わっている担当者を対象として、跡地利用担当者間の連携強化を図り、必要な情報を提供するとともに、担当者のスキルアップを図るため、「連絡会議」を 1 回開催し、年度当初において関係市町村の担当者間の連携を図ること及び市町村支援事業の活用を目的として平成 27 年度の取組等について報告、情報提供及び関係市町村と意見交換等を行った。

#### (4) 跡地関係市町村個別会議

跡地利用の取組や課題等が類似する関係市町村を対象とし、各市町村の跡地利用に対する取組状況の報告及び意見交換を中心に、より具体的、深掘りした情報の共有を目的に「個別会議」を 2 回開催した。

1 回目は、嘉手納飛行場以北の関係市町村を対象に、昨今の外資系企業（リゾートホテル）の進出に際して、市町村の担当者は、言葉の壁やビジネス慣習の相違など不安要素が多く、どう対応していけばよいかわからないことが課題として挙がっていることから、外資系企業を誘致する際の課題等について意見交換を行った。

また、意見交換に先立ち、跡地において外資系企業（リゾートホテル等）を誘致するにあたって、自治体としてどういうことに留意すればよいのかについて、有識者による講演形式で情報提供を行った。



2 回目は、嘉手納飛行場以南の関係市町村を対象に、各市町村の跡地利用計画における「ゆとりあるまちづくりとエリアマネジメントに必要なことや考え方」について意見交換を行った。

また、意見交換に先立ち、今後の返還予定の広大な跡地においては、比較的ゆったりとした住宅地の形成も可能と考えられることから、神戸市の舞多聞地区の開発と、良好なコミュニティの形成・維持、安全・安心な地域づくりの実例を参考に、跡地利用計画にどのように取り入れられるかについて情報提供するため、有識者による講演形式で情報提供を行った。

## (5) アドバイザー等専門家の派遣

関係市町村及び本業務の支援対象と認められる関係団体（以下「関係市町村等」という。）の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった読谷村、宜野湾市及び恩納村に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった金武町、読谷村、恩納村及び宜野湾市へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は平成 21 年 3 月末に地主会と外資系企業の間で跡地開発の基本合意書に調印がされた「恩納通信所跡地リゾート計画」に関して、庁内各部署との調整、リゾート計画推進に向けた沖縄県などの関係機関や地主会、開発事業者等との対外的な各種調整、跡地利用計画及び地権者合意形成への助言等に従事させるため、恩納村からの要請に応じて 1 名の派遣を行った。

## (6) その他の支援事業

### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(パンフレット)」、「跡地カルテ」及び「返還跡地・返還合意施設ガイド」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

### イ 若手組織との意見交換

平成 27 年度の推進懇談会において、これからの地権者組織はどうあるべきか、また、若手地権者組織が、跡地利用に対してどういうことを考え、どういった支援を必要としているか、直接意見を聞くことにより、今後の支援策の方向性が見えてくるという提言を受け、宜野湾市及び那覇市の若手地権者組織と意見交換を行った。

### ウ 関係情報の整理

平成 28 年度沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）による跡地関係調査の実績を整理した。



35



## 1-2 今年度の事業概要

### 1 事業の名称

平成29年度 駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援業務  
(アドバイザー派遣等業務)

### 2 事業の目的

本業務は、返還跡地等の跡地利用の推進を図るため、関係市町村が実施する返還跡地等の利用に関する取組を支援するものである。

また、沖縄県やその他関係団体の取組が、関係市町村と連携しており、跡地利用の推進に資するものと認められる場合は本業務の支援対象とすることができる。

### 3 事業の内容

#### (1) 関係市町村の検討課題の把握等

関係市町村における返還跡地等の取組状況及びその検討課題を把握するとともに、アドバイザー等専門家の派遣等の支援要望を確認するため、対象市町村を2回個別に訪問し、ヒアリングを行い、ヒアリング結果を「跡地カルテ」等に反映した。

また、文化財調査の状況を把握するため、対象市町村のうち、宜野湾市、浦添市、読谷村及び北谷町については、文化財を担当する部署からもヒアリングを実施した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

「推進懇談会」は、駐留軍用地跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者により構成し、関係市町村ごとに異なる課題について意見交換し、跡地利用を推進する際の留意点及び新たな支援方法を検討し、跡地利用行政の参考に資するため2回開催した。

#### 【推進懇談会委員】

|        | 所属 役職／専門分野                                               |
|--------|----------------------------------------------------------|
| 大澤 真   | 株式会社フィーモ 代表取締役／金融政策 地域振興                                 |
| 岸井 隆幸  | 日本大学工学部 教授／都市計画・都市交通                                     |
| 阪井 暖子  | Planning & Produce Studio SAI 代表／都市景観 市民・住民参加のまちづくり 合意形成 |
| 堤 純一郎  | 琉球大学工学部 教授／都市環境 都市計画                                     |
| 當銘 健一郎 | 株式会社沖電工 代表取締役専務／都市計画 基地政策                                |
| 中本 清   | 特定非営利活動法人蒸暑地域住まいの研究会 理事／都市建設 建築・景観                       |
| 新田 進   | 那覇新都心株式会社 顧問／都市開発 事業推進                                   |

(五十音順)

### (3) 跡地関係市町村連絡会議

関係市町村において跡地利用の実務に携わっている担当者を対象として、本業務内の実績報告や本年度実施計画等について情報提供及び意見交換を実施することで跡地利用担当者間の連携強化を図るため、「連絡会議」を1回開催した。

以下について報告等を行った。

- ・「平成28年度市町村支援事業の取組について」（報告）
- ・「平成29年度市町村支援事業の取組及び制度等について」（情報提供）
- ・「関係市町村の取組状況について」（意見交換）

また、沖縄総合事務局総務部跡地利用対策課よりシステムの概要等について情報提供を行った。

### (4) 跡地関係市町村個別会議

跡地利用の取組や課題等が類似する関係市町村担当者を対象に、跡地利用に資するテーマを選定し、情報提供、事例紹介及び意見交換を行い、より具体的に、深掘りした情報の共有を目的に「個別会議」を2回開催した。

1 回目は、嘉手納飛行場より北の関係市町村を対象に、都市的利用を行わない都市計画区域外等において、各市町村はどのような跡地利用の手法が有効か、そのためにはどういった取組が必要かなどについて意見交換を行った。

また、意見交換に先立ち、「地域未来投資促進法」を活用した地域経済の活性化等の可能性等について情報提供及び「恩納通信所」、「読谷村内」の跡地利用に携わった経験・実績を有する方による事例紹介を行った。

2 回目は、嘉手納飛行場より南の関係市町村を対象に、跡地利用を進めていく中で文化財が発掘された場合の対応方針や積極的な保存・活用に向けた取組等について意見交換を行った。

また、意見交換に先立ち、「沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適正な利用の推進に関する特別措置法施行令」の一部を改正する政令案について情報提供、土地区画整理事業などで文化財が出現した場合の文化財を活用した施設、公園・緑地の整備に向けた考え方や事例等について事例紹介を行った。

### (5) 跡地利用推進セミナー

関係市町村の跡地利用計画の策定に関わる職員及び関係者を対象に、専門家等による県内の跡地利用計画の実例紹介や土地区画整理事業の仕組みなどについて、跡地利用計画に資する基礎的知識の共有を図るため、「跡地利用推進セミナー」（以下、「推進セミ

ナー」という。)を1回開催した。

「推進セミナー」は、関係市町村の跡地担当者だけではなく、跡地利用に関わる関係者(地主会など)も対象に、那覇新都心地区や小禄金城地区、アワセゴルフ場地区といった土地区画整理事業の経験を元に、事業の各段階における合意形成の対象者と意見集約方法について、地権者の特徴とこれまでに起きた状況を紹介するとともに、その課題への対応策等について、開発に携わった専門家等による講演形式で情報提供を行った。

## (6) アドバイザー等専門家の派遣等

関係市町村等からの要請に応じて、返還跡地利用等に関し専門的知識を有する者の派遣を行った。

「アドバイザー派遣」は要請のあった浦添市及び那覇市に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった恩納村(3回)、金武町、読谷村、北中城村及び宜野湾市へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は、前年度に引き続き、「恩納通信所跡地リゾート計画」に関して、庁内各部署との調整、リゾート計画推進に向けた沖縄県などの関係機関や地主会、開発事業者等との対外的な各種調整、跡地利用計画及び地権者合意形成への助言等に従事させるため、恩納村からの要請に応じて1名の派遣を行った。

また、平成27年3月に返還されたキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)において実施された埋蔵文化財発掘調査へ従事する職員への助言及び指導、同地区に所在する文化財の保存整備に関し、関係機関との調整及び利活用の手法についての専門的見地からの助言等に従事させるため、宜野湾市からの要請に応じて1名の派遣を行った。

## (7) その他の支援事業

### ア 広報普及活動の充実

今年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(パンフレット)」、「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

### イ 関係情報の整理

平成29年度の沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)による跡地関係調査の実績及びその他返還跡地等に関連する調査の実績を整理した。





## **第 2 章**

### **関係市町村の検討課題の把握等**



## 第2章 関係市町村の検討課題の把握等

### 2-1 市町村個別訪問の概要

#### 1 目的

市町村個別訪問は、関係市町村における返還跡地利用等の取組状況及びその検討課題等を把握するとともに、アドバイザー等専門家の派遣等の支援要望を確認するため、対象市町村を直接訪問し、ヒアリングするものである。

ヒアリングの結果は、アドバイザー等専門家の派遣等の必要性や、連絡会議、個別会議及び推進セミナーにおけるテーマの選定として活用していくとともに、推進懇談会で報告を行い、同懇談会の意見交換の手掛かりとしても活用していくこととしている。

#### 2 訪問期間

|     |       |     |     |     |   |     |     |     |
|-----|-------|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|
| 第1回 | 平成29年 | 5月  | 30日 | (火) | ～ | 6月  | 27日 | (火) |
| 第2回 | 平成29年 | 11月 | 9日  | (木) | ～ | 12月 | 8日  | (金) |

#### 3 対象市町村

対象市町村は、国頭村、東村、本部町、伊江村、恩納村、金武町、読谷村、うるま市、沖縄市、北中城村、北谷町、宜野湾市、浦添市及び那覇市の14市町村でヒアリングを実施し、宜野湾市、浦添市、読谷村及び北谷町については、文化財調査を担当する部署からもヒアリングを実施した。

## 2-2 第1回市町村個別訪問

### 1 実施日

以下のとおり、平成29年5月30日（火）～6月27日（火）に実施した。

| 実施日          | 市町村  | 部 署                                                            | 対象施設・区域                                                                                       |
|--------------|------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月30日<br>(火) | 浦添市  | ・企画部企画課<br>・教育委員会文化課                                           | ・牧港補給地区                                                                                       |
| 5月31日<br>(水) | 北谷町  | ・総務部企画財政課<br>・教育委員会社会教育課                                       | ・キャンプ桑江（北側地区、南側地区）<br>・陸軍貯油施設第1桑江タンク・ファーム<br>・キャンプ瑞慶覧（施設技術部地区、インダストリアル・コリドー地区）                |
| 6月1日<br>(木)  | 東村   | ・企画観光課                                                         | ・北部訓練場<br>・慶佐次通信所                                                                             |
| 6月2日<br>(金)  | 宜野湾市 | ・基地政策部まち未来課<br>・基地政策部西普天間跡地推進室<br>・教育委員会文化課                    | ・キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区、インダストリアル・コリドー地区）<br>・普天間飛行場                                                 |
| 6月5日<br>(月)  | 恩納村  | ・企画課                                                           | ・恩納通信所                                                                                        |
| 6月6日<br>(火)  | うるま市 | ・企画部防災基地渉外課                                                    | ・嘉手納弾薬庫地区（旧東恩納弾薬庫）<br>・旧東恩納弾薬庫（楚南地区）                                                          |
| 6月7日<br>(水)  | 北中城村 | ・建設課<br>・企画振興課                                                 | ・キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区、サウスプラザ地区、アワセゴルフ場地区、喜舎場住宅地区）                                             |
| 6月8日<br>(木)  | 沖縄市  | ・建設部都市整備室（都市計画担当）                                              | ・キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）                                                                        |
| 6月9日<br>(金)  | 本部町  | ・企画政策課（政策班）                                                    | ・上本部飛行場                                                                                       |
| 6月12日<br>(月) | 読谷村  | ・ゆたさむら推進部企画政策課<br>・ゆたさむら推進部農業推進課<br>・建設整備部都市計画課<br>・教育委員会文化振興課 | ・瀬名波通信施設<br>・楚辺通信所<br>・読谷補助飛行場（補助飛行場地区、大木地区、西地区、北地区）<br>・嘉手納弾薬庫地区（国道東地区）<br>・トリイ通信施設（大木・大湾地区） |
| 6月13日<br>(火) | 国頭村  | ・企画商工観光課                                                       | ・北部訓練場<br>・安波訓練場                                                                              |
| 6月19日<br>(月) | 那覇市  | ・総務部平和交流男女参画課那覇軍港総合対策室                                         | ・那覇港湾施設                                                                                       |
| 6月26日<br>(月) | 伊江村  | ・政策調整室                                                         | ・伊江島補助飛行場                                                                                     |
| 6月27日<br>(火) | 金武町  | ・基地跡地推進課                                                       | ・ギンバル訓練場                                                                                      |

## 2 ヒアリング結果

### (1) 各施設・区域の現状、取組状況及び課題等

市町村個別訪問において把握した各施設・区域の現状、取組状況及び課題等を整理する。

| 市町村 | 【施設・区域名】<br>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国頭村 | <p><b>【北部訓練場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●村道辺野喜楚洲線の村道認定手続きの状況<br/>⇒林野庁から買い上げ完了、台帳整備も完了している。(H28)<br/>⇒村道認定済み。</li> <li>●国立公園、世界自然遺産登録に向けた状況（環境省、沖縄県、国頭村）<br/>⇒国頭村独自の取り組みは、動植物の保全を目的として、野犬野猫の捕獲業務、林道の夜間通行規制等を行っている。</li> <li>●森林ツーリズムなど、現在・将来、村として跡地利用の活用を検討しているものの検討状況<br/>⇒観光客がやみくもに利用されては困るので、沖縄県主導で、3村共通のルールづくりに取り組んでいる。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北部訓練場返還に伴う村の跡地利用計画の見直し予定<br/>⇒見直し予定なし。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国立公園指定及び世界自然遺産登録に関する地域住民（村民や林業従事者）の合意形成への取組状況<br/>⇒地権者の観光業に対する気運を高めるために説明会、アンケートを行っている。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国頭村 | <b>【安波訓練場】</b><br><b>①現在の地区の状況等</b><br>●やんばる学びの森等施設の運営状況（活用状況）<br>⇒指定管理者制度活用により運営を行っている。<br>⇒利用者も増えてきており、経営状況については、赤字ではない。<br>⇒宿泊施設もあるため、観光客の集客もある。<br><br><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br>●北部訓練場返還に伴う村の跡地利用計画の見直し予定<br>⇒見直し予定なし。<br><br><b>③課題等</b><br>●ダム工事用仮設道路について北部ダム統合管理事務所との調整状況（村道認定に係る図面作成に関する関係機関との調整状況）<br>⇒現在は防衛局管理。引き渡し後は林野庁管理。<br>⇒現時点では未調整。ただし、引き渡し時期が明らかになってきたため、今後管理について調整を行う必要があるという認識である。 |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東村  | <p><b>【北部訓練場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国立公園、世界自然遺産登録に向けた状況（環境省、沖縄県、国頭村）<br/>⇒世界自然遺産登録に向け、環境省、沖縄県、北部3村で定期的に情報共有を行っている。</li> <li>⇒9月頃ユネスコから現地視察受入に向けアピールポイントをとりまとめ中。</li> <li>⇒平成28年9月に国立公園の指定。（区域外）</li> <li>⇒平成29年2月1日付で世界遺産に推薦している箇所は、国立公園に指定されたところ全てではなく、特別保護地区と第一種特別地域のみ。</li> <li>●「福地川河口周辺整備事業」及び「ブルーツーリズム体験施設整備事業」の状況<br/>⇒福地川河口周辺整備事業により海浜公園（海水浴場）を整備、ブルーツーリズム体験施設整備事業により、便益施設や海岸までの階段を整備している。<br/>⇒いずれも施設整備は2年ほど前に完了している。</li> <li>●北部3村における「森林ツーリズム」、「ダムツーリズム」の調整状況<br/>⇒森林ツーリズムは3年ほど前から県（農林水産部森林管理課）主導により、3村でまとめたルールづくりのための勉強会を行っている。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世界自然遺産及び国立公園指定に向けての村民意識の高揚のための取組状況<br/>⇒シンポジウムの開催。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東村  | <p><b>【慶佐次通信所】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H27 に慶佐次区長及び慶佐次ロラン局跡地利用推進委員長よりプロジェクト誘致の要請が村長あてに要請されているが、その後の区、推進委員会、村の動き。</li> </ul> <p>⇒平成 27 年度、地域がコンサルに委託し跡地利用基本方針を作成し、村に提案している。</p> <p>平成 29 年度の取り組みについては区と村で調整予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H28 地権者アンケートの結果</li> </ul> <p>⇒慶佐次区の発展につながる整備として、観光リゾート地としての整備（31.6%）、次いで区民が参加し協力できる企業の誘致（27.8%）が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H28 策定「慶佐次ロラン局跡地利用計画基本方針」に基づきどのような活動を行うのか。</li> </ul> <p>⇒村としては道路や水路のインフラ整備の支援を想定している。</p> <p>⇒区は、企業誘致の方法や誘致支援も村に依頼したいと考えていることも想定している。</p> <p>⇒土地のとりまとめは、地権者で行うことを想定している。また地権者は土地賃借を希望している。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の予定。</li> </ul> <p>⇒平成 28 年 3 月で支障除去作業完了している。</p> <p>⇒文化財調査の必要性は低い。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |



| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 伊江村 | <p><b>【伊江島補助飛行場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「跡地利用計画基本構想」見直しの予定（H26～H28に見直し予定）<br/>⇒構想の見直しについて検討はしているが、現時点で返還の見通しが立たないため、進捗していない。</li> <li>●粉塵対策施設整備の状況<br/>⇒未舗装の滑走路における訓練を行うことにより粉塵被害があることから、演習場内のコーラル滑走路全1600mの内南側900mにおいて、防衛事業により、スプリンクラー設置工事を実施。平成28年12月に完了済み。<br/>⇒スプリンクラーの運用と効果については、継続して確認調査を行う。</li> <li>●文化財調査（目視調査）の状況<br/>⇒目視踏査はH10年度に村内全域完了。米軍がLHDデッキ改良工事（H27.8～）に併せて試掘（H27度）、発掘調査（H28度）も実施している。<br/>⇒その他エリアの試掘調査、環境調査の実施については今後検討する。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本部町 | <p><b>【上本部飛行場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業が県に申請している開発申請の状況。<br/>⇒企業より沖縄県に提出された開発申請（事前）については平成 28 年 10 月より事前審査が行われ、平成 29 年 1 月に回答があった。企業は、開発許可申請提出に向け、現在、関係法令の整理等を実施中。</li> <li>●開発申請が許可となった場合の町の取組に対する検討状況<br/>⇒平成 23 年度に策定した跡地利用基本構想・基本計画との整合性を重視したい。</li> <li>●現在の跡地利用計画（H23 年度策定）に変更はないか。<br/>⇒変更の予定はなし。</li> <li>●町有地がまとまって存在する区域の利用計画は進んでいるか。<br/>⇒進捗なし。</li> <li>●不発弾調査の状況。<br/>⇒町有地については、平成 28 年度に完了。町有地以外については、企業が県と調整していると思われる。</li> <li>●町道「石川謝花線」の進捗状況。<br/>⇒計画に基づき、整備を実施している。平成 24 年度～平成 28 年度の実施箇所については、道路整備は終わっており、現在は橋梁工事を繰り越しで対応中。開通は平成 29 年度中見込み。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 恩納村 | <p><b>【恩納通信所】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リゾート開発会社との協定概要。(SPC、公庫との包括協議も含めて)</li> </ul> <p>⇒道路管理と建物高さの制限や用域の制限で不足している内容について、協定を締結。<br/> 北部振興事業は8/10の補助率のため、残りの道路事業費の負担割合について今後調整が必要。</p> <p>⇒平成29年2月7日に村と公庫で包括協定を締結。企業が進出するにあたっての金利や融資の優遇に配慮。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●排水路の改修進捗状況(H28～)</li> </ul> <p>⇒平成28年度に一括交付金を活用して排水路の実施設計を実施し、平成29年度から用地取得、平成30年度に工事開始予定。</p> <p>⇒水路はリゾート開発会社との協定で環境配慮型に計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北部振興で実施する村道改修事業の状況(H29はエントリーだけ？予算はH30から？)</li> </ul> <p>⇒勢高1号線は平成29年度に実施設計を予定。基本設計は平成27年度に単費で実施。</p> <p>⇒勢高2号線は平成30年度に実施設計を予定。</p> <p>⇒リゾート地に相応しい道路景観を形成するため幅員16mで計画。</p> <p>⇒平成32年度に勢高1号線、平成34年度に2号線の供用開始予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の状況</li> </ul> <p>⇒ホテルの予定地の試掘はほぼ完了。一部保全すべき文化財が発見されたため、リゾート開発会社へ保全の要請が今後必要。</p> <p>⇒跡地利用が定まった場所から、調査を実施する方針。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンサルタント派遣の成果について</li> </ul> <p>⇒コンサルタント派遣では、本地区の跡地利用について村としての整備方針を整理。5つの開発保全の方針と4つのゾーンの設定、開発に向けた体制・役割等を整理。</p> <p>⇒地主会及び隣接する字恩納と字南恩納に対して、コンサルタント派遣の成果について説明会を実施。リゾート関連用域と集落用域の間に交流エリア(地区計画調整エリア)を設定することによって、仮に高さ40mの建物が建築された場合でも集落用域側への圧迫感が抑えられる効果があることを説明し、概ね理解を得ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アドバイザー派遣の成果について確認したい</li> </ul> <p>⇒地主会の有志で設立した合同会社へのアドバイスとして、北中城村アワセ土地区画整理組合の理事である吉村氏を招いて意見交換を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●跡地利用計画について</li> </ul> <p>⇒跡地におけるリゾート関連用域への変更については平成28年度に行った。今後、変更が発生した場合、軽微な変更であれば適宜対応可能。</p> <p>⇒平成28年度の跡地利用計画推進委員会は3月下旬に開催。平成29年度は年度末予定。</p> <p><b>②今年度の取組(今後の取組)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●勢高1号線の実施設計、水路の用地取得、跡地利用計画推進委員会の開催を予定。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 金武町 | <p><b>【ギンバル訓練場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●誘致ホテルの進捗状況<br/>⇒沖縄県の海岸整備事業が完了していないため、2年前から進展なし。<br/>⇒県が海岸整備、その後背地を町が公園整備、更にその後背地にホテルが建築される予定。</li> <li>●跡地計画の残地はないか？<br/>⇒残地の活用については、ふるさとづくり整備事業に基づく用途として活用を検討する。<br/>⇒一部、温泉施設計画を進めている状況。</li> <li>●温泉センターの進捗状況及び運営事業者の公募状況<br/>⇒掘削を完了し、汲み上げポンプを設置（町単費）し、周知活動を行っている。<br/>⇒温泉活用施設の立地については公募を行っている。</li> <li>●海岸整備（県事業）の状況<br/>⇒2年前から環境調査、測量等を実施しており、実施設計がほぼ完了している状態。<br/>⇒今年度、工事に係る段取りを行う予定。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒①町道中川36号線道路整備事業（沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業推進費）：工事、用地買収等（事業調整中）</li> <li>⇒②ギンバル海浜公園整備事業（一括交付金（ソフト交付金））：管理施設等実施設計（実施中）</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒残地活用のため新たな機能導入を検討するにあたり、ふるさとづくり整備事業の見直しが必要になる可能性がある。</li> </ul> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| うるま市 | <p><b>【嘉手納弾薬庫地区（旧東恩納弾薬庫地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b><br/> ●その後の進展状況。（防衛局、県、村、地権者）<br/> ⇒返還の条件（アワセゴルフ場の移設）は満たしているが、返還の見込みは依然なし。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/> ⇒市としては状況を注視している。</p> <p><b>③課題等</b><br/> ⇒基地跡地利用よりも、まずはその場所にアクセスするための道路（楚南道）整備を優先的に考えている。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| うるま市 | <p><b>【旧東恩納弾薬庫（楚南地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <p>●地権者組織の動き<br/> ⇒自分の土地へ復帰したい地権者などがいるが、地域全体としての方針決定がなされていない状況。市は、地権者総会等の協議の場で、意向を固めるよう指導を行っている。<br/> ⇒土地の現況は、くぼ地（丘陵地）であり、嘉手納飛行場の飛行ルート下にあるため騒音や地勢上の課題もある。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/> ⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/> ⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【瀬名波通信施設】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●非農地の内諾状況<br/>⇒非農地に指定する場所の底地地権者から 10 割の同意が必要であるため、同意を収集中。</li> <li>⇒非農地は最大で地区面積の 3 割で設定することが可能であるが、県より設定する必要性や面積規模が適切か等についての根拠を求められており、現在調整中。</li> <li>●非農地の道路整備・不発弾調査の事業実施状況<br/>⇒平成 30 年度の県営畑地帯総合整備事業の採択を目標としており、推進会は採択に向けて非農地の底地地権者から同意を収集中。</li> <li>⇒非農地部分の道路整備については、補助メニュー（特定防衛施設周辺整備調整交付金）はあるが、予算が限られているため、優先順位が高いところから採択される。そのため、本地区に導入が可能かの目途が立っていない状況。また、造成に関しては、補助メニューがない状況。</li> <li>⇒不発弾調査について、事業採択後に農地部分は畑地帯総合整備事業で予定しているが、事業費が膨らむ。非農地は未定で事業者（県）が実施するかどうか。</li> <li>●県営畑地帯総合整備事業に同意を得られなかった 10%（地主数？面積？）の土地は点在するの？その土地は、今後、どのように活用される予定か。<br/>⇒土地は点在しており、事業区域から除外。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の進捗状況<br/>⇒平成 28 年度より試掘調査を実施しており、6 つの文化財を確認。平成 29 年度の調査では、6 つの文化財の範囲を確定する予定。</li> <li>⇒6 つのうち、5 つは農地部分、残りの 1 つは非農地部分に位置。そのため、文化財の取扱いについて検討が必要。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒文化財調査として、6 つの文化財の範囲を確定する予定。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒非農地部分の整備（事業費）</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <b>【楚辺通信所】</b><br><b>①現在の地区の状況等</b><br>●都市計画図書の進捗状況<br>⇒地主会から提案制度を活用した地区計画の提案に対して、村は都市計画決定する方針を決定。<br>⇒平成 27 年度に都市計画図書を作成し、都市計画決定に向けて県と調整中。(地区計画は村決定)<br><br>●シムクガマ公園の進捗状況（公共用地の確保状況含む）。<br>⇒公園は土地の買い上げを予定。(区画道路用地は無償提供)<br><br>●跡地利用計画の進捗状況<br>⇒地区計画（推進地区）で整備する面積は 27.4ha（3 地区）、復帰先地事業（前島地区）、課題地区（3 地区）<br><br><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br>⇒特になし。<br><br><b>③課題等</b><br>⇒特になし。 |



| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【読谷村補助飛行場（補助飛行場地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地改良事業、農業用排水施設整備の進捗状況。<br/>⇒土地改良事業（施行者：県）は平成29年度に換地作業を終えて完了予定。<br/>⇒平成29年度にかんがい施設整備の付帯工事として、スプリンクラーへの貝殻の進入を防ぐフィルターを設置工事を予定。<br/>⇒平成30年度に第2工区にコイン式の散水型給水器の3箇所設置を予定。</li> <li>●農地（施設を含む）の管理委託法人との情報交換状況。<br/>⇒上記の整備完了後、5法人に貸付を予定。</li> <li>●産業廃棄物のその後の状況。<br/>⇒地区西端の村道中央残波線付近に産業廃棄物を確認し、平成28年度に簡易処理。</li> <li>●パークゴルフ場整備の進捗状況（アドバイザー派遣の成果）<br/>⇒平成29年度から整備開始、平成30年度完了予定。</li> <li>●読谷補助飛行場第2工区での市民農園・観光農園（クライン・ガルテン）の検討状況。<br/>⇒平成28年度に、一括交付金を活用して事業可能性調査を実施。<br/>⇒市民農園・観光農園（クライン・ガルテン）に指定することで、建物の建築が制限されるため、「読谷型クラインガルテン」として周辺のホテルや民泊を活用して市民農園としての利用の可能性も検討。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の実施状況。<br/>⇒試掘を実施しており、文化財は確認なし。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒パークゴルフ場の整備を開始予定。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【読谷村補助飛行場（大木地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区画整理事業の進捗状況（H28 仮換地指定も含めて）<br/>⇒墓地と緑地の変更に伴い、県と事業計画の変更について調整中。<br/>⇒予定より調整が長引いているため、仮換地指定は平成 29 年 8 月頃を予定。</li> <li>●仮換地個別説明時の意見は。<br/>⇒減歩に対する意見はあったが、概ね了解を得ており、原案通りで進行中。</li> <li>●国道 58 号バイパスの建設に関して、北部国道事務所との調整状況<br/>⇒工程の調整を適宜実施。</li> <li>●公共事業で発生した土の受入条件（土地区画整理組合）とは。また、その調整状況。<br/>⇒受入条件として、粒度や粒径、土質等に関する条件を整理。<br/>⇒国道 58 号バイパスの工事や、村内の公共事業で発生する土から、必要な土（10 万 m<sup>3</sup>）は確保できる予定。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <b>【読谷村補助飛行場（北地区）】</b><br><b>①現在の地区の状況等</b><br>●都市計画に向けての進捗状況（決定する都市計画の内容）<br>⇒平成28年度に都市計画図書（地区計画）を作成し、県と協議中。<br><br>●地区計画（案）の内容<br>⇒地区内の施設（道路、公園）の位置。<br><br>●一括交付金での産業廃棄物処理は、H28で終了か。または、H29も実施するのか。<br>⇒平成28年度で完了。<br><br><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br>⇒特になし。<br><br><b>③課題等</b><br>⇒特になし。 |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                           |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <b>【読谷村補助飛行場（西地区）】</b><br><b>①現在の地区の状況等</b><br>●何か進展（動き）はないか。<br>⇒特になし。<br><br><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br>⇒特になし。<br><br><b>③課題等</b><br>⇒特になし。 |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【嘉手納弾薬庫地区（国道東地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区画整理事業の進捗状況</li> </ul> <p>⇒村道 4 路線の無電柱化の決定により、工事費の増額と工事期間が延長となるため、平成 29 年度に事業計画の変更を予定。期間は平成 33 年度まで延長予定。</p> <p>⇒無電柱化の整備は街路の補助事業で対応。（いずれは村道として移管）</p> <p>⇒造成は概ね完了。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区画整理事業に含まれない 14ha についての利活用に関する進捗状況</li> </ul> <p>⇒保全の方向。</p> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●遺跡整備調査検討委員会の進捗状況（立ち上げ時期も含めて）及び調査概要（アドバイザー等派遣の成果）</li> </ul> <p>⇒平成 29 年度に「大湾アガリヌウガン遺跡調査整備検討委員会（仮）」を立ち上げる予定。</p> <p>⇒平成 28 年度にコンサルタント派遣を活用して、国指定史跡に向けた現況整理と課題の抽出を行っている。この結果、国指定史跡に向けた考察を加えた報告書を平成 30 年度に発刊予定。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒事業計画変更（事業費増、事業期間延長）を予定。</p> <p>（文化財関連）</p> <p>⇒「大湾アガリヌウガン遺跡調査整備検討委員会（仮）」を立ち上げる予定。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【トリイ通信施設（大木・大湾地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●支障除去の進捗状況（期間が延びることはないか）<br/>⇒平成 31 年度まで延びる予定。</li> <li>●跡地利用基本構想策定の進捗状況<br/>⇒整備手法を土地区画整理事業（組合施行の予定）に決定。（地権者から仮同意取得）<br/>⇒平成 29 年度は、一括交付金を活用して区画整理の B 調査（基本設計、事業計画案作成等）を実施予定。<br/>⇒県には区画整理地区が増えることは伝えているが、具体的なスケジュール等は未調整。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒一括交付金を活用して区画整理の B 調査（基本設計、事業計画案作成等）を実施予定。</li> <li>⇒区域界も確定予定。（周辺の既存住宅地も一部取り込むかも検討する予定）</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特になし。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ桑江（北側地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地区画整理事業の進捗状況<br/>⇒平成32年度の仮換地処分に向けて順調に事業は進行中。</li> <li>●県道24号バイパスの進捗状況<br/>⇒キャンプ桑江（南側地区）側への立入りが困難なため、昨年度と変わらず進捗なし。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●博物館の整備・管理の進捗状況（補助金の申請結果も含めて）<br/>⇒博物館の実施設計を平成29年5月に発注。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒博物館の実施設計。</li> <li>⇒伊礼原遺跡造成工事を予定。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特になし。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ桑江（南側地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外国大学誘致の検討状況<br/>⇒基地内の外国大学の誘致は日米地位協定が障害となり、誘致は断念しているが、町の方針としてキャンプ桑江（南側地区）は知の拠点に位置づけられており、今後も国内外に係わらず教育関連の誘致を模索していく予定。</li> <li>●まちづくり基本計画の進捗状況<br/>⇒特になし。</li> <li>●先行取得の進捗状況<br/>⇒学校用地は目標（面積：4.5ha）の約7割を取得。<br/>⇒平成28年3月末に特定事業の見通しを公表した緑地・公園用地（面積：2.5ha）は約4,500㎡を取得。</li> <li>●まちづくりに関しての合意形成進捗状況<br/>⇒近年は、まちづくりニュースの発行とホームページの更新を実施。</li> <li>●県道24号バイパスの進捗状況<br/>⇒立入りが困難なため、昨年度と変わらず進捗なし。</li> <li>●国道58号拡幅に関する協議の進捗状況（協議内容も含めて）<br/>⇒国が先行して道路事業を実施した場合、将来的に国が買収する可能性のある土地の確保について協議が必要であるが、現在は具体的な協議は実施なし。</li> <li>●返還条件の実施状況<br/>⇒海軍病院は移設済み。</li> <li>●地元説明会の状況<br/>⇒平成27年度は実施なし。平成28年度は緑地・公園用地の先行取得開始に係る地権者説明会を開催。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |



| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【陸軍貯油施設第1 桑江タンク・ファーム】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H28 に桑江南側も含めて一括交付金で跡地利用検討業務を行ったが、その成果。<br/>（具体的な図がかけているか）</li> </ul> <p>⇒平成28年度はタンク・ファームの権利調査業務を実施。（桑江南側は未実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●タンクの原状回復の早期公表に関しての進捗（検討）状況。</li> </ul> <p>⇒今後の課題として認識。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（施設技術部地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地権者組織の活動状況（情報はないか）<br/>⇒平成 28 年 12 月に設立し、13 名の委員で構成。<br/>⇒平成 29 年 1 月と 2 月に、地権者会と地主会の 3 役に対して勉強会を開催。一回目は「望ましい土地利用の方向性について」、2 回目は「北谷城の保存活用について」の意見交換を実施。</li> <li>●「北谷城」の国史跡指定に向けての調査、地権者合意形成の進捗状況。<br/>⇒返還ラインが確定してから、本格的に調査予定。</li> <li>●返還ラインの変更に関しての進捗状況<br/>⇒防衛省と調整中。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の米軍許可状況<br/>⇒平成 28 年 11 月 21 日及び平成 29 年 5 月 15 日に立入り申請。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                   |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <b>【キャンプ瑞慶覧（インダストリアル・コリドー地区）】</b><br><b>①現在の地区の状況等</b><br>●跡地利用計画の取組状況<br>⇒特になし。<br><br>●返還範囲の適正規模要請についての進捗状況<br>⇒毎年、外務省及び防衛省へ要請しているが、具体的な回答なし。<br><br><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br>⇒特になし。<br><br><b>③課題等</b><br>⇒特になし。 |

| 市町村        | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>沖縄市</p> | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●先行取得の進捗状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒平成 33 年度を目標に、公園・緑地として 1.7ha を取得予定。</li> <li>⇒平成 27 年度は 2,409 m<sup>2</sup>、平成 28 年度 1,537 m<sup>2</sup>を取得。</li> <li>⇒平成 29 年度は、6 月 1 日から 2 ヶ月間の受付をスタート。地権者へは郵送及びHPで案内。</li> </ul> </li> <li>●土地利用計画素案（第 4 案）に変更はないか。           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒変更なし。</li> <li>⇒平成 18 年度に複数の市町村にまたがる類似の区画整理を視察しており、本地区と条件は全く同じではなかったが、各市町村で区画整理事業区域を都市計画決定して、施行者は県主体で行っている事例を確認している。今後は一つの組合で施行が可能かの検討や、国や県とも調整が必要になると考えている。</li> </ul> </li> <li>●H29、道路に関しての特定事業の見通しの進捗状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒公園・緑地の先行取得が目標面積（1.7ha）に達していないことから、まずは公園・緑地を優先し、買取状況を見ながら道路の先行取得を検討する予定。</li> </ul> </li> <li>●昨年度の課題について進展           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特に進展なし。</li> <li>⇒一つ目の課題について、今後、こういった手続きが必要になるのかについて、関係機関と調整が必要になると考えている。</li> <li>⇒二つ目の課題について、沖縄市として、今後はイオンモールの状況を踏まえて、市の活性化に向けた取り組みが必要という話しはあがっている。</li> </ul> </li> <li>●返還条件の進捗状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒把握していない。</li> </ul> </li> <li>●地主会について           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒沖縄市のキャンプ瑞慶覧地権者会は平成 20 年度まで活動していたが、早期返還が見送られたため、一時活動を休止している。</li> <li>⇒北中城村は独自のロウワープラザ地主会があり、沖縄市は独自のキャンプ瑞慶覧地権者会がある。</li> </ul> </li> <li>●北中城村との連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒跡地利用に関しての調整（顔合わせ）を 7、8 月頃に行いたいことを北中城村の担当者と調整している。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特になし。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特になし。</li> </ul> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●先行取得の進捗状況及び沖縄市との調整状況</li> </ul> <p>⇒平成27年度は6,606㎡（7筆）、平成28年度は215㎡（1筆）を取得。</p> <p>⇒平成29年度は5月1日から6月30日の期間で受付を行い、現在は約2,800㎡（6筆）の申出があり、交渉は7月中旬頃から行う予定。</p> <p>⇒現在の申出が目標面積を上回る状況であるため、対応については今後の課題である。</p> <p>⇒基金については、平成29年度までを予定しているが、必要に応じて延長を検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地利用計画素案（第4案）に変更はないか。</li> </ul> <p>⇒変更なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな土地利用計画案策定への取組状況及び沖縄市との連携状況</li> </ul> <p>⇒担当者レベルで新たな土地利用計画案の必要性はお互い認識。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防衛局への要望</li> </ul> <p>⇒ロウワープラザ住宅地区から流れる排水が、沖縄警察署側から国道を横断して北中城の水路に流れ、大雨時に氾濫しているため、北中城村は防衛局に排水路のルートの変更を要望中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年度の課題について進展（組合施行で予定されている土地区画整理事業の主体についても含む）。</li> </ul> <p>⇒一つの組織で施行することが望ましいと考えているが、都市計画区域がまたがっていることに関する具体的な検討や調整は、先行取得後に進めていきたいと考えている。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒土地の先行取得の受付を5月1日から6月30日の期間で実施。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（サウスプラザ地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現在、イオンの職員用駐車場になっているが、新たな活用計画は検討されていないか。<br/>⇒具体的な検討はない。</li> <li>⇒平成 29 年度末にイオンとの契約が切れるため、次年度以降は単年度更新も検討。</li> <li>●敷地の整地（埋め立て、コンクリート敷）はイオン施工か。<br/>⇒北中城村アワセ土地区画整理組合が、地区内の工事で発生した残土を処理するために埋め立て。<br/>⇒敷地の整地はアワセ土地区画整理組合で実施し、イオンが駐車場として砂利を敷いて利用。</li> <li>●不発弾調査は実施されていないか。<br/>⇒アワセ土地区画整理事業で発生した残土で埋め立てていること、駐車場として利用（杭等を埋める必要がない）することから、調査の実施なし。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（アワセゴルフ場地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地区画整理事業の進捗状況<br/>⇒事業完了に向け、順調に施工中。</li> <li>●残地はないか。<br/>⇒なし。</li> <li>●アリーナと体育館の進捗状況<br/>⇒平成29年8月に体育館の建築申請を実施予定。<br/>⇒体育館は平成29年10月に着工。平成30年内に完成、平成31年度内に供用開始予定。<br/>⇒アリーナは、用地交渉（単価で折り合いがつかない）が難航。</li> <li>●横断歩道の進捗状況（事業科目は）<br/>⇒アリーナを結ぶ歩道橋は、まちづくり交付金を予定。<br/>⇒イオンモールと徳洲会病院を結ぶ歩道橋については、県の一括交付金事業として採択できないか、村長から中部土木事務所長へ口頭にて要請済。<br/>⇒また、昨年度に交通量調査を実施しており、その結果を踏まえて正式に県へ要請する予定。</li> <li>●跡地カルテの課題において、区画整理組合に対してサポートが必要となっているが、具体的な要望があるのか、村としてどのようなサポートが必要と考えているのか<br/>⇒特に必要なし。</li> <li>●一括交付金を活用した映像資料保存事業の概要及び今後の予定<br/>⇒平成25年度より継続して、「戦後、強制的に土地が収用された比嘉集落の戦前の営みから、ゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため」、組合の解散まで映像記録を残す予定。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒体育館は平成29年10月に着工予定。<br/>⇒一括交付金を活用した映像資料保存事業を実施中。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（喜舎場住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H28の作業部会でレイアウトの選定を行っているが、具体的な絵はできたか（公に出せる）</li> <li>⇒公に出せる具体的な絵はまだないが、案は作成。平成29年度は、一括交付金を活用して測量を実施し、道路の構造をチェック、精度の高い絵に修正する予定。</li> <li>⇒平成29年度の作業部会は、平成29年12月または平成30年1月（測量の結果が出た後）に開催予定。</li> <li>●インター及び県道拡幅の用地以外の用地は発生するか。するとすればその利用方法は。</li> <li>⇒残地は発生する計画となっているが、詳細な面積が不明のため、平成29年度に実施する測量の結果を踏まえ、利用方法を検討。</li> <li>●土地所有者に関する調査概要及び調査結果</li> <li>⇒平成28年度に権利調査を実施し、地権者数を把握。</li> <li>●早期返還に向けた活動状況</li> <li>⇒村長からの要請のみ。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒一括交付金を活用して測量を実施し、道路の構造をチェック、精度の高い絵に修正する予定。</li> <li>⇒作業部会は、平成29年12月または平成30年1月（測量の結果が出た後）に開催予定。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特になし。</li> </ul> |



| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●先行取得の進捗状況（琉大用地）<br/>⇒琉大用地取得については、第3期（4月17日～5月31日）まで申込受付が終了した。合計14.1haの申込みあり。<br/>⇒第1期～2期の申込による契約終了している分は9.9ha。<br/>⇒その他墓地・公園の用地取得について、墓地は予定面積取得済み。公園の不足分は土地区画整理事業における公共減歩で満たす予定。</li> <li>●支障除去の状況。引き渡しはいつ頃が想定されるか。<br/>⇒防衛局にて行っており、平成29年度いっぱいでの引き渡し予定で作業を進めている。</li> <li>●国道58号への連絡道路の早期返還の状況。<br/>⇒市からは機会があるごとにコリドー南側（宜野湾市部分）について早期返還を求める要請はしているが、具体的な動きなし。<br/>⇒今年度も、西普天間住宅地区の跡地利用の推進について平成29年5月に市・県・琉大で国に要請を行っている。</li> <li>●アクセス道路設置の進捗状況<br/>⇒水路として利用されているが、公図上は全て民有地。<br/>⇒地権者説明会は、整備における補助元が決まっていなかったため行っていない。現在は、防衛省の補助対象事業として平成30年度から実施設計を行うために予算要望を行っている。具体的な進め方については、土木課で検討中である。</li> <li>●普天間高校の移転に関する調整状況<br/>⇒県知事から表明があった後に、県と国で予算・工程について調整中である。<br/>⇒県と具体的な進め方については今後調整する。<br/>⇒跡地法に基づき、普天間高校の用地取得の窓口も市になると想定している。</li> <li>●鉄塔関連の状況<br/>⇒昨年度から進展はなし。ただし、景観への配慮については地権者からの要望あり。<br/>⇒昨年度、人体への影響を調査した。調査の結果、特段対策が必要な状況ではないと判断している。</li> <li>●環境アセス調査の状況（都計決定とのリンクは）<br/>⇒平成29年6月現況調査、平成29年12月準備書の公告・縦覧を行う。<br/>⇒平成30年度評価書の縦覧を行う。<br/>⇒土地区画整理事業の区域については、準備書の縦覧に併せて行う予定。<br/>⇒その他については準備書の縦覧と必ずしも一緒ではなくていいという県（都市モノ課）からの見解あり。</li> <li>●区画整理事業への取組状況（原案作成の状況）<br/>⇒原案は作成済み。<br/>⇒最終的な跡地利用計画を地権者に了承を得た上で、その後原案に基づき土地区画整理事業の手続きを進める。</li> <li>●付帯事項（墓地計画以外）の取組状況<br/>⇒補助幹線道路の取付位置、沿道住宅ゾーン延伸について、地権者から要請があった。その後市の方針を説明し、沿道住宅ゾーンを一部延伸することで、概ね了解を得ている。</li> </ul> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</b><br/> （文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の状況</li> </ul> <p>⇒人員については、平成 29 年度に考古学学芸員を 1 人追加し、現在学芸員 5 名で文化財調査を着手している。<br/> 平成 29 年 12 月には調査完了予定。<br/> 斜面緑地部については、区画整理事業の中で、工事着工前に文化財調査を行うことで調整中である。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成 29 年度も継続して以下の調査事業を行う。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①（仮称）拠点返還地（西普天間住宅地区）土地区画整理事業に係る環境影響評価調査事業</li> <li>②拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る跡地利用計画推進事業</li> <li>③拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る埋蔵文化財調査事業</li> <li>④拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る市北部地域のグランドデザインの実現に関する調査事業</li> <li>⑤拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る景観形成重点地区の指定に向けた調査事業</li> </ol> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒昨年度と同様</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（インダストリアル・コリドー地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●跡地利用に関して進捗はあるか（北谷町との連携も含めて）<br/>⇒平成28年度跡地利用調査業務委託を実施し、都市機能の検討等を行った。<br/>⇒宜野湾市と北谷町との連携は特になし。</li> <li>●地権者の情報把握の状況<br/>⇒地権者調査は行ったが、返還されるラインは未確定であるため、返還地区内の地権者を特定はできていない。</li> <li>●アクセス道路に関する地権者説明会の状況<br/>⇒西普天間住宅地区跡地と同様。</li> </ul> <p>（文化財関連）<br/>⇒過年度の試掘調査を把握し、試掘調査していない箇所については、実施できるよう防衛局と折衝していく必要がある。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒変更なし。</p> |

| 市町村         | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宜野湾市</b> | <p><b>【普天間飛行場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●宜野湾 11 号の状況（用地取得の進捗も含めて）<br/>⇒基地内の用地取得は返還後道路事業で進める。<br/>⇒地区外の用地取得が全て完了。平成 29 年 8 月に第 1 工区工事完了予定。<br/>⇒平成 30 年中に用地取得を完了予定。</li> <li>●市が行ったアンケート調査の結果<br/>⇒市が地権者（約 3,900 名）に対し土地活用についてのアンケートを実施。回収率約 30%。<br/>⇒アンケート項目の検討時に若手の会と意見交換を行った。<br/>⇒配置方針図について、6 割が肯定的な意見。わからないという回答が 3 割あるため、プロモーションビデオを活用し周知する必要がある。<br/>⇒また土地利用意向については、資産活用したい意向がこれまでの調査結果より増えてきており、合意形成がより重要となる。</li> <li>●先行取得の進捗状況<br/>⇒平成 28 年度中で、宜野湾市では約 8,500 ㎡、沖縄県は約 9,000 ㎡取得済み。今年度も引き続き用地取得を行っていく。</li> <li>●「全体計画の中間とりまとめ」に基づく「計画内容の具体化作業」の状況<br/>⇒平成 28 年度は、字宜野湾郷友会、字神山郷友会と基地外側のまち歩きを実施し、原風景模型を作製した。まち歩きや模型の作製を通して戦前当時の集落での暮らしや土地利用に関する知恵等を確認し、また情報発信ツールとして南側エリアのプロモーションビデオを作製した。今年度は、(仮称)普天間公園に関する懇談会や西海岸地域の開発整備に関する懇談会からの普天間飛行場跡地利用への提言、道路・鉄道の計画等を踏まえ、配置方針の更新を検討していく予定。</li> <li>●NB ミーティング、若手の会の活動状況<br/>⇒NB ミーティングの取り組みは、平成 28 年度は、普天間飛行場の過去と未来のカタリバと題し、地域の人との意見交換会を実施。民間企業を中心としてまちづくり分科会を開催した。平成 29 年度は、那覇新都心为例として地権者ではない基地周辺の市民を対象に意見交換会を検討中である。<br/>⇒若手の会については、資産活用の方法やまちづくりの方針について、月 1 回の定例会にて意見交換を行っている。今年度は、大規模公園の考え方をテーマとして議論を進めていきたい意向である。若手の会からは、有識者からの勉強会を開催したい旨要請があるため、アドバイザー派遣業務を活用できないか検討中である。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査、環境調査の進捗状況<br/>⇒普天間飛行場内部の文化財調査は実施していない。環境調査については特に進展なし。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 浦添市 | <p><b>【牧港補給地区】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第5ゲートの返還に伴う跡地利用について<br/>⇒返還時期は、未確定。（防衛局からは、平成29年度内返還と報告あり。）<br/>⇒第5ゲート（2ha）だけでの跡地利用計画は考えていない。<br/>⇒現状返還されても活用できず地権者に不利益となってしまうため、一括返還を防衛局に要請している。</li> <li>●先行取得の状況<br/>⇒平成28年度末時点で、3.4ha（27億円）取得済み。</li> <li>●北側進入路返還跡地の用地取得状況<br/>⇒防衛省補助事業を活用して、67.3%取得済み。（進展なし）</li> <li>●海没地の補償状況<br/>⇒進展なし。防衛局は、財務省の予算があれば補償する方針である。<br/>⇒5月24日に市長から自民党幹事長に対し、補償進捗に配慮してほしい旨要請を行った。</li> <li>●基地内郵便局の移設協議に関する情報。<br/>⇒返還条件のひとつ。統合計画の中で、キャンプ瑞慶覧に移すことは決まっているが、場所は未定。<br/>⇒また県の港川道路整備事業にも関係するため、早期移設が必要。<br/>⇒港川道路供用開始に伴い、巻添え返還地もある。<br/>⇒港川道路の整備に併せ、沖縄防衛局で対応する旨、県から報告を受けている。</li> <li>●チームまきほ21の活動状況<br/>⇒7月に第1回勉強会を開催予定。支援事業のコンサルは未定。</li> </ul> <p>（文化財関連）<br/>⇒調査に入れない状況は依然変わりなし。<br/>⇒防衛局によるフェンス等設置工事予定地の試掘調査を行った際は、工事予定範囲において文化財は確認されなかった。<br/>⇒浦添市として米軍の施設新設、建替えの際に、試掘調査をした経緯はあるが、全域で把握している訳ではないため、返還後は未実施範囲を中心に文化財調査を行う必要あり。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>（文化財関連）<br/>⇒市単独の文化財人員不足<br/>⇒直近の増員予定なし。<br/>⇒宜野湾市の例（普天間、瑞慶覧）では市単独だけでなく、県埋蔵文化財センターとエリアを分けて調査を実施している。宜野湾市の体制を、浦添市でも取り入れ県と一緒に調査を実施したい。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 那覇市 | <p><b>【那覇港湾施設】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度の活動スケジュールの確認（跡地利用計画策定手順検討委員会の活動状況も含め）</li> </ul> <p>⇒平成 28 年度より、跡地利用計画づくりにおける第 2 ステージに移行している。</p> <p>⇒平成 28 年度は、第 2 ステージにおける具体的な取り組みを整理し、跡地利用計画策定にかかる「検討体制」、「プロセス」、「合意形成活動」などをまとめた那覇軍港跡地利用計画策定手順書（原案）を作成した。また、これまで行ってきた地権者等との合意形成活動を中断することなく継続して進めた。平成 29 年度は、平成 28 年度に作成した那覇軍港跡地利用計画策定手順書（原案）について、地権者等との共有を図り、那覇軍港跡地利用計画策定手順書を策定する。</p> <p>⇒また、跡地利用計画（案）の検討にあたっては、有識者等で組織する跡地利用計画検討委員会を立ち上げる予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添地区への軍港移転に関し、那覇市、浦添市、沖縄県との調整状況</li> </ul> <p>⇒平成 29 年 4 月 27 日に第 24 回目となる「那覇港湾施設移設に関する協議会」が開催された。協議会において、代替施設の配置案と民港に与える影響・支障の評価結果について報告がなされた。また、評価結果を踏まえた代替施設の配置案の選定については浦添市の回答を確認した上で、改めて協議を行うことが確認された。次回、開催時期については、未定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地主会、次世代の会の活動状況（活動予定）</li> </ul> <p>⇒これまで実施してきた地権者等との合意形成活動を中断することなく継続して実施していく。地主会では、跡地利用に関する専門的な知識の習得に向けた勉強会を開催する。次世代の会では、継続して跡地利用の考え方を検討する。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

## (2) アドバイザー派遣等及び各種会議における講演テーマ等の要望

市町村個別訪問において把握したアドバイザー派遣等への要望及び各種会議等の意見交換又は講演テーマ等への要望を整理する。

| 市町村  | アドバイザー派遣等                                                                                                                                                                                  | 講演テーマ等                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 金武町  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉活用施設の公募に関するアドバイザー派遣を検討。</li> <li>・公園管理棟の設計内容精査に関するコンサルタント派遣を検討。</li> <li>・残地を活用した新たな施設導入に向けた基礎調査に関するコンサルタント派遣を検討。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相続問題への対応について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                          |
| 読谷村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道東地区について、昨年度同様にコンサルタント派遣を予定。</li> </ul>                                                                                                           | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 北谷町  | —                                                                                                                                                                                          | <p>(セミナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地主会からアンケート等で確認してはどうか。</li> <li>・地主の当事者意識を高め、主体的に跡地利用を考えてもらえる内容等</li> </ul> <p>(講演テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村の課題をどうやって解決してるかの情報共有。(例えば、鉄塔の移設に関することなど)</li> <li>・西普天間住宅地区の原状回復の中での文化財調査のやり方等について、文化財調査に関する情報共有。</li> </ul> |
| 北中城村 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インター及び県道拡幅の用地以外の残地について、区画整理事業の可能性検討がコンサル派遣で可能か。</li> </ul>                                                                                         | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 宜野湾市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も西普天間地区の映像資料撮影のためのコンサルタント派遣を要望する予定。</li> </ul> <p>(文化課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月から文化財調査に関するプロジェクトマネージャーの派遣を予定。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーへの参加は市からも若手の会に周知していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                             |
| 浦添市  | —                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームまきほのメンバーが参加するためには、日中開催ではないほうが好ましい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                 |
| 那覇市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地主会を対象とした勉強会の回数を増やすことになればコンサルタント派遣を検討したい。</li> </ul> <p>(地主会独自の取り組みでも、市として申請すれば対応可能)</p>                                                           | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

## 2-3 第2回市町村個別訪問

### 1 ヒアリング内容

5月から6月にかけて実施した市町村個別訪問（第1回）以降の各施設・区域の状況、跡地利用に向けた取組状況、課題等の状況について第1回目のヒアリング結果を基にヒアリングを行った。

また、市町村支援事業の支援メニュー（アドバイザー派遣、コンサル派遣等）に関して、改善・追加要望等について意見交換も実施した。

### 2 実施日

平成29年11月9日（木）～12月8日（金）に以下のとおり実施した。

| 実施日           | 市町村  | 部 署                      | 対象施設・区域                                                                        |
|---------------|------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 11月9日<br>（木）  | 金武町  | ・基地跡地推進課                 | ・ギンバル訓練場                                                                       |
|               | 恩納村  | ・企画課                     | ・恩納通信所                                                                         |
| 11月13日<br>（月） | 沖縄市  | ・建設部都市整備室（都市計画担当）        | ・キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）                                                         |
|               | うるま市 | ・企画部防災基地渉外課              | ・嘉手納弾薬庫地区（旧東恩納弾薬庫）<br>・旧東恩納弾薬庫（楚南地区）                                           |
| 11月15日<br>（水） | 浦添市  | ・企画部企画課<br>・教育委員会文化課     | ・牧港補給地区                                                                        |
|               | 那覇市  | ・総務部平和交流男女参画課那覇軍港総合対策室   | ・那覇港湾施設                                                                        |
| 11月16日<br>（木） | 北中城村 | ・建設課<br>・企画振興課           | ・キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区、サウスプラザ地区、アワセゴルフ場地区、喜舎場住宅地区）                              |
| 11月17日<br>（金） | 伊江村  | ・政策調整室                   | ・伊江島補助飛行場                                                                      |
| 11月20日<br>（月） | 本部町  | ・企画政策課（政策班）              | ・上本部飛行場                                                                        |
| 11月21日<br>（火） | 北谷町  | ・総務部企画財政課<br>・教育委員会社会教育課 | ・キャンプ桑江（北側地区、南側地区）<br>・陸軍貯油施設第1桑江タンク・ファーム<br>・キャンプ瑞慶覧（施設技術部地区、インダストリアル・コリドー地区） |



| 実施日                          | 市町村  | 部 署                                                                                                                                | 対象施設・区域                                                                                                                                                                 |
|------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月24日<br>(金)                | 読谷村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆたさむら推進部企画政策課</li> <li>・ゆたさむら推進部農業推進課</li> <li>・建設整備部都市計画課</li> <li>・教育委員会文化振興課</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬名波通信施設</li> <li>・楚辺通信所</li> <li>・読谷補助飛行場（補助飛行場地区、大木地区、西地区、北地区）</li> <li>・嘉手納弾薬庫地区(国道東地区)</li> <li>・トリイ通信施設（大木・大湾地区）</li> </ul> |
| 11月27日<br>(月)                | 東村   | ・企画観光課                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部訓練場</li> <li>・慶佐次通信所</li> </ul>                                                                                               |
|                              | 国頭村  | ・企画商工観光課                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部訓練場</li> <li>・安波訓練場</li> </ul>                                                                                                |
| 12月4日<br>(月)<br>12月8日<br>(金) | 宜野湾市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地政策部まち未来課</li> <li>・基地政策部西普天間跡地推進室</li> <li>・教育委員会文化課</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区、インダストリアル・コリドー地区）</li> <li>・普天間飛行場</li> </ul>                                                                   |

### 3 ヒアリング結果

#### (1) 各対象施設・区域の第1回訪問時以降の状況等

第2回個別訪問において把握した各対象施設・区域の第1回訪問時以降の状況等（取組状況・課題等）を整理する。

※斜体文字が第2回のヒアリング結果

| 市町村 | 【施設・区域名】<br>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国頭村 | <p><b>【北部訓練場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●村道辺野喜楚洲線の村道認定手続きの状況<br/>⇒林野庁から買い上げ完了、台帳整備も完了している。(H28)<br/>⇒村道認定済み。</li> <li>●<b>道路認定に関する事実確認の結果</b><br/>⇒平成28年度以前に道路認定済み。<br/>⇒平成28年4月から全区間通行可能。</li> <li>●国立公園、世界自然遺産登録に向けた状況（環境省、沖縄県、国頭村）<br/>⇒国頭村独自の取り組みは、動植物の保全を目的として、野犬野猫の捕獲業務、林道の夜間通行規制等を行っている。</li> <li>●<b>返還区域の国立公園追加指定に向けた取り組み状況</b><br/>⇒環境省より、やんばる国立公園の公園区域及び公園計画の変更（一部変更）に係る基本方針やスケジュール案が提示された。<br/>⇒返還区域は全て国立公園の追加指定の対象となる予定。また、平成29年12月25日に引き渡しとなり、管理は林野庁となる。<br/>⇒希少種保護活動を継続中。</li> <li>●<b>林道の夜間通行規制の基準（林道すべてなのか一部なのか）</b><br/>⇒国頭村林道管理要領に基づき実施。<br/>⇒村営林道（11路線）は全て夜間通行規制の対象。<br/>⇒通行規制の時間は、日の入りから日の出までの間。<br/>⇒近隣地域住民、農業・林業従事者、災害時の避難は規制対象外。<br/>⇒夜間利用者は経済課にて申請して許可を得る。</li> <li>●森林ツーリズムなど、現在・将来、村として跡地利用の活用を検討しているものの検討状況<br/>⇒観光客がやみくもに利用されては困るので、沖縄県主導で、3村共通のルールづくりに取り組んでいる。</li> <li>●<b>跡地利用に係る3村共通ルール作りに関する進捗状況</b><br/>⇒やんばる型森林ツーリズム推進体制構築検討会を設置。<br/>⇒やんばる国立公園内（3村）を活用した森林ツーリズム体制の全体構想をH29で構築し、森林ツーリズム体制を運用する事務局（組織）づくり検討中。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国頭村 | <p><b>【北部訓練場】</b></p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>●北部訓練場返還に伴う村の跡地利用計画の見直し予定<br/>⇒見直し予定なし。</p> <p>●<b>返還跡地における国立公園指定への今年度の新たな取り組みの有無</b><br/>⇒今年度は、環境省と協力（主体は環境省）して、やんばる国立公園の公園区域及び公園計画の変更（一部変更）に関するスケジュールに沿った取り組みを進め、次年度の国立公園化に向けて作業中。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>●国立公園指定及び世界自然遺産登録に関する地域住民（村民や林業従事者）の合意形成への取組状況<br/>⇒地権者の観光業に対する気運を高めるために説明会、アンケートを行っている。</p> <p>●<b>アンケートの結果による新たな課題の把握状況</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国頭村 | <p><b>【安波訓練場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●やんばる学びの森等施設の運営状況（活用状況）</li> </ul> <p>⇒指定管理者制度活用により運営を行っている。</p> <p>⇒利用者も増えてきており、経営状況については、赤字ではない。</p> <p>⇒宿泊施設もあるため、観光客の集客もある。</p> <p><b>●運営状況について変化はないか</b></p> <p>⇒年 1 回の収支報告を受けており、運営状況については、指定管理料を支払っていることもあり横ばいである。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北部訓練場返還に伴う村の跡地利用計画の見直し予定</li> </ul> <p>⇒見直し予定なし。</p> <p><b>●返還跡地における今年度の新たな取り組みの有無</b></p> <p>⇒新規事業の予定はない。</p> <p>⇒やんばる学びの森の事業は平成 23 年 5 月に完了済み。</p> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ダム工事用仮設道路について北部ダム統合管理事務所との調整状況（村道認定に係る図面作成に関する関係機関との調整状況）</li> </ul> <p>⇒現在は防衛局管理。引き渡し後は林野庁管理。</p> <p>⇒現時点では未調整。ただし、引き渡し時期が明らかになってきたため、今後管理について調整を行う必要があるという認識である。</p> <p><b>●防衛局から林野庁への引き渡し時期</b></p> <p>⇒平成 29 年 12 月。</p> <p><b>●今後の管理に関する調整の実施状況（変化はないか）</b></p> <p>⇒県道 2 号線からダムへ向かう一部が返還されていないので、村道認定は難しい。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東村  | <p><b>【北部訓練場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国立公園、世界自然遺産登録に向けた状況（環境省、沖縄県、国頭村）<br/>⇒世界自然遺産登録に向け、環境省、沖縄県、北部3村で定期的に情報共有を行っている。</li> <li>⇒9月頃ユネスコから現地視察受入に向けアピールポイントをとりまとめ中。</li> <li>⇒平成28年9月に国立公園の指定。（区域外）</li> <li>⇒平成29年2月1日付で世界遺産に推薦している箇所は、国立公園に指定されたところ全てではなく、特別保護地区と第一種特別地域のみ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>返還区域の国立公園追加指定に向けた取り組み状況</b><br/>⇒来年の春ごろの指定に向け、公園区域及び公園計画の変更について、環境省と調整中。平成29年12月に2回目のヒアリングを予定。<br/>⇒平成29年10月16日にIUCNによる現地調査（東村には来ていない）、意見交換を実施。<br/>⇒平成29年8月に環境省及びやんばる自然保護官事務所が世界自然遺産登録へ向けた3村勉強会を開催。</li> <li>●「福地川河口周辺整備事業」及び「ブルーツーリズム体験施設整備事業」の状況<br/>⇒福地川河口周辺整備事業により海浜公園（海水浴場）を整備、ブルーツーリズム体験施設整備事業により、便益施設や海岸までの階段を整備している。<br/>⇒いずれも施設整備は2年ほど前に完了している。</li> <li>●北部3村における「森林ツーリズム」、「ダムツーリズム」の調整状況<br/>⇒森林ツーリズムは3年ほど前から県（農林水産部森林管理課）主導により、3村でまとめたルールづくりのための勉強会を行っている。</li> <li>●<b>跡地利用に係る3村共通ルール作りに関する進捗状況</b><br/>⇒県主導によるルールづくりのための勉強会は、平成29年度までを予定しているため、今後は引き続き3村でまとめたルールづくりを検討する予定。<br/>⇒北部3村（国頭村・東村・大宜味村）で、国立自然史博物館の誘致に向け、誘致推進協議会を立ち上げ検討中。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>返還跡地における国立公園指定への今年度の新たな取り組みの有無</b><br/>⇒特になし。</li> <li>●<b>地域住民の合意形成に向けた今年度の取組状況</b><br/>⇒国有地のため、特になし。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世界自然遺産及び国立公園指定に向けての村民意識の高揚のための取組状況<br/>⇒シンポジウムの開催。</li> <li>●<b>シンポジウム開催に対する反応</b><br/>⇒平成29年11月にシンポジウムを開催。100名程度集まった。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東村  | <p><b>【慶佐次通信所】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <p>●H27 に慶佐次区長及び慶佐次ロラン局跡地利用推進委員長よりプロジェクト誘致の要請が村長あてに要請されているが、その後の区、推進委員会、村の動き。<br/>⇒平成 27 年度、地域がコンサルに委託し跡地利用基本方針を作成し、村に提案している。<br/>平成 29 年度の取り組みについては区と村で調整予定。</p> <p>●<b>区と村の調整について進展はないか</b><br/>⇒区長及び地権者組織委員長と 10 月に調整を行ったが、特に進展なし。</p> <p>●H28 地権者アンケートの結果<br/>⇒慶佐次区の発展につながる整備として、観光リゾート地としての整備（31.6%）、次いで区民が参加し協力できる企業の誘致（27.8%）が多かった。</p> <p>●H28 策定「慶佐次ロラン局跡地利用計画基本方針」に基づきどのような活動を行うのか。<br/>⇒村としては道路や水路のインフラ整備の支援を想定している。<br/>⇒区は、企業誘致の方法や誘致支援も村に依頼したいと考えていることも想定している。<br/>⇒土地のとりまとめは、地権者で行うことを想定している。また地権者は土地賃借を希望している。</p> <p>●<b>跡地利用計画基本方針やアンケートに基づく地権者組織からの要望はないか</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>●文化財調査の予定。<br/>⇒平成 28 年 3 月で支障除去作業完了している。<br/>⇒文化財調査の必要性は低い。</p> <p>●<b>返還跡地における今年度の新たな取り組みの有無</b><br/>⇒特にないが、跡地利用の足掛かりになればと思い、沖縄振興開発金融公庫へ地区の情報提供を行っている。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> <p>●<b>新たな課題の有無</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 伊江村 | <p><b>【伊江島補助飛行場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「跡地利用計画基本構想」見直しの予定（H26～H28に見直し予定）<br/>⇒構想の見直しについて検討はしているが、現時点で返還の見通しが立たないため、進捗していない。</li> <li>●粉塵対策施設整備の状況<br/>⇒未舗装の滑走路における訓練を行うことにより粉塵被害があることから、演習場内のコーラル滑走路全1600mの内南側900mにおいて、防衛事業により、スプリンクラー設置工事を実施。平成28年12月に完了済み。<br/>⇒スプリンクラーの運用と効果については、継続して確認調査を行う。</li> <li>●<b>粉塵対策（スプリンクラー設置）の効果などの検証結果</b><br/>⇒地域住民からの被害報告がないため検証していない。<br/>(地域住民からの被害報告がないため一定の効果はあったと考える。)</li> <li>●文化財調査（目視調査）の状況<br/>⇒目視踏査はH10年度に村内全域完了。米軍がLHDデッキ改良工事（H27.8～）に併せて試掘（H27度）、発掘調査（H28度）も実施している。<br/>⇒発掘調査は、H28.9に完了予定であったが、磁気探査において異常地点が多く出たためH30.12頃完了予定。<br/>⇒防衛局にLHDデッキ改良工事について問い合わせても情報提供なし。</li> </ul> <p>⇒その他エリアの試掘調査、環境調査の実施については今後検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>その他エリアの試掘調査、環境調査の実施についての検討状況</b><br/>⇒施設内の立入りが厳しく、実施していない。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>今年度の新たな取り組みの有無</b><br/>⇒遮音機能・粉塵対策のため、村からの要請により防衛局がフェンス周辺一部の植栽工事を実施中。（モクマオウが立ち枯れしているため補植）</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>今年度の新たに生じた課題の有無</b><br/>⇒特になし。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本部町 | <p><b>【上本部飛行場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業が県に申請している開発申請の状況。<br/>⇒企業より沖縄県に提出された開発申請（事前）については平成 28 年 10 月より事前審査が行われ、平成 29 年 1 月に回答があった。企業は、開発許可申請提出に向け、現在、関係法令の整理等を実施中。</li> <li>●<b>その後の状況</b><br/>⇒企業として段階的な整備を進める意向であり、先行的に進める「果樹園」部分について、企業より収支計画等の資料は提出されているが、採算性のある具体的な計画を提案するよう町として意見している。企業としては、補助金活用の意向があるが、そのためには「農用地区域指定」（県同意）が必要となる。<br/>また、計画実施の前提となる、不発弾処理や県土保全条例に基づく開発申請手続き（建築物の予定がないので都市計画法の開発申請は不要。）に関して、今後、企業が県と調整予定。<br/>上記いずれも地権者の合意が必要だが、全員の了解はまだ得られていない。</li> <li>●開発申請が許可となった場合の町の取組に対する検討状況<br/>⇒平成 23 年度に策定した跡地利用基本構想・基本計画との整合性を重視したい。</li> <li>●現在の跡地利用計画（H23 年度策定）に変更はないか。<br/>⇒変更の予定はなし。</li> <li>●町有地がまとまって存在する区域の利用計画は進んでいるか。<br/>⇒進捗なし。</li> <li>●不発弾調査の状況。<br/>⇒町有地については、平成 28 年度に完了。町有地以外については、企業が県と調整していると思われる。</li> <li>●町道「石川謝花線」の進捗状況。<br/>⇒計画に基づき、整備を実施している。平成 24 年度～平成 28 年度の実施箇所については、道路整備は終わっており、現在は橋梁工事を繰り越しで対応中。開通は平成 29 年度中見込み。</li> <li>●<b>その後の状況</b><br/>⇒橋梁工事は完了。現在、下水道の接続工事を実施中。今後、舗装工事を行い年度内に完成、平成 30 年 4 月供用開始（暫定）予定。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし</p> |



| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 恩納村 | <p><b>【恩納通信所】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リゾート開発会社との協定概要。(SPC、公庫との包括協議も含めて)</li> </ul> <p>⇒道路管理と建物高さの制限や用域の制限で不足している内容について、協定を締結。北部振興事業は8/10の補助率のため、残りの道路事業費の負担割合について今後調整が必要。</p> <p>⇒平成29年2月7日に村と公庫で包括協定を締結。企業が進出するにあたっての金利や融資の優遇に配慮。</p> <li>●排水路の改修進捗状況 (H28～)</li> <p>⇒平成28年度に一括交付金を活用して排水路の実施設計を実施し、平成29年度から用地取得、平成30年度に工事開始予定。</p> <p><b>●用地取得等その後の状況</b></p> <p>⇒10月31日、11月1日に集団契約を行った。約8割は契約済み。残り2割は相続などの課題があり未契約。年度内に契約及び支払いが完了するよう進める予定。相続手続きは補償機構が用地買収業務の中で対応する。</p> <p>⇒水路はリゾート開発会社との協定で環境配慮型に計画。</p> <li>●北部振興で実施する村道改修事業の状況 (H29はエントリーだけ？予算はH30から？)</li> <p>⇒勢高1号線は平成29年度に実施設計を予定。基本設計は平成27年度に単費で実施。</p> <p>⇒勢高2号線は平成30年度に実施設計を予定。</p> <p>⇒リゾート地に相応しい道路景観を形成するため幅員16mで計画。</p> <p>⇒平成32年度に勢高1号線、平成34年度に2号線の供用開始予定。</p> <p><b>●その後の状況</b></p> <p>⇒コンサル派遣を活用し、平成29年度に勢高2号線の概略設計(基本設計)を実施中。ルートの検討を行っている。</p> <li>●文化財調査の状況</li> <p>⇒ホテルの予定地の試掘はほぼ完了。一部保全すべき文化財が発見されたため、リゾート開発会社へ保全の要請が今後必要。</p> <p>⇒跡地利用が定まった場所から、調査を実施する方針。</p> <li>●コンサルタント派遣の成果について</li> <p>⇒コンサルタント派遣では、本地区の跡地利用について村としての整備方針を整理。5つの開発保全の方針と4つのゾーンの設定、開発に向けた体制・役割等を整理。</p> <p>⇒地主会及び隣接する字恩納と字南恩納に対して、コンサルタント派遣の成果について説明会を実施。リゾート関連用域と集落用域の間に交流エリア(地区計画調整エリア)を設定することによって、仮に高さ40mの建物が建築された場合でも集落用域側への圧迫感が抑えられる効果があることを説明し、概ね理解を得ている。</p> <p><b>●今年度派遣しているコンサルの状況</b></p> <p>⇒勢高2号線のルート検討中。(年内に決定予定)</p> <li>●アドバイザー派遣の成果について確認したい</li> <p>⇒地主会の有志で設立した合同会社へのアドバイスとして、北中城村アワセ土地区画整理組合の理事である吉村氏を招いて意見交換を実施。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 恩納村 | <p><b>【恩納通信所】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●跡地利用計画について</li> </ul> <p>⇒跡地におけるリゾート関連用域への変更については平成 28 年度に行った。今後、変更が発生した場合、軽微な変更であれば適宜対応可能。</p> <p>⇒平成 28 年度の跡地利用計画推進委員会は 3 月下旬に開催。平成 29 年度は年度末予定。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●勢高 1 号線の実施設計、水路の用地取得、跡地利用計画推進委員会の開催を予定。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;"><b>●その後の状況</b></p> <p style="margin-left: 40px;">⇒勢高 1 号線の実施設計を実施中。</p> <p style="margin-left: 40px;">⇒関係者への情報提供・経過報告を目的とし、年度末に跡地利用計画推進委員会を開催予定。（村、地主会、区長、商工会）</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 金武町 | <p><b>【ギンバル訓練場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <p>●誘致ホテルの進捗状況<br/> ⇒沖縄県の海岸整備事業が完了していないため、2年前から進展なし。<br/> ⇒県が海岸整備、その後背地を町が公園整備、更にその後背地にホテルが建築される予定。</p> <p>●その後の状況<br/> ⇒10月にリゾート開発会社が来庁し、状況報告を行った。<br/> 海岸整備については、宜野座漁協の同意がまだであるため、年度内に予算執行できるよう鋭意努力していく旨、同社へ説明を行った。<br/> (金武、石川漁協は同意済み)</p> <p>●跡地計画の残地はないか？<br/> ⇒残地の活用については、ふるさとづくり整備事業に基づく用途として活用を検討する。<br/> ⇒一部、温泉施設計画を進めている状況。</p> <p>●温泉センターの進捗状況及び運営事業者の公募状況<br/> ⇒掘削を完了し、汲み上げポンプを設置（町単費）し、周知活動を行っている。<br/> ⇒温泉活用施設の立地については公募を行っている。</p> <p>●公募の状況<br/> ⇒9月20日に、5社からの公募を確定した。（県内業者1社、本土業者4社）5社中1社は書類不備であったため、残り4社に12月のプレゼンに向け案内通知を送付した。プレゼン通知発送後、4社中3社から辞退があったため、残り1社がプレゼンに向け準備中。</p> <p>●海岸整備（県事業）の状況<br/> ⇒2年前から環境調査、測量等を実施しており、実施設計がほぼ完了している状態。<br/> ⇒今年度、工事に係る段取りを行う予定。</p> <p>●その後の状況<br/> ⇒関係する3漁協と協議中。今年度工事着手予定。（繰越予定）<br/> 事業期間は約3年半。（平成29年度～平成32年度まで）</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒①町道中川36号線道路整備事業（沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業推進費）：工事、用地買収等（事業調整中）<br/> ⇒11月10日に内示あり（約8千万円）。</p> <p>⇒②ギンバル海浜公園整備事業（一括交付金（ソフト交付金））：管理施設等実施設計（実施中）<br/> ⇒設計を実施する中で、整備費が当初より削減できる可能性あり。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒残地活用のため新たな機能導入を検討するにあたり、ふるさとづくり整備事業の見直しが必要になる可能性がある。</p> <p>●その後の検討状況<br/> ⇒整備の進捗を踏まえ、今後随時検討を行う。（現行計画では、「癒しの森」を想定）</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| うるま市 | <p><b>【嘉手納弾薬庫地区（旧東恩納弾薬庫地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b><br/> ●その後の進展状況。（防衛局、県、村、地権者）<br/> ⇒返還の条件（アワセゴルフ場の移設）は満たしているが、返還の見込みは依然なし。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/> ⇒市としては状況を注視している。</p> <p><b>③課題等</b><br/> ⇒基地跡地利用よりも、まずはその場所にアクセスするための道路（楚南道）整備を優先的に考えている。</p> <p>●<b>楚南道の地権者は返還を求めているのではないのでは</b><br/> ⇒求めている。防衛省・米軍は、楚南道と当該地区一体の返還の方針であり、楚南道のための返還は厳しい。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| うるま市 | <p><b>【旧東恩納弾薬庫（楚南地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <p>●地権者組織の動き<br/> ⇒自分の土地へ復帰したい地権者などがいるが、地域全体としての方針決定がなされていない状況。市は、地権者総会等の協議の場で、意向を固めるよう指導を行っている。<br/> ⇒土地の現況は、くぼ地（丘陵地）であり、嘉手納飛行場の飛行ルート下にあるため騒音や地勢上の課題もある。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/> ⇒特になし。</p> <p>●29年7月の楚南地区の地権者等からの市への要請を受けて、市としての対応についての検討の状況<br/> ⇒副市長を交えた地権者との協議の場を設けた。協議結果を踏まえ、市より、沖縄局と地権者との跡地利用特措法の解釈に係る協議の場を設けるよう要請がなされた。今後は、これまでの経緯メモを市で作成の上、沖縄局と調整することが確認された。</p> <p><b>③課題等</b><br/> ⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【瀬名波通信施設】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●非農地の内諾状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒非農地に指定する場所の底地地権者から 10 割の同意が必要であるため、同意を収集中。</li> <li>⇒非農地は最大で地区面積の 3 割で設定することが可能であるが、県より設定する必要性や面積規模が適切か等についての根拠を求められており、現在調整中。</li> </ul> </li> <li>●その後の状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒状況に変化なし。非農地の必要性について、戦後処理の一環として県へ理由説明しているが認めてもらえていない状況。</li> <li>⇒平成 30 年度に非農地の概略設計を行いたい、予算の確保が厳しい状況。コンサル派遣等を活用できるか検討する。</li> </ul> </li> <li>●非農地の道路整備・不発弾調査の事業実施状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒平成 30 年度の県営畑地帯総合整備事業の採択を目標としており、推進会は採択に向けて非農地の底地地権者から同意を収集中。</li> <li>⇒県営畑地帯総合整備事業の名称が異なる。正式名称を確認し連絡する。</li> <li>⇒非農地の設定に関する調整が終わっていないため、平成 30 年度の採択は厳しい状況であるため、平成 31 年度の採択を目標とする。</li> </ul> </li> <li>⇒非農地部分の道路整備については、補助メニュー（特定防衛施設周辺整備調整交付金）はあるが、予算が限られているため、優先順位が高いところから採択される。そのため、本地区に導入が可能かの目途が立っていない状況。また、造成に関しては、補助メニューがない状況。</li> <li>⇒不発弾調査について、事業採択後に農地部分は畑地帯総合整備事業で予定しているが、事業費が膨らむ。非農地は未定で事業者（県）が実施するかどうか。</li> <li>●県営畑地帯総合整備事業に同意を得られなかった 10%（地主数？面積？）の土地は点在するの？その土地は、今後、どのように活用される予定か。</li> <li>⇒土地は点在しており、事業区域から除外。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の進捗状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒平成 28 年度より試掘調査を実施しており、6 つの文化財を確認。平成 29 年度の調査では、6 つの文化財の範囲を確定する予定。</li> <li>⇒6 つのうち、5 つは農地部分、残りの 1 つは非農地部分に位置。そのため、文化財の取扱いについて検討が必要。</li> <li>⇒平成 29 年度に試掘調査は完了し、7 つの文化財の範囲を確定。確定面積については、確認し連絡する。</li> <li>⇒確定した範囲で県の農林水産総務課と本調査について調整予定。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒文化財調査として、6 つの文化財の範囲を確定する予定。</li> <li>⇒平成 29 年度に試掘調査は完了し、7 つの文化財の範囲を確定。確定面積については、確認し連絡する。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒非農地部分の整備（事業費）</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【楚辺通信所】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●都市計画図書の進捗状況<br/>⇒地主会から提案制度を活用した地区計画の提案に対して、村は都市計画決定する方針を決定。<br/>⇒平成 27 年度に都市計画図書を作成し、都市計画決定に向けて県と調整中。（地区計画は村決定）</li> <li>●その後の状況<br/>⇒状況に変化なし（現在も調整中）。</li> <li>●シムクガマ公園の進捗状況（公共用地の確保状況含む）。<br/>⇒公園は土地の買い上げを予定。（区画道路用地は無償提供）<br/><br/>⇒土地の買い上げについては、方針は決まっていない。</li> <li>●跡地利用計画の進捗状況<br/>⇒地区計画（推進地区）で整備する面積は 27.4ha（3 地区）、復帰先地事業（前島地区）、課題地区（3 地区）<br/><br/>⇒地区計画で整備する推進地区は、幹線道路は国交省の補助事業、それ以外の道路は防衛補助を考えている。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【読谷村補助飛行場（補助飛行場地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地改良事業、農業用排水施設整備の進捗状況。</li> </ul> <p>⇒土地改良事業（施行者：県）は平成 29 年度に換地作業を終えて完了予定。</p> <p>●<b>その後の状況</b></p> <p>⇒平成 29 年度に換地作業は完了予定。</p> <p>⇒平成 29 年度にかんがい施設整備の付帯工事として、スプリンクラーへの貝殻の進入を防ぐフィルターを設置工事を予定。</p> <p>⇒平成 30 年度に第 2 工区にコイン式の散水型給水器の 3 箇所設置を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農地（施設を含む）の管理委託法人との情報交換状況。</li> </ul> <p>⇒上記の整備完了後、5 法人に貸付を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業廃棄物のその後の状況。</li> </ul> <p>⇒地区西端の村道中央残波線付近に産業廃棄物を確認し、平成 28 年度に簡易処理。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パークゴルフ場整備の進捗状況（アドバイザー派遣の成果）</li> </ul> <p>⇒平成 29 年度から整備開始、平成 30 年度完了予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●読谷補助飛行場第 2 工区での市民農園・観光農園（クライン・ガルテン）の検討状況。</li> </ul> <p>⇒平成 28 年度に、一括交付金を活用して事業可能性調査を実施。</p> <p>⇒市民農園・観光農園（クライン・ガルテン）に指定することで、建物の建築が制限されるため、「読谷型クラインガルテン」として周辺のホテルや民泊を活用して市民農園としての利用の可能性も検討。</p> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の実施状況。</li> </ul> <p>⇒試掘を実施しており、文化財は確認なし。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒パークゴルフ場の整備を開始予定。</p> <p>●<b>その後の状況</b></p> <p>⇒平成 29 年度から整備を開始しており、平成 30 年度に完了予定。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |



| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【読谷村補助飛行場（大木地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区画整理事業の進捗状況（H28 仮換地指定も含めて）<br/>⇒墓地と緑地の変更に伴い、県と事業計画の変更について調整中。<br/>⇒予定より調整が長引いているため、仮換地指定は平成 29 年 8 月頃を予定。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒平成 29 年 8 月 9 日に事業計画を変更。<br/>⇒平成 29 年 9 月 9 日に総会を行い、9 月末までに仮換地指定は完了。</li> <li>●仮換地個別説明時の意見は。<br/>⇒減歩に対する意見はあったが、概ね了解を得ており、原案通りで進行中。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒原案通りで進行中。</li> <li>●国道 58 号バイパスの建設に関して、北部国道事務所との調整状況<br/>⇒工程の調整を適宜実施。</li> <li>●公共事業で発生した土の受入条件（土地区画整理組合）とは。また、その調整状況。<br/>⇒受入条件として、粒度や粒径、土質等に関する条件を整理。<br/>⇒国道 58 号バイパスの工事や、村内の公共事業で発生する土から、必要な土（10 万 m<sup>3</sup>）は確保できる予定。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒平成 29 年度は、3 万 m<sup>3</sup>の土の受入れを実施。<br/>⇒平成 28 年度から磁気探査を実施しており、これまでに廃棄物等が確認されたが、当初の事業計画内には廃棄物等の処理にかかる費用を含んでいない状況。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒一部擁壁工事を発注。</li> <li>⇒牛舎や墓地等の補償調査を実施中。</li> <li>⇒平成 29 年 11 月から村道整備を実施中。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【読谷村補助飛行場（北地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b><br/> ●都市計画に向けての進捗状況（決定する都市計画の内容）<br/> ⇒平成 28 年度に都市計画図書（地区計画）を作成し、県と協議中。</p> <p>●<b>その後の状況</b><br/> ⇒県と協議を継続中。</p> <p>●地区計画（案）の内容<br/> ⇒地区内の施設（道路、公園）の位置。</p> <p>●一括交付金での産業廃棄物処理は、H28 で終了か。または、H29 も実施するのか。<br/> ⇒平成 28 年度で完了。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/> ⇒特になし。<br/> ⇒平成 29 年度は村道認定した道路を防衛予算にて整備予定。また、流末の排水施設整備にかかる用地は単費で購入済み。排水施設整備は 2 年間で予定。</p> <p><b>③課題等</b><br/> ⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <b>【読谷村補助飛行場（西地区）】</b><br><b>①現在の地区の状況等</b><br>●何か進展（動き）はないか。<br>⇒特になし。<br><br>⇒太陽光発電施設を設置予定。<br><br><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br>⇒特になし。<br><br><b>③課題等</b><br>⇒特になし。 |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【嘉手納弾薬庫地区（国道東地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区画整理事業の進捗状況</li> </ul> <p>⇒村道 4 路線の無電柱化の決定により、工事費の増額と工事期間が延長となるため、平成 29 年度に事業計画の変更を予定。期間は平成 33 年度まで延長予定。</p> <p>●その後の状況</p> <p>⇒事業計画の変更手続き中。</p> <p>⇒無電柱化の整備は街路の補助事業で対応。（いずれは村道として移管）</p> <p>⇒造成は概ね完了。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区画整理事業に含まれない 14ha についての利活用に関する進捗状況</li> </ul> <p>⇒保全の方向。</p> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●遺跡整備調査検討委員会の進捗状況（立ち上げ時期も含めて）及び調査概要（アドバイザー等派遣の成果）</li> </ul> <p>⇒平成 29 年度に「大湾アガリヌウガン遺跡調査整備検討委員会（仮）」を立ち上げる予定。</p> <p>●その後の状況</p> <p>⇒平成 30 年 1 月に開催を予定。コンサルタント派遣を活用予定。</p> <p>⇒平成 28 年度にコンサルタント派遣を活用して、国指定史跡に向けた現況整理と課題の抽出を行っている。この結果、国指定史跡に向けた考察を加えた報告書を平成 30 年度に発刊予定。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒事業計画変更（事業費増、事業期間延長）を予定。</p> <p>（文化財関連）</p> <p>⇒「大湾アガリヌウガン遺跡調査整備検討委員会（仮）」を立ち上げる予定。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 読谷村 | <p><b>【トリー通信施設（大木・大湾地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●支障除去の進捗状況（期間が延びることはないか）<br/>⇒平成31年度まで延びる予定。</li> <li>⇒平成29年12月に磁気探査を予定。支障除去全体としては30年度中頃には完了予定。</li> <li>●跡地利用基本構想策定の進捗状況<br/>⇒整備手法を土地区画整理事業（組合施行の予定）に決定。（地権者から仮同意取得）<br/>⇒平成29年度は、一括交付金を活用して区画整理のB調査（基本設計、事業計画案作成等）を実施予定。</li> <li>⇒B調査を実施中。地区界測量は完了。</li> <li>⇒県には区画整理地区が増えることは伝えているが、具体的なスケジュール等は未調整。</li> <li>⇒平成30年度以降に認可申請を予定。（給付金が受け取れる土地の引き渡し後の3年以内に事業認可できればよいと考えている。）</li> <li>●面積の内訳は出ていないか<br/>⇒地権者は46名。地区のほとんどが私有地。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒一括交付金を活用して区画整理のB調査（基本設計、事業計画案作成等）を実施予定。</p> <p>⇒B調査を実施中。地区界測量は完了。</p> <p>⇒30年度に認可申請の予定。</p> <p>⇒区域界も確定予定。（周辺の既存住宅地も一部取り込むかも検討する予定）</p> <p>⇒返還区域が筆を跨いでいる箇所（村道に面する部分等）もあるため、周辺を一部施行区域に取り込むか検討中。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ桑江（北側地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地区画整理事業の進捗状況<br/>⇒平成 32 年度の換地処分に向けて順調に事業は進行中。</li> <li>●<b>現在の状況は</b><br/>⇒換地処分に向け、特にトラブルなく進行中。</li> <li>●県道 24 号バイパスの進捗状況<br/>⇒キャンプ桑江（南側地区）側への立入りが困難なため、昨年度と変わらず進捗なし。</li> <li>●<b>現在の状況</b><br/>⇒県が道路事業の予算確保に向け動いている。<br/>現時点では文化財調査に入ることができる状況ではないため、立ち入りが可能になり次第、調査を実施する体制を整えていく予定。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●博物館の整備・管理の進捗状況（補助金の申請結果も含めて）<br/>⇒博物館の実施設計を平成 29 年 5 月に発注。</li> <li>●<b>博物館建設にあたっての全体工程（過去～将来）</b><br/>⇒平成 29 年 5 月 実施設計 年度内（平成 30 年 1 月）完了予定<br/>その後、設計成果をもって建築確認申請を行う。<br/>平成 30、31 年度にかけて工事実施（19 ヶ月）<br/>平成 31 年度内にオープン予定。<br/>ただし、一括交付金（特別枠）の申請が通らない場合は、工事が延長する可能性あり。</li> <li>（これまでの経緯）<br/>平成 25 年度 構想検討、ニーズ調査等 ※平成 24 年度の繰り越し<br/>平成 26 年度 基本計画、平成 27 年度 基本設計、平成 28 年度 管理運営計画作成</li> <li>●<b>面積の【再確認】（既返還地、陸軍貯油施設の場所）</b><br/>⇒図面にて確認を行った。陸軍貯油施設の面積については、町にて要確認。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒博物館の実施設計。<br/>⇒伊礼原遺跡造成工事を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>伊礼原遺跡関連の全体工程（過去～将来）</b><br/>⇒平成 21 年度（平成 22 年 2 月） 国指定史跡になる<br/>平成 22～23 年度 保存管理計画、平成 25～26 年度 整備計画（基本計画）、平成 27 年度 基本設計、平成 28 年度 実施設計・基盤整備工事（低湿地区）、平成 29 年度 実施設計・基盤整備工事（砂丘地区）、平成 30 年度 史跡工事設計、平成 31～33 年度 史跡工事、平成 34 年度 オープン予定</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ桑江（南側地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外国大学誘致の検討状況<br/>⇒基地内の外国大学の誘致は日米地位協定が障害となり、誘致は断念しているが、町の方針としてキャンプ桑江（南側地区）は知の拠点に位置づけられており、今後も国内外に係わらず教育関連の誘致を模索していく予定。</li> <li>●地位協定のどの条項に抵触するのか、その後の進捗は<br/>⇒どの条項かは不明。労務及び税に関する項目と推測。</li> <li>●まちづくり基本計画の進捗状況<br/>⇒特になし。</li> <li>●先行取得の進捗状況<br/>⇒学校用地は目標（面積：4.5ha）の約7割を取得。<br/>⇒平成28年3月末に特定事業の見通しを公表した緑地・公園用地（面積：2.5ha）は約4,500㎡を取得。</li> <li>●進捗状況<br/>⇒平成29年度の申し出受付は終了。<br/>12月末契約（見込み）の用地取得状況は、学校用地が1.2ha、緑地が0.36ha。学校用地の取得率は97%。緑地はまだ不足しているが、平成33年度まで先行取得を実施する予定。</li> <li>●まちづくりに関しての合意形成進捗状況<br/>⇒近年は、まちづくりニュースの発行とホームページの更新を実施。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒ニュースは先行取得の状況を報告。HPはニュースを掲載したり、説明会の様子を載せている。</li> <li>●県道24号バイパスの進捗状況<br/>⇒立入りが困難なため、昨年度と変わらず進捗なし。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒環境補足協定適用外のため、立入り許可が下りるという報道があり、防衛局、沖縄県に確認した結果、報道内容のとおりであった。早くて、次年度以降に県の立入り調査を実施とのこと。</li> <li>●国道58号拡幅に関する協議の進捗状況（協議内容も含めて）<br/>⇒国が先行して道路事業を実施した場合、将来的に国が買収する可能性のある土地の確保について協議が必要であるが、現在は具体的な協議は実施なし。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒進捗なし。</li> <li>●返還条件の実施状況<br/>⇒海軍病院は移設済み。</li> <li>●その後の進捗状況<br/>⇒特になし。</li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ桑江（南側地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</b></p> <p>●地元説明会の状況<br/> ⇒平成 27 年度は実施なし。平成 28 年度は緑地・公園用地の先行取得開始に係る地権者説明会を開催。</p> <p>●<b>今年度の状況（H30.3 までの予定を含めて）</b><br/> ⇒平成 29 年度は説明会の予定はなし。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/> ⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b><br/> ⇒特になし。</p> |



| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【陸軍貯油施設第1桑江タンク・ファーム】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H28に桑江南側も含めて一括交付金で跡地利用検討業務を行ったが、その成果。<br/>(具体的な図がかけているか)</li> </ul> <p>⇒平成28年度はタンク・ファームの権利調査業務を実施。(桑江南側は未実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●タンクの原状回復の早期公表に関しての進捗(検討)状況。</li> </ul> <p>⇒今後の課題として認識。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「公表」とは何か(手段、根拠)、その後の動きはあるか</li> </ul> <p>⇒タンクの原状回復計画の公表について、町が防衛局に要望していることを確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地権者調査の結果</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●どの程度の結果だったか</li> </ul> <p>⇒平成28年度登記簿調査を実施している。</p> <p><b>(第2桑江タンク・ファーム)</b></p> <p>⇒位置を確認。(北谷町北部58号線西側)</p> <p>⇒第1桑江タンク・ファームの管理棟を第2桑江タンク・ファームへ移すことが返還条件。</p> <p><b>②今年度の取組(今後の取組)</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（施設技術部地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地権者組織の活動状況（情報はないか）<br/>⇒平成 28 年 12 月に設立し、13 名の委員で構成。<br/>⇒平成 29 年 1 月と 2 月に、地権者会と地主会の 3 役に対して勉強会を開催。一回目は「望ましい土地利用の方向性について」、2 回目は「北谷城の保存活用について」の意見交換を実施。</li> <li>●「北谷城」の国史跡指定に向けての調査、地権者合意形成の進捗状況。<br/>⇒返還ラインが確定してから、本格的に調査予定。</li> <li>●返還ラインの変更に関しての進捗状況<br/>⇒防衛省と調整中。</li> <li>●<b>その後の状況</b><br/>⇒回答なし。今年 10 月に防衛省、外務省に要請を行った。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査の米軍許可状況<br/>⇒平成 28 年 11 月 21 日及び平成 29 年 5 月 15 日に立入り申請。</li> <li>●<b>その後の状況</b><br/>⇒回答なし。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>北谷町軍用地等地主会、北谷城及び白比川倉庫地区地権者会の今年度の状況</b><br/>⇒11 月に両組織の三役を集め勉強会を実施。<br/>今年度、勉強会を計 3 回行う予定。</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北谷町 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（インダストリアル・コリドー地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●跡地利用計画の取組状況<br/>⇒特になし。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒平成29年度登記簿調査を実施。<br/>平成30年度跡地利用基礎調査を実施予定。（宜野湾市との調整も予定）</li> <li>●返還範囲の適正規模要請についての進捗状況<br/>⇒毎年、外務省及び防衛省へ要請しているが、具体的な回答なし。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒平成29年度は要請していない。</li> <li>●返還条件の実施状況<br/>⇒特になし。</li> <li>●地権者調査の実施状況<br/>⇒平成29年度実施予定。</li> <li>●実施状況<br/>⇒登記簿調査を実施している。</li> </ul> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査のための立入状況。<br/>⇒文化財の有無が未確認であり、試掘が必要。調査体制未整備のため立入りの要請は行っていない。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。<br/><br/>⇒地権者調査として登記簿調査を実施。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 沖縄市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●先行取得の進捗状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒平成 33 年度を目標に、公園・緑地として 1.7ha を取得予定。</li> <li>⇒平成 27 年度は 2,409 m<sup>2</sup>、平成 28 年度 1,537 m<sup>2</sup>を取得。</li> <li>⇒平成 29 年度は、6 月 1 日から 2 ヶ月間の受付をスタート。地権者へは郵送及びHPで案内。</li> </ul> </li> <li>●その後の状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒今年度は 2 件の申出があり、2 件契約を行った。(1,179 m<sup>2</sup>)</li> <li>今年度の申し込み受付は終了。</li> </ul> </li> <li>●土地利用計画素案（第 4 案）に変更はないか。           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒変更なし。</li> <li>⇒平成 18 年度に複数の市町村にまたがる類似の区画整理を視察しており、本地区と条件は全く同じではなかったが、各市町村で区画整理事業区域を都市計画決定して、施行者は県主体で行っている事例は確認している。今後は一つの組合で施行が可能かの検討や、国や県とも調整が必要になると考えている。</li> </ul> </li> <li>●H29、道路に関しての特定事業の見通しの進捗状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒公園・緑地の先行取得が目標面積（1.7ha）に達していないことから、まずは公園・緑地を優先し、買取状況を見ながら道路の先行取得を検討する予定。</li> </ul> </li> <li>●その後の状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒進捗なし。</li> </ul> </li> <li>●昨年度の課題について進展           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特に進展なし。</li> <li>⇒一つ目の課題について、今後、こういった手続きが必要になるのかについて、関係機関と調整が必要になると考えている。</li> <li>⇒二つ目の課題について、沖縄市として、今後はイオンモールの状況を踏まえて、市の活性化に向けた取り組みが必要という話しはあがっている。</li> </ul> </li> <li>●その後の状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒11 月 22 日に北中城村と地主会等の現状について調整会議を行う予定。</li> </ul> </li> <li>●返還条件の進捗状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒把握していない。</li> </ul> </li> <li>●地主会について           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒沖縄市のキャンプ瑞慶覧地権者会は平成 20 年度まで活動していたが、早期返還が見送られたため、一時活動を休止している。</li> <li>⇒北中城村は独自のロウワープラザ地主会があり、沖縄市は独自のキャンプ瑞慶覧地権者会がある。</li> </ul> </li> <li>●今年度は何か状況の変化があったか。           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒沖縄市軍用地等地主会との意見交換の際に、沖縄市側のキャンプ瑞慶覧地権者会は休止状態であることが確認されたが、北中城村側の状況は不明。11 月 22 日の調整会議において、地主会の変遷や現在の状況確認を行う。</li> </ul> </li> </ul> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 沖縄市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北中城村との連携</li> </ul> <p>⇒跡地利用に關しての調整（顔合わせ）を7、8月頃に行いたいことを北中城村の担当者と調整している。</p> <p>●その後の状況</p> <p>⇒11月22日に北中城村と、今年度第1回目の調整会議を行う予定。</p> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査に關しては、跡地特措法改正のあと環境補足協定が問題になっているが、その協定のルールに則った場合も同じだとは思いますが、H26以降、何らかのアクションを（対防衛局またはその他に）行っているか（「跡地カルテの記載内容等の確認」再掲）</li> </ul> <p>⇒行っていない。県道24号線バイパス整備の沖縄市側については、まだ事業化されていないため、提供区域内（沖縄市側）への立入はできない。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●先行取得の進捗状況及び沖縄市との調整状況<br/>⇒平成 27 年度は 6,606 m<sup>2</sup>（7 筆）、平成 28 年度は 215 m<sup>2</sup>（1 筆）を取得。<br/>⇒平成 29 年度は 5 月 1 日から 6 月 30 日の期間で受付を行い、現在は約 2,800 m<sup>2</sup>（6 筆）の申出があり、交渉は 7 月中旬頃から行う予定。<br/>⇒現在の申出が目標面積を上回る状況であるため、対応については今後の課題である。<br/>⇒基金については、平成 29 年度までを予定しているが、必要に応じて延長を検討。</li> <li>●<b>その後の進捗状況</b><br/>⇒平成 29 年度は 4,523 m<sup>2</sup>の申出があったが、取り下げ等により 1,473 m<sup>2</sup>（8 筆）の取得となった。<br/>⇒目標面積 9,500 m<sup>2</sup>を達成できなかった為、平成 30 年度も先行取得事業を実施予定。</li> <li>●土地利用計画素案（第 4 案）に変更はないか。<br/>⇒変更なし。</li> <li>●新たな土地利用計画案策定への取組状況及び沖縄市との連携状況<br/>⇒担当者レベルで新たな土地利用計画案の必要性はお互い認識。</li> <li>●<b>その後の進捗状況</b><br/>⇒11 月下旬（11 月 22 日）に担当者レベルで沖縄市と調整会議を実施。</li> <li>●防衛局への要望<br/>⇒ロウワープラザ住宅地区から流れる排水が、沖縄警察署側から国道を横断して北中城の水路に流れ、大雨時に氾濫しているため、北中城村は防衛局に排水路のルートの変更を要望中。</li> <li>●<b>状況の再確認とその後の状況</b><br/>⇒進捗なし。<br/>防衛局によると整備は困難との見解。村（上下水道課）で整備を検討しており、まずは調整池の整備を平成 30 年度より先行して行う予定。</li> <li>●<b>沖縄県に対する県道 24 号線バイパスの要望状況</b><br/>⇒県側から調整に関する話はない。</li> <li>●<b>西側の返還未合意箇所に関しての返還要請の状況。</b><br/>⇒要請なし。</li> <li>●昨年度の課題について進展（組合施行で予定されている土地区画整理事業の主体についても含む）。<br/>⇒一つの組織で施行することが望ましいと考えているが、都市計画区域がまたがっていることに関する具体的な検討や調整は、先行取得後に進めていきたいと考えている。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒土地の先行取得の受付を 5 月 1 日から 6 月 30 日の期間で実施。</p> <p><b>③課題等</b><br/>⇒特になし。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（サウスプラザ地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現在、イオンの職員用駐車場になっているが、新たな活用計画は検討されていないか。<br/>⇒具体的な検討はない。</li> <li>⇒平成29年度末にイオンとの契約が切れるため、次年度以降は単年度更新も検討。</li> <li>●<b>来年度からの活用計画は。</b><br/>⇒活用方法は未定。</li> <li>●敷地の整地（埋め立て、コンクリート敷）はイオン施工か。<br/>⇒北中城村アワセ土地地区画整理組合が、地区内の工事で発生した残土を処理するために埋め立て。</li> <li>⇒敷地の整地はアワセ土地地区画整理組合で実施し、イオンが駐車場として砂利を敷いて利用。</li> <li>●不発弾調査は実施されていないか。<br/>⇒アワセ土地地区画整理事業で発生した残土で埋め立てていること、駐車場として利用（杭等を埋める必要がない）することから、調査の実施なし。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（アワセゴルフ場地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地区画整理事業の進捗状況<br/>⇒事業完了に向け、順調に施行中。</li> <li>●残地はないか。<br/>⇒なし。</li> <li>●アリーナと体育館の進捗状況<br/>⇒平成 29 年 8 月に体育館の建築申請を実施。（平成 29 年 9 月に許可）<br/>⇒体育館は平成 29 年 10 月に着工。平成 30 年内に完成、平成 31 年度内に供用開始予定。<br/>⇒アリーナは、用地交渉（単価で折り合いがつかない）が難航。</li> <li>●両施設のその後の進捗状況<br/>⇒アリーナの用地交渉については、現在も引き続き交渉中。<br/>交渉に時間がかかる場合は、当該建設を防衛の予算で実施しているため、随時防衛局と調整を行う。</li> <li>●横断歩道の進捗状況（事業科目は）<br/>⇒アリーナを結ぶ歩道橋は、まちづくり交付金を予定。<br/>⇒イオンモールと徳洲会病院を結ぶ歩道橋については、県の一括交付金事業として採択できないか、村長から中部土木事務所長へ口頭にて要請済。<br/>⇒また、昨年度に交通量調査を実施しており、その結果を踏まえて正式に県へ要請する予定。</li> <li>●県の反応<br/>⇒要請（文書）はまだ行っていない。年度内には行いたい。</li> <li>●跡地カルテの課題において、区画整理組合に対してサポートが必要となっているが、具体的な要望があるのか、村としてどのようなサポートが必要と考えているのか<br/>⇒特に必要なし。</li> <li>●一括交付金を活用した映像資料保存事業の概要及び今後の予定<br/>⇒平成 25 年度より継続して、「戦後、強制的に土地が収用された比嘉集落の戦前の営みから、ゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため」、組合の解散まで映像記録を残す予定。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒体育館は平成 29 年 10 月に着工。<br/>⇒一括交付金を活用した映像資料保存事業を実施中。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |



| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北中城村 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（喜舎場住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●H28の作業部会でレイアウトの選定を行っているが、具体的な絵はできたか（公に出せる）<br/>⇒公に出せる具体的な絵はまだないが、案は作成。平成29年度は、一括交付金を活用して測量を実施し、道路の構造をチェック、精度の高い絵に修正する予定。</li> <li>⇒平成29年度の作業部会は、平成29年12月または平成30年1月（測量の結果が出た後）に開催予定。</li> <li>●インター及び県道拡幅の用地以外の用地は発生するか。するとすればその利用方法は。<br/>⇒残地は発生する計画となっているが、詳細な面積が不明のため、平成29年度に実施する測量の結果を踏まえ、利用方法を検討。</li> <li>●土地所有者に関する調査概要及び調査結果<br/>⇒平成28年度に権利調査を実施し、地権者数を把握。</li> <li>●早期返還に向けた活動状況<br/>⇒村長からの要請のみ。<br/>⇒年明けに防衛本省へ村長が要請予定。</li> <li>●総合的に、1回目のヒアリングから進展があったか。<br/>⇒特になし。（喜舎場スマートIC作業部会を2月頃開催予定。）<br/>⇒インター整備前から県道拡幅を先行整備して欲しい旨を県に要請予定。<br/>（インターから渡口交差点区間は4車線での開通見通しあり）</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒一括交付金を活用して測量を実施し、道路の構造をチェック、精度の高い絵に修正する予定。</li> <li>⇒作業部会は、平成29年12月または平成30年1月（測量の結果が出た後）に開催予定。<br/>⇒測量（航測現況図作成）作業、実施中。（年度内に完了予定。）</li> </ul> <p><b>③課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒特になし。</li> </ul> |

| 市町村         | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宜野湾市</b> | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●先行取得の進捗状況（琉大用地）<br/>⇒琉大用地取得については、第3期（4月17日～5月31日）まで申込受付が終了した。<br/>合計14.1haの申込みあり。</li> <li>⇒第1期～2期の申込による契約終了している分は9.9ha。</li> <li>⇒その他墓地・公園の用地取得について、墓地は予定面積取得済み。公園の不足分は土地<br/>区画整理事業における公共減歩で満たす予定。</li> <li>●支障除去の状況。引き渡しはいつ頃が想定されるか。<br/>⇒防衛局にて行っており、平成29年度いっぱいでの引き渡し予定で作業を進めている。</li> <li>●<b>防衛局の作業完了（引き渡し時期）に変更はないか。</b><br/>⇒変更なし。平成29年度末（平成30年3月）に引き渡し予定。</li> <li>●<b>防衛局との調整内容（結果）</b><br/>⇒支障除去未実施部分（斜面緑地）の取扱いについて防衛局との調整を継続中。<br/>実施主体や予算について、引き渡しまでに方針を決め、防衛局と協議書などを交<br/>わし担保を取っておく予定。</li> <li>●国道58号への連絡道路の早期返還の状況。<br/>⇒市からは機会があるごとにコリドー南側（宜野湾市部分）について早期返還を求める<br/>要請はしているが、具体的な動きなし。</li> <li>⇒今年度も、西普天間住宅地区の跡地利用の推進について平成29年5月に市・県・琉大<br/>で国に要請を行っている。</li> <li>●アクセス道路設置の進捗状況<br/>⇒水路として利用されているが、公図上は全て民有地。<br/>⇒地権者説明会は、整備における補助元が決まっていなかったため行っていない。現在<br/>は、防衛省の補助対象事業として平成30年度から実施設計を行うために予算要望を行<br/>っている。具体的な進め方については、土木課で検討中である。</li> <li>●<b>防衛局との調整状況（土木課の検討状況）</b><br/>⇒内閣府補助を活用し基本設計を実施し、6月に終了している。そしてその成果をも<br/>とに米軍との協議を予定。<br/>防衛局補助で、平成30年度に実施設計を行う方針である。</li> <li>●普天間高校の移転に関する調整状況<br/>⇒県知事から表明があった後に、県と国で予算・工程について調整中である。<br/>⇒県と具体的な進め方については今後調整する。<br/>⇒跡地法に基づき、普天間高校の用地取得の窓口も市になると想定している。</li> <li>●<b>予算、工程などに係る調整状況（結果）</b><br/>⇒県は、用地取得に関する予算を確保済み。移設スケジュールについては、協議会に<br/>て報告済み。西普天間住宅地区における事業スケジュールとの調整が今後必要で<br/>あるが、まずは用地取得が課題である。</li> </ul> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</b></p> <p>●鉄塔関連の状況<br/> ⇒昨年度から進展はなし。ただし、景観への配慮については地権者からの要望あり。<br/> ⇒昨年度、人体への影響を調査した。調査の結果、特段対策が必要な状況ではないと判断している。</p> <p>●<b>地権者からの要望(景観)に対する取組状況</b><br/> ⇒具体的な動きはなし。市は埋設意向で沖電と継続して協議を行う予定。</p> <p>●環境アセス調査の状況（都計決定とのリンクは）<br/> ⇒平成29年6月現況調査、平成29年12月準備書の公告・縦覧を行う。<br/> ⇒平成30年度評価書の縦覧を行う。<br/> ⇒土地区画整理事業の区域については、準備書の縦覧に併せて行う予定。<br/> ⇒その他については準備書の縦覧と必ずしも一緒ではなくていいという県（都市モノ課）からの見解あり。</p> <p>●<b>前回のヒアリングから変更(追加事項)はないか</b><br/> ⇒11月28日～12月28日まで、準備書の縦覧を行っている。</p> <p>●区画整理事業への取組状況（原案作成の状況）<br/> ⇒原案は作成済み。<br/> ⇒最終的な跡地利用計画を地権者に了承を得た上で、その後原案に基づき土地区画整理事業の手続きを進める。</p> <p>●<b>前回のヒアリングから変更(追加事項)はないか</b><br/> ⇒土地区画整理事業の区域に関する都市計画（案）の縦覧実施（11月28日～12月28日）<br/> その他について、大きな動きはなし。<br/> 平成30年度末を目途に都市計画決定を予定。</p> <p>●付帯事項（墓地計画以外）の取組状況<br/> ⇒補助幹線道路の取付位置、沿道住宅ゾーン延伸について、地権者から要請があった。その後市の方針を説明し、沿道住宅ゾーンを一部延伸することで、概ね了解を得ている。</p> <p>●<b>地権者（利用促進委員会）への合意形成に向けた取組状況</b></p> <p>●<b>緑地保全に関して前回のヒアリングから進捗はないか</b><br/> ⇒緑地保全に伴う跡地利用計画の変更について、地権者（促進委員会）は概ね了承済み。<br/> 2月に開催予定の協議会において、変更後の跡地利用計画を報告予定。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</b></p> <p>（文化財関連）</p> <p>●文化財調査の状況</p> <p>⇒人員については、平成 29 年度に考古学学芸員を 1 人追加し、現在学芸員 5 名で文化財調査を着手している。</p> <p>平成 29 年 12 月には調査完了予定。</p> <p>斜面緑地部については、区画整理事業の中で、工事着工前に文化財調査を行うことで調整中である。</p> <p>●調査完了時期など前回のヒアリングから変更(追加事項)はないか</p> <p>⇒文化財調査の進捗率は 9 割。12 月完了に向け進めている。</p> <p>喜友名山川原第 9 遺跡及び普天間旧道遺跡について、現地保全が好ましいが現実的には難しい。2 月協議会までにどのような方法で保存するかを継続して検討する。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>●平成 29 年度も継続して以下の調査事業を行う。</p> <p>①（仮称）拠点返還地（西普天間住宅地区）土地区画整理事業に係る環境影響評価調査事業</p> <p>②拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る跡地利用計画推進事業</p> <p>③拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る埋蔵文化財調査事業</p> <p>④拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る市北部地域のランドデザインの実現に関する調査事業</p> <p>⑤拠点返還地（西普天間住宅地区）に係る景観形成重点地区の指定に向けた調査事業</p> <p>●前回のヒアリングから変更(追加事項)はないか</p> <p>⇒変更なし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒昨年度と同様</p> <p>●前回のヒアリングから変更(追加事項)はないか</p> <p>⇒変更なし。</p> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【キャンプ瑞慶覧（インダストリアル・コリドー地区）】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●跡地利用に関して進捗はあるか（北谷町との連携も含めて）<br/>⇒平成28年度跡地利用調査業務委託を実施し、都市機能の検討等を行った。<br/>⇒宜野湾市と北谷町との連携は特になし。</li> <li>●前回のヒアリングから北谷町との連携に変化はないか<br/>⇒変化なし。</li> <li>●地権者の情報把握の状況<br/>⇒地権者調査は行ったが、返還されるラインは未確定であるため、返還地区内の地権者を特定はできていない。</li> <li>●アクセス道路に関する地権者説明会の状況<br/>⇒西普天間住宅地区跡地と同様。</li> <li>●アクセス道路に関する地権者との合意形成に変化はないか<br/>⇒平成29年度中の道路認定（市道）を予定している。所管は土木課になる。</li> </ul> <p>（文化財関連）<br/>⇒過年度の試掘調査を把握し、試掘調査していない箇所については、実施できるよう防衛局と折衝していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●普天間飛行場の報道に関連して進展はないか<br/>⇒進展なし。市は調査を行いたい意向だが、現時点で防衛との調整は行っていない。</li> </ul> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b><br/>⇒特になし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度の新たな取り組みの有無<br/>⇒拠点返還地交付金を活用して、地権者アンケート調査や行動計画の作成を予定。<br/>アンケート調査は12月下旬に行う予定。</li> </ul> <p><b>③課題等</b><br/>⇒変更なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●前回のヒアリングから変更(追加事項)はないか<br/>⇒変更なし。</li> </ul> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【普天間飛行場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●宜野湾 11 号の状況（用地取得の進捗も含めて） <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒基地内の用地取得は返還後道路事業で進める。</li> <li>⇒地区外の用地取得が全て完了。平成 29 年 8 月に第 1 工区工事完了予定。</li> <li>⇒平成 30 年中に用地取得を完了予定。</li> </ul> </li> <li>●<b>前回のヒアリングから変更(追加事項)状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒所管は土木課になるため、確認して進捗があれば連絡する。</li> <li>⇒跡地カルテについて、跡地利用計画の経緯等に宜野湾 11 号の内容が記載されているが、単独の道路事業であるため、記載する場合は違いが分かるようにしてほしい。（要検討事項）</li> </ul> </li> <li>●市が行ったアンケート調査の結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒市が地権者（約 3,900 名）に対し土地活用についてのアンケートを実施。回収率約 30%。</li> <li>⇒アンケート項目の検討時に若手の会と意見交換を行った。</li> <li>⇒配置方針図について、6 割が肯定的な意見。わからないという回答が 3 割あるため、プロモーションビデオを活用し周知する必要がある。</li> <li>⇒また土地利用意向については、資産活用したい意向がこれまでの調査結果より増えてきており、合意形成がより重要となる。</li> </ul> </li> <li>●先行取得の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒平成 28 年度中で、宜野湾市では約 8,500 m<sup>2</sup>、沖縄県は約 9,000 m<sup>2</sup>取得済み。今年度も引き続き用地取得を行っていく。</li> </ul> </li> <li>●<b>今年度の先行取得の進捗状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒今年度、市は 14,049.14 m<sup>2</sup>の取得を予定。県は約 3,500 m<sup>2</sup>の取得を予定。</li> <li>⇒申出のあった土地については、要望が無ければ市と県で面積を折半している。</li> <li>⇒現在、市の先行取得の進捗状況は約 45%程度。（目標 11.5ha の内約 5ha 取得済み）</li> <li>⇒特定事業の見直しを変更した理由について、当初は中学校 1 校と小学校 1 校を予定していたが、さらに子供が増えることを予想し、小学校 1 校分の面積を追加した。</li> </ul> </li> <li>●「全体計画の中間とりまとめ」に基づく「計画内容の具体化作業」の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒平成 28 年度は、字宜野湾郷友会、字神山郷友会と基地外側のまち歩きを実施し、原風景模型を作製した。まち歩きや模型の作製を通して戦前当時の集落での暮らしや土地利用に関する知恵等を確認し、また情報発信ツールとして南側エリアのプロモーションビデオを作製した。今年度は、(仮称)普天間公園に関する懇談会や西海岸地域の開発整備に関する懇談会からの普天間飛行場跡地利用への提言、道路・鉄道の計画等を踏まえ、配置方針の更新を検討していく予定。</li> </ul> </li> <li>●<b>今年度の取り組みに関する進捗状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒跡地利用計画策定有識者検討会議の第 1 回を 11 月 28 日に開催。第 2 回は平成 30 年 2 月 5 日を予定。また、第 1 回有識者検討会議の前に海外事例調査を実施。</li> </ul> </li> </ul> |

| 市町村  | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宜野湾市 | <p><b>【普天間飛行場】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●NB ミーティング、若手の会の活動状況</li> </ul> <p>⇒NB ミーティングの取り組みは、平成28年度は、普天間飛行場の過去と未来のカタリバと題し、地域の人との意見交換会を実施。民間企業を中心としてまちづくり分科会を開催した。平成29年度は、那覇新都心を例として地権者ではない基地周辺の市民を対象に意見交換会を検討中である。</p> <p>⇒若手の会については、資産活用の方法やまちづくりの方針について、月1回の定例会にて意見交換を行っている。今年度は、大規模公園の考え方をテーマとして議論を進めていきたい意向である。若手の会からは、有識者からの勉強会を開催したい旨要請があるため、アドバイザー派遣業務を活用できないか検討中である。</p> <p>●<b>今年度の取り組みに関する進捗状況</b></p> <p>⇒今年度も継続して、意識醸成を図るために毎月の活動支援を委託している。</p> <p>⇒今年度は、若手の会が公園をテーマに勉強を進めており、事例として木曽三川公園、名古屋の平和公園を視察している。また、視察と併せてNPO法人彦根景観フォーラムを訪問。</p> <p>⇒平成30年2月頃に、一般地権者向けに若手の会の活動について、地主会を通して字別意見交換会を開催予定。</p> <p>⇒NB ミーティングは、那覇新都心の整備前後でどのようにまちや生活が変わったか等について、新都心の周辺に住んでいる住民と地権者と意見交換会を予定している。</p> <p>（文化財関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財調査、環境調査の進捗状況</li> </ul> <p>⇒普天間飛行場内部の文化財調査は実施していない。環境調査については特に進展なし。</p> <p>●<b>新聞報道で一部事前立入りが認められた（文化財調査）とあったがその状況</b></p> <p>●<b>実施主体はどこになるのか</b></p> <p>⇒県に指導を仰いでいる。調査時期は未定であるが、市としては他の現場もあり、現時点では体制的に困難。（人員が不足）</p> <p>⇒実施主体は県と市である。県は10月頃に現地踏査を行ったと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●宜野湾11号の文化財調査の状況</li> </ul> <p>⇒年度内に業者を決定し、来年4月以降に調査を開始する予定。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p>●<b>地域住民の合意形成に向けた新たな取組の有無</b></p> <p>⇒小中学生の跡地利用の意識向上を図るため出前講座を1校で実施した。宜野湾市の成り立ちや普天間飛行場跡地利用の絵本の配布や、プロモーションビデオを流し、意見交換を行った。出前講座は次年度も継続予定。</p> <p>⇒小中学生を対象に「夢のある普天間飛行場の返還跡地の未来」をテーマに絵画コンクールを実施。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p>●<b>新たな課題の有無</b></p> <p>⇒なし。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 浦添市 | <p><b>【牧港補給地区】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第5ゲートの返還に伴う跡地利用について<br/>⇒返還時期は、未確定。（防衛局からは、平成29年度内返還と報告あり。）<br/>⇒第5ゲート（2ha）だけでの跡地利用計画は考えていない。<br/>⇒現状返還されても活用できず地権者に不利益となってしまうため、一括返還を防衛局に要請している。</li> <li>●その後、状況に変化は。<br/>⇒変化なし。地権者数は50～60名ほど。<br/><br/>⇒平成29年度内の返還については、防衛局からの連絡がないことから、返還は平成30年度以降になる模様。<br/><br/>⇒第5ゲートの先行取得については、平成29年度は1筆を取得予定。なお、平成30年度以降については、基金（約4億円）と交付金の範囲内での取得となるが、年々予算が減っていることから、2haの取得は厳しいと考えている。</li> <li>●先行取得の状況<br/>⇒平成28年度末時点で、3.4ha（27億円）取得済み。</li> <li>●その後の進捗状況<br/>⇒平成29年度は約3.5ha取得予定（約29億円分）。</li> <li>●北側進入路返還跡地の用地取得状況<br/>⇒防衛省補助事業を活用して、67.3%取得済み。（進展なし）</li> <li>●海没地の補償状況<br/>⇒進展なし。防衛局は、財務省の予算があれば補償する方針である。<br/>⇒5月24日に市長から自民党幹事長に対し、補償進捗に配慮してほしい旨要請を行った。</li> <li>●その後の状況<br/>⇒進展なし。</li> <li>●基地内郵便局の移設協議に関する情報。<br/>⇒返還条件のひとつ。統合計画の中で、キャンプ瑞慶覧に移すことは決まっているが、場所は未定。<br/>⇒また県の港川道路整備事業にも関係するため、早期移設が必要。<br/>⇒港川道路供用開始に伴い、巻添え返還地もある。<br/>⇒港川道路の整備に併せ、沖縄防衛局で対応する旨、県から報告を受けている。</li> <li>●この件で、市が情報を得ていることはないか<br/>⇒港川道路供用開始に伴い、巻添え返還地となる可能性のある場所は、全て民有地である。この土地は、公園緑地として保存していく予定と聞いている。<br/>⇒平成30年度は暫定2車線で供用開始（共同使用）を予定している。なお、返還条件は、全面（4車線）の供用開始が条件となっているため、暫定2車線では全面返還にならず、共同使用となり、全面返還は4車線供用開始後となると聞いている。</li> </ul> |



| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 浦添市 | <p><b>【牧港補給地区】</b></p> <p>①現在の地区の状況等（前頁よりつづく）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●チームまきは21の活動状況</li> </ul> <p>⇒7月に第1回勉強会を開催予定。支援事業のコンサルは未定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●その後の活動状況</li> </ul> <p>⇒7月と9月に勉強会を開催。平成29年度は、残り2回（11月と1月）を予定。1月には、支援事業を活用して、講師を呼びたいと考えている。</p> <p>⇒12月には、那覇市の次世代の会と勉強会を予定。</p> <p>（文化財関連）</p> <p>⇒調査に入れない状況は依然変わりなし。</p> <p>⇒防衛局によるフェンス等設置工事予定地の試掘調査を行った際は、工事予定範囲において文化財は確認されなかった。</p> <p>⇒浦添市として米軍の施設新設、建替えの際に、試掘調査をした経緯はあるが、全域で把握している訳ではないため、返還後は未実施範囲を中心に文化財調査を行う必要あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●その後の状況。</li> </ul> <p>⇒防衛局によるフェンス等設置工事予定地の試掘調査においては、立会いのみ。ゲート部分について、現地保存可能な文化財を確認。</p> <p>⇒国道58号の拡幅による影響で建物一棟（ランドリー）が移設となるため、その移設先の文化財については、防衛局による試掘調査の立会いによる確認を予定。</p> <p>⇒第1ゲートから南側の拡幅ラインの調査についても今後防衛局と調整が必要。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>（文化財関連）</p> <p>⇒市単独の文化財人員不足</p> <p>⇒直近の増員予定なし。</p> <p>⇒宜野湾市の例（普天間、瑞慶覧）では市単独だけでなく、県埋蔵文化財センターとエリアを分けて調査を実施している。宜野湾市の体制を、浦添市でも取り入れ県と一緒に調査を実施したい。</p> <p>⇒体制については、現在県と調整中。</p> |

| 市町村 | <b>【施設・区域名】</b><br><b>①現在の地区の状況等 ②今年度の取組 ③課題等</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 那覇市 | <p><b>【那覇港湾施設】</b></p> <p><b>①現在の地区の状況等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度の活動スケジュールの確認（跡地利用計画策定手順検討委員会の活動状況も含め）</li> </ul> <p>⇒平成 28 年度より、跡地利用計画づくりにおける第 2 ステージに移行している。</p> <p>⇒平成 28 年度は、第 2 ステージにおける具体的な取り組みを整理し、跡地利用計画策定にかかる「検討体制」、「プロセス」、「合意形成活動」などをまとめた那覇軍港跡地利用計画策定手順書（原案）を作成した。また、これまで行ってきた地権者等との合意形成活動を中断することなく継続して進めた。平成 29 年度は、平成 28 年度に作成した那覇軍港跡地利用計画策定手順書（原案）について、地権者等との共有を図り、那覇軍港跡地利用計画策定手順書を策定する。</p> <p>⇒また、跡地利用計画（案）の検討にあたっては、有識者等で組織する跡地利用計画検討委員会を立ち上げる予定である。</p> <p style="padding-left: 40px;">⇒手順書の策定及び跡地利用計画検討委員会の立ち上げについては、平成 30 年度以降に検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●浦添地区への軍港移転に関し、那覇市、浦添市、沖縄県との調整状況</li> </ul> <p>⇒平成 29 年 4 月 27 日に第 24 回目となる「那覇港湾施設移設に関する協議会」が開催された。協議会において、代替施設の配置案と民港に与える影響・支障の評価結果について報告がなされた。また、評価結果を踏まえた代替施設の配置案の選定については浦添市の回答を確認した上で、改めて協議を行うことが確認された。次回、開催時期については、未定である。</p> <p style="padding-left: 40px;">⇒現在、協議会の開催の見通しはたっていない。</p> <p style="padding-left: 40px;">⇒浦添市は、協議会の結果を受け、代替施設を北側と南側に配置した浦添市検討案について、「浦添市西部開発に関する懇話会」を設置し、まちづくりの視点から検討を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地主会、次世代の会の活動状況（活動予定）</li> </ul> <p>⇒これまで実施してきた地権者等との合意形成活動を中断することなく継続して実施していく。地主会では、跡地利用に関する専門的な知識の習得に向けた勉強会を開催する。次世代の会では、継続して跡地利用の考え方を検討する。</p> <p style="padding-left: 40px;">⇒次世代の会は、平成 30 年度 3 月まで継続して定例会を毎月 1 回開催予定。</p> <p style="padding-left: 40px;">⇒平成 29 年度は、宜野湾市の若手の会や浦添市のチームまきほ 21 との意見交換を行いたいと考えている。</p> <p><b>②今年度の取組（今後の取組）</b></p> <p>⇒特になし。</p> <p><b>③課題等</b></p> <p>⇒特になし。</p> |

## (2) アドバイザー派遣等及び各種会議における講演テーマ等の要望

第2回市町村個別訪問において把握したアドバイザー派遣等への要望及び各種会議等の意見交換又は講演テーマ等への要望を整理する。

※斜体文字が第2回のヒアリング結果

| 市町村  | アドバイザー派遣等                                                                                                                                                                                                            | 講演テーマ等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 金武町  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉活用施設の公募に関するアドバイザー派遣を検討。<br/>⇒公募の状況等を踏まえ、11月末に相談予定。</li> <li>・公園管理棟の設計内容精査に関するコンサルタント派遣を検討。<br/>⇒予定通り、年内に完了予定。</li> <li>・残地を活用した新たな施設導入に向けた基礎調査に関するコンサルタント派遣を検討。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相続問題への対応について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 読谷村  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道東地区について、昨年度同様にコンサルタント派遣を予定。<br/>⇒瀬名波通信施設について、非農地の概略設計にコンサル派遣等を活用できるか検討する。</li> </ul>                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携に関するテーマ<br/>⇒村として、図書館を官民連携でつぐれないか考えている。<br/>⇒事例としては岩手県紫波町のオパールが挙げられる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |
| 北谷町  | <p>⇒基地内の拝所の調査(場所、信仰神、文献調査、ヒアリング調査等)を行うことができるか。</p>                                                                                                                                                                   | <p>(セミナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地主会からアンケート等で確認してはどうか。</li> <li>・地主の当事者意識を高め、主体的に跡地利用を考えてもらえる内容等</li> </ul> <p>(講演テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村の課題をどうやって解決してるかの情報共有。(例えば、鉄塔の移設に関する事など)</li> <li>・西普天間住宅地区の原状回復の中での文化財調査のやり方等について、文化財調査に関する情報共有。<br/>⇒文化財調査の概要について、土木建築関係者にレクチャーしてほしい。</li> </ul> |
| 北中城村 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インター及び県道拡幅の用地以外の残地について、区画整理事業の可能性検討がコンサル派遣で可能か。</li> </ul>                                                                                                                   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 宜野湾市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も西普天間地区の映像資料撮影のためのコンサルタント派遣を要望する予定。<br/>(文化課)</li> <li>・6月から文化財調査に関するプロジェクトマネージャーの派遣を予定。<br/>⇒来年度全体文化財計画を作成したい意向あり。</li> </ul>                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーへの参加は市からも若手の会に周知していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                  |

| 市町村 | アドバイザー派遣等                                                                                                                                                                                                                                                            | 講演テーマ等                                 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 浦添市 | ⇒平成 30 年 1 月に予定しているチームまきほの勉強会において、観光リゾート関連の講演会を開催したい。依頼する講師が決まり次第、局へ派遣を要望する。                                                                                                                                                                                         | ・チームまきほのメンバーが参加するためには、日中開催ではないほうが好ましい。 |
| 那覇市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地主会を対象とした勉強会の回数を増やすことになればコンサルタント派遣を検討したい。<br/>(地主会独自の取り組みでも、市として申請すれば対応可能)</li> </ul> ⇒地主会が独自で、アジア国際平和経済投資調査検討委員会を立ち上げて、跡地利用に対する勉強会を行っている。その中で、平成 29 年度は、講師を呼んで MICE に関する勉強会をしたいと要望があったため、講師や時期が決まり次第、派遣について相談したい。開催は年明けを予定。 | —                                      |

## 第 3 章

### 駐留軍用地跡地利用推進懇談会



## 第3章 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

### 3-1 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の概要

#### 1 目的

推進懇談会は、関係市町村ごとに異なる課題について意見交換し、跡地利用を推進する際の留意点及び新たな支援方法を検討することを目的に、跡地利用に詳しい学識経験者や有識者で議論し、跡地利用行政に資することを目的として開催した。

#### 2 開催内容

##### (1) 第1回

開催日：平成29年9月20日（水）  
場 所：沖縄総合事務局 特別会議室  
議 題：以下のとおり

- ア 上半期の取組について（報告）
- イ 西普天間住宅地区（文化財調査）及び恩納通信所の状況について（報告）
- ウ 新たなメッセージについて（意見交換）
- エ 今後の市町村支援事業の取組について（意見交換）



##### (2) 第2回

開催日：平成30年2月21日（水）  
場 所：ネイチャーみらい館 視聴覚室（金武町）  
議 題：以下のとおり

- ア ギンバル訓練場の状況について（意見交換）
- イ 下半期の取組について（報告）
- ウ 今後の市町村支援事業の取組について（意見交換）



## 3-2 第1回駐留軍用地跡地利用推進懇談会

### 1 開催日

平成29年9月20日（水）

### 2 開催場所

沖縄総合事務局 特別会議室

### 3 出席者

#### 【推進懇談会委員】

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 大澤 真   | 株式会社フイーモ 代表取締役                   |
| 岸井 隆幸  | 日本大学理工学部 教授                      |
| 阪井 暖子  | Planning & Produce Studio SAI 代表 |
| 堤 純一郎  | 琉球大学工学部 教授                       |
| 當銘 健一郎 | 株式会社沖縄電工 代表取締役専務                 |
| 中本 清   | 特定非営利活動法人蒸暑地域住まいの研究会 理事          |
| 新田 進   | 那覇新都心株式会社 顧問                     |

#### 【プロジェクト・マネージャー】

|      |                   |
|------|-------------------|
| 高嶺 晃 | 恩納村プロジェクト・マネージャー  |
| 辻 純一 | 宜野湾市プロジェクト・マネージャー |

（五十音順 敬称略）

### 4 議題

- (1) 上半期の取組について（報告）
- (2) 西普天間住宅地区（文化財調査）及び恩納通信所の状況について（報告）
- (3) 新たなメッセージについて（意見交換）
- (4) 今後の市町村支援事業の取組について（意見交換）

### 5 内容

#### (1) 上半期の取組について（報告）

##### ア 事務局からの主な報告事項

- ・跡地関係市町村連絡会議、市町村個別訪問（第1回）、跡地利用推進セミナー、跡地関係市町村個別会議（第1回）、アドバイザー等専門家の派遣等の上半期における実施概要を報告した。



## (2) 西普天間住宅地区（文化財調査）及び恩納通信所の状況について（報告）

### ア プロジェクト・マネージャーからの報告事項

#### <西普天間住宅地区埋蔵文化財調査の状況について>

- ・ 昨年から埋蔵文化財の調査が本格的に始まり、調査期間は2年間を予定しており、今年度で終了する予定になっている。調査区は全部で9区あり、1区から5区と7区は調査が終了している。現在は、6区、8区及び9区を調査している。
- ・ 今後、調査が必要な面積をトータルすると約24,000㎡あり、それを5月から12月までの8カ月で調査するという相当厳しい期間の中で調査を進めている。
- ・ 6区では縄文時代の竪穴住居跡が三、四棟は出てくるだろうと予想され、グスク時代の柱もかなり密度が濃く残っている。
- ・ 8区でもそれほど多くはないがグスク時代の遺構が出てきている。また、8区は普天間石川原第二遺跡でお墓の調査をしているが、縄文時代とグスク時代の遺構が出ている状況で、調査はこれから本格化する予定である。
- ・ 9区は旧道跡で、旧道の下に一部縄文からグスク時代の堆積層が残っている状況である。
- ・ 8月末までの進捗状況は約60%と考えており、後3カ月半で残り40%の調査をこなしていければと考えている。
- ・ 調査は順調に進んでいるが、いくつか問題点もある。1つ目は調査体制で、市の職員が6名、嘱託職員が7名、その下に支援業者が入って調査を進めている。6区、8区（普天間石川原第二遺跡）とそれ以外の8区、9区の4つの区に支援業者が分かれており、調査区ごとに支援業者の調査員及び作業員が付いて調査を進めている。
- ・ 作業員は1日約200名が動いているのではと思っているが、支援業者の管轄で異動ができない。進んでいる調査区も少し遅れている調査区もあるが、作業員の異動ができない。そういう意味では、契約ごとに動いているということが起こっていて、トータルで見ると作業員の効率的な動かし方ができていないと思う。
- ・ 調査が始まる前は、支援業者は1つの管理体制でやった方がいいとアドバイスしたが、なかなかそれが出来ずに、4つの業者に分かれてしまった。本来は1つの業者でやったほうが効率的で、命令系統もうまくいくので調査精度も上がり、費用も下がってくる。期間的にも早く終われると思っているので、今後宜野湾市では普天間飛行場でも調査が控えているので、そういう調査方法を取り入れたほうが効率的に進めていけると思っている。
- ・ 2つ目は作業員確保の問題で、沖縄県全域において、いろいろな基地のエリアで調査行われていて、どうしても作業員が不足になっている。今回の調査でも、ある支援業者の作業員は80人のうち50人ほどは全くの素人です。
- ・ 作業員がある程度仕事を理解するまで時間がかかってしまうので、調査としては非

効率にならざるを得ない。やはり作業員の育成は沖縄県全体になると思うが、埋蔵文化財調査が今後も続くのであれば、作業員の地位も上げていかないといけない。やはり育成が大事と思っている。

- ・最後は支障除去で、4 mぐらい掘られている。そうすると埋蔵文化財として周知の遺跡に引っかかる。その場合、基本的に全てが調査対象地になってしまう。掘らなくてもいいところ、調査しないでもいいところを調査しないといけない。支障除去のために調査しないといけないということが起こる可能性が高くなる。
- ・例えば住宅地区などでは、そんなに深く掘らない、あるいは土を盛ってしまえば済むところも、支障除去のために掘削調査が必要になってくるので、その辺は少し工夫した方がいい。
- ・我々もむざむざ遺跡が潰されていくのを見るのは心苦しいものがあるので、そういう形で取り組んでいただけると、支障除去の探査をもう少し効率的に行うため、地下の探査精度を上げるようなシステムの開発が望まれる。

#### <恩納通信所の状況について>

- ・恩納通信所は平成7年に返還され、もう20年余り動いていなかった。昨年5月からプロジェクト・マネージャーとして派遣され、どうして動いていないか簡単に調べてみると、まず都市計画区域外だということと、もう1つは平成21年に地主と外資系のリゾート開発企業が100年の地上権の賃貸権を設定しているということがあった。
- ・結局誰がイニシアティブをとってこの計画を進めていくかということが大きな課題である。つまり100年という時間と、いつまでにゴールを見つけるかということが非常に難しい。そこはほとんどが農地だったということで、地主は所有地が軍用地でもないの、リゾート開発企業から土地代をもらっている。大した土地代ではないが、そういう形になっていた。
- ・そういう状況の中で、開発に向けた体制と役割ということでまとめると、この跡地利用が地主会とリゾート開発業者だけの軸でずっと21年間経ってきている。その前には、別のリゾート開発企業がリーマンショックで撤退したりしたこともあり、なかなか跡地利用が進まなかった。
- ・それはどこに問題があるかというと、恩納村と国や県がほとんど関わっていないということと、跡地利用のメニューがないということで、どういう開発をするのか、土地区画整理事業も河川・街路事業もできない状況だった。
- ・村、国・県、リゾート開発企業、地主会を含めて、どうすればこの事業を動かせるかということを考えて、まずは整備構想案をつくった。
- ・リゾート開発企業が既に開発行為の許可をとっているが、その計画では米軍基地がリゾート基地になった感じになっている。結局既存の左側の道路から入ってくる道路だけになっている。

- ・万座毛や地域との連携もなく、そこに約50ha弱のリゾートエリアをつくるだけの計画で、それを何とかできないかということで、恩納通信所跡地周辺の整備構想（案）をつくった。
- ・返還跡地と村、地域、大学院大学をうまく連携させて、跡地利用に単なるリゾートエリアだけではなくて、生活の延長線上にある村民の暮らしなどそういう一体的なものをつくるという構想で各ゾーンの方向性をまとめている。
- ・リゾート開発企業のリゾート開発区域は集落近くまで構想に入っていたが、そこがリゾート用域になると建物の高さが40mまでつくれるようになる。それに対して集落用域は高さが13mで、そこに高層の建物が建つということで、周辺集落が反対していた。
- ・リゾートエリアと周辺エリアの間に何か緩衝地域をつくることができないかということで、リゾートエリアと集落エリアの間に交流エリア（地区計画調整エリア）というエリアを設けることでリゾート開発企業とうまく調整ができないか考えた。
- ・他にも整備メニューがないか検討し、1つは北部連携事業、もう1つは一括交付金を検討した。一括交付金は時限立法になっているので、それまでに何とかこういった構想をやり遂げなければならないということになった。
- ・開発区域に隣接して排水路があるが、そこは恒常的に浸水している。そのため早急に基盤整備をやらなければいけないということで、県と相談して一括交付金で平成28年度に実施設計を行い、工事は2020年度（平成32年度）までには完成させたい。
- ・現在は用地取得のため、地権者と交渉を行っているが土地の権利関係は土地所有者の上に管理する地主会が地上権を設定し、そこをリゾート開発企業が借りている形になっている。
- ・その状況で公共事業を入れたときに、この借地権の権利を何%にするかということでリゾート開発企業と交渉しており、今月中に話を詰めて年内には買収しようと思っていて、何とか借地権の20%以内で抑えてもらえないかという交渉をしている。
- ・リゾート開発企業の構想では、リゾート区域をノースエリアとサウスエリアの2つに分け、真ん中に幹線道路を通した案となっている。この幹線道路は幅員16mのボンネルフで整備する予定で、これは北部連携事業で整備することで調整をしていて、来年度から実施設計と用地買収を行って、2021年度（平成33年度）竣工の予定になっている。
- ・リゾート開発企業と相談して全体のプライオリティーを決めるために、リゾートホテルを2021年度（平成33年度）にオープンできるよう設計に入っており、病院エリアとして調整エリアの中に100床のリゾート型の病院をつくることで調整している。また、先行して住宅エリアに大学の宿舎300室ぐらいをつくるというプランで大学側と話し合っている。
- ・ということで、2021年度（平成33年度）には道路ができて、それからリゾートホテルがオープンをして、排水路の整備も終わり、それから病院の件も具体的に動い

ているので、あと4、5年すると大体の形が見えるという状況になっている。

- ・9月に京都でホテルがオープンしたときに、たまたまりゾート開発企業のトップと会えたので、まず全体計画にプライオリティーをつくってくれとお願いして、ノースエリア部分は、リゾート用域の変更を行った。調整区域はまだ特定用域にしているが、そこは計画に合ったような用域の変更をすることになっている。
- ・道路等の基盤整備は、相応の負担をリゾート開発企業にしてもらうということで話を進めており、このように地域と連携した跡地利用という方向で進めている。

## イ 質疑応答

(西普天間住宅地区の文化財調査)

Q：文化財調査について、JV（共同企業体）にできなかった理由があるのか。

A：できなかった理由を明確に知らされていないのでよくわからないが、宜野湾市文化課の判断だと思う。

Q：JVにした場合、最初から誰がどれだけ作業するかがわからない。実際に業務が始まって、ここは相当な作業が必要だとなったときに、自分の作業員にこれだけやらせる、他から借りてくる。それに応じた調査費の支払いが行われれば、何か事足りるような気もするが。

A：そう思ったので、そういう提案は出させていただいた。

Q：業者を選ぶのは入札なのか。

A：入札で決めている。

Q：教育委員会が1社（JV）で業務を受けることが出来ないと誤解してやってるだけじゃないかという気がするが。

A：そうだと思う。プロジェクト・マネージャーとして派遣されてから、そのほうが調査しやすいのではないかとことはずっと話している。だんだんその気になってきているような感じもあるが、採用されるかどうかはまだわからない。

Q：沖縄全体ではいつもそういう感じなのか。

A：そのようである。

Q：JVでやるということを経験したことがないのか。

A：ないと思う。

(恩納通信所)

Q：恩納村は開発許可を取り直すのか。

A：今回取り直している。

Q：アセスもやり直しになるのか。

A：規模はこれから決定するが、道路等については県と調整している。そこは白抜きなので直接開発行為にはならないが、その後に全体的にアセスをとり直さなければいけない。それはリゾート開発企業にも了解してもらっている。

Q：日本ではディベロッパーとか誰かコンサルティングを手伝っているのか。

A：リゾート開発企業の技術員が3名位いる。しかし、あくまで技術屋なのでグランドデザインについてはトップとの交渉になる。

Q：実際に絵を描くのは日本のコンサルタントやディベロッパーが入らないと描けないのではないかな。

A：どこかに描かせていると思う。

### (3) 新たなメッセージについて（意見交換）

#### ア 提案の経緯

- ・平成27年度末に手引書を改訂した際にメッセージをどうするかという意見があり、平成28年度の推進懇談会において、メッセージの内容などについて意見交換していただいた。
- ・手引書は、跡地利用をどうやって進めていくかということで、平成23年度にいろいろ整理して作成したものである。それを発信するに当たって「これからの跡地利用の進め方」について推進懇談会からの提言というかたちで、メッセージとして発信したものである。
- ・平成24年度に跡地利用特措法が改正されたことや、平成27年度末の法改正を受けて手引書の改訂を行った。その際に、提言なるメッセージも手引書の改訂に伴って新たに出すべきなのかどうかの議論があり、平成28年度の推進懇談会で委員の方々から意見をいただいた。
- ・平成28年度の意見交換内容を確認すると、メッセージをどう発信するのか、どんな形で誰に対して発信するのか、そういった意見はあったが、それほど強く変えなければいけないという意見でもなかった。そのため今回もう一度各委員のメッセージに対する考え方を整理して、これをどのように取り扱うかということで、メッセージの発出の可否も含め意見交換していただきたい。

#### イ 意見交換

- ・基本的に手引書の対象者としては、返還された基地跡地がある市町村の担当者に向けてということを最初に考えていた。その後、それだけでいいのかという意見があり、それが発端となって、メッセージはもっと広い人に向けて発信すべきじゃないかということになった。そこで市町村担当者以外にも、地権者の皆さん、それからその自治体の一般の市民の方にも向けて発信しようということになった。
- ・手引書は、いろいろと調べて見るためのものではあるが、これを考えるに当たっての精神というか、ベースとなる気持ちというものをちゃんと持ってもらいたいということで、メッセージを入れた。

- ・改訂の話が出てきたのは、その当時からかなり返還もされてきて、跡地利用も進んできたということと、社会の状況が少し変わってきたということもある。そこで、メッセージの内容も少し見直していく必要があるのじゃないかということでこの議論になっていると理解している。
- ・今誰に対して、高邁なメッセージを言う必要があるのかどうか。流れ的にその一つ一つのところで取り組みをやっていけばいいのかというところで議論の余地がかなりあるかと思っている。
- ・手引書の本編と資料編を合わせるとかなり分厚いので、これを全部理解してもらうのは大変だということで、一番の骨のところを伝えようということだったのではないか。
- ・今回そこを議論するというので、改めて読み直したが、今の状況で不都合だという点はほとんどない。このメッセージは、文章的にわずかA4の2、3枚のペーパーだが、要するに跡地利用をやるに当たっての心構えが書いてある。そのため、別に古くなった、不都合だということはほとんどなくて、仮に改訂しても、目のプロジェクトとして西普天間住宅地区はもう始まっている。
- ・次は、牧港補給地区が7年後、普天間飛行場は5年後だったが、新聞報道によれば米軍はもう既に3年遅れているという発言があるので、足し合わせると8年後、要するにあと7～8年経たないと最大のプロジェクトが動かないので、今慌てて改訂をする必要もないという感じは持っている。
- ・メッセージを読み直してみて、若干変えるとすれば「跡地利用について民間の参画も必要です。」と書いてあるが、もう参画ではない。大いに使うというか、参画レベルではなくなっているという気はする。
- ・跡地利用に当たっての共通する事項や心構えという感じのものになっている。やはり跡地利用に関わる人たち全体に向けてのメッセージになるほうがいいのかという感じで思っていた。
- ・この手引書の改訂版は、制度が変わるたびに改訂されるのか。法制度の変化に伴った制度的な変化を書き込んでいるという修正なので、根本的なところが大きく変わっているのではないとするならば、従来のメッセージはそれほど変わるところはないのかもしれない。
- ・何か新たにここで、基地跡地の問題に対して考えるべきことがもっとあるということであれば、それはもちろんメッセージとして発してもいいが、必ずしも手引書にこだわることはないかもしれない。
- ・ここで議論された結果、やはりもっと広く伝えたほうがいいのかということであれば、それはそれでそういう我々の考え方を単独で伝える方法をとればいいのかかもしれない。
- ・新しい跡地利用特措法の給付金が改善されたり、先行取得が認められたりということがあれば手引書は順次変えていくが、メッセージは全体的な取りまとめだから、

この中ではそういう細かい話は出てこないと理解している。

- ・手引書そのものは技術的な内容も多く、土地の取得方法とか、区画整理をどう始めるか、そういうことがたくさん載っている。ただし、メッセージに関しては、そういうことを頑張rinaさいよという内容なので、そこまで細かいことは載っていない。
- ・こうした心構え的な話というのは、もう一度我々として考える必要があるのではないか。これは懇談会からの提言として発出しているようなので、懇談会としてどういうタイミングで発出することが必要なのか、ちゃんと議論した上で、発出することが妥当なような気はする。
- ・発出することで、新たに何がしかの効果が得られるものなのかどうかだと思うが、これを新しく変えて、マスコミとかも使って大々的に打ち出すという内容が何かあるかということ、恐らくないと思う。
- ・当時も民間主導でいろんなことをやっていく、民間とどうやっていくかということで、アワセゴルフ場地区の例などをいろいろ参考にしながら、地主も前向きにそういうやり方もあるということを知ってもらい、その経験を生かしてやっていくということが大事ですよという話だったと思う。
- ・今回恩納村の問題などを伺っていると、いろいろ新しい問題に常に直面して、そのたびに新しいやり方を考えないといけないのも事実で、この手引書があるから全部うまくいくというのでは全くない。それぞれの地域によって知恵を出していくことが現実には必要になっている。そこには少しポテンヒットみたいな、誰も扱えないからそのまま放置しているという事例も残念ながら起こっている。
- ・そのところで実際のやり方や工夫とかについて、こういう知恵がありますよということを、皆さんが知っていくことが大事だが、それは手引書から出てくるものではないかもしれないので、そこはすごく価値がある。
- ・発出する場合の対象者が一番気になるところで、当初、このメッセージを検討したときに、対象者は市町村の担当者なのかということがあり、そうではなくて一般市民まで含めて全部だということになってきて、それが非常に大きなポイントになったと思う。結局、皆んなで返還跡地を有効利用する方法を考えましょうという応援団みたいな話なので、そう意味で書いたメッセージだというイメージである。
- ・そのときは市町村支援事業だから担当者がうまく住民を丸め込むための道具にするのではないかという話もあったが、そうではなくて、全員で頑張らしましょうというメッセージにしましょうということだった。その意味では今でもこのまま通じると思っている。

## ウ まとめ

- ・メッセージについては、いろいろ課題はあるが、今回はあえてそこで大きな姿勢を出すこともないという感じもあるため、今日出てきたような個別の課題をもう少し具体的に積み上げていった上で、改めて幅広く、この推進懇談会が世間に対して強く

アピールしなければならないと思った段階で、その方法も含めて議論してもらいたいと思う。

#### (4) 今後の市町村支援事業の取組について（意見交換）

##### ア 意見交換の概要

- ・平成29年度下半期の取り組み及び平成30年度以降の中長期的な視点から支援策に対する意見、助言のほか、昨年度の意見交換を踏まえて、これまでの取り組みの継承についてを中心に意見交換を行いたい。
- ・参考資料として現在の返還跡地・返還合意施設の位置図を示した資料及び今年度の市町村支援事業の下半期の予定として、関係市町村の検討課題の把握ということで、11月に関係市町村のヒアリングを実施、来年1月に個別会議、2月に推進懇談会を開催する予定となっている。それら会議等のテーマとして参考にさせていただくために、いろいろご意見をいただきたい。

##### イ 意見交換

- ・読谷村の返還跡地で産業廃棄物が不法投棄されている場所が見つかり、それが返還後に見つかった。要するに、返還前であれば防衛局の予算で支障除去をしないといけなかったが、返還された後なので、この処理を読谷村がやらないといけなくなった。
- ・廃棄物の量が結構大量で、そういう宙ぶらりんの状況で返還された跡地をどう支援するかというメニューがこれまで全くなかった。以前推進懇談会の委員だった田島氏が読谷村の副村長になられていて、それで相談されたが、どうしたらいいかわからないのが現状である。
- ・読谷村でも、その廃棄物の処理をどう進めるかという委員会を立ち上げたばかりだが、そういう宙ぶらりん状況を支援することが可能かどうか。
- ・恩納村でも都市計画区域外での開発に関して、プロジェクト・マネージャー（高嶺PM）一人で頑張っている感じがする。そういったことで、恩納村に対してだけでなく、都市計画区域外の市町村に対しても何らかの形で支援ができないか。
- ・一般的な土地の売買契約では、売主は産業廃棄物などがあれば、それをきれいに片づけられないといけないという内容である。ただし、後で見つかった場合は隠れた瑕疵という条項があって、基本的に売主が責任を持って処理する、処理しない場合は損害賠償が請求できるという条項が既にある。
- ・今回は返還後ということだが、返還前に防衛局が返還実施計画を作成するが、そこにこういう環境汚染があるので除去するとか、そういう計画を作成してくる。その計画の中に盛り込まれていなかったということは、ある意味隠れた瑕疵と捉えてもいいような気もする。ただし、売り買いの話ではないということで、その計画が明



確でなかった、あるいは現実に合わせてなかったというところから攻めるという手はないか。

- ・読谷村のその場所はフェンスで囲まれていなかった。黙認耕作地がたくさんあったところで、その一部を業者が勝手に不法投棄に使っていたという状況で、そのため国には責任はありませんという言い方をされる。
- ・基地が返還されて、その跡地利用まで若干のタイムラグがあると、どこでもそういうことが起きている。那覇新都心地区でも何万㎡も穴を掘って埋められていたし、ほとんど夜中のうちにフェンスを壊して投棄されている。しかも穴掘って埋めた後に木が生えてくるので、いざ跡地利用をしようと伐開すると、その下からごろごろ廃棄物や石とかが出てくる。その処理費は半端じゃなく、あっという間に億単位のお金になる。
- ・那覇新都心地区では国道58号沿いに42の業者が勝手に違法操業していた。業者は沖縄県からの営業許可を取り消されることが一番怖いので、沖縄県と何度も協議した。その後半年ぐらい通い続けて、ようやく動いてくれた。1社を警察が逮捕して、その業者の営業許可を取り消したら、あっという間に残りの業者は、元に戻すことに応じてくれたので、42社すべてに全部持って行かせた。
- ・工事中はフェンスを取らざるを得ないので、いちごっこになる。道路の造成工事をするたびに、こんもりとした山になっていて、掘ると中から廃棄物がたくさん出てくる、毎日その繰り返しだった。タイヤだけでなく、車が1台出てくるなど、その処理費用だけで何億もかかっている。
- ・米軍基地跡地の中での問題の難しさは、ほとんどの業者は賃貸借契約を結ばず勝手にやっているの、米軍由来のものでない限り、大体地区の入り口近くの道路沿いは埋められていると思ったほうがいい。彼らはなるべく早く埋めて逃げようとするので、入り口近くがほとんどで、奥まではあまり入らない。
- ・読谷村だけではなく、ありとあらゆるところでそういうことが起こっているのであれば、すごく大きな問題である。国が基地を返還するときは、何がしかの契約はあるが売買ではない。
- ・返還ということで、そのときにそれぞれの地主や市町村の場合もあると思うが、契約をきちっと結んで、そこに瑕疵担保をどこまで見るのか。当然瑕疵担保もその時点では全くわからなかったものであれば免除される場合もあると思うが、そういう契約があれば、国もわかっていたのではないかと、そういうことを調べておく義務があったのではないかとということで話し合うこともできる。
- ・話し合っても決着がつかなかった場合は裁判するとか、そういうことができるようになっていけば、もう少し解決の糸口があるような気がする。今は返還されるときに国側と契約みたいなものは結んでいるのか。
- ・返還実施計画は、西普天間住宅地区でもあったが非常にざっくりばらんで、心配するのは文化財の問題もあるので、もっとデリケートな返還実施計画をまとめておかな

いといけないのではないかという話をした。

- ・防衛局は、アワセゴルフ場地区でもそうだったが、支障除去が完了ですと言ったときでも、これはよく調べないといけないと思って見ていたら、向こう側では上から何かごみが捨てられていて、山のようになっており、草も生えていてわからない状態だった。
- ・それを処理するためにまた1年間時間が延びたが、そういうふうに関で見つけたものもちゃんと処理できるような返還実施計画にしておかないといけないと思う。
- ・地主側にとっても、もちろんそういうものがあつたほうがいいし、国としても何か根拠がないといけない。何でもかんでも国の責任だから処理してくれという話になると、国も困ると思う。なので、本当はちゃんと契約というか、そういうものがあつたほうがいいような気がする。
- ・現場に業者がいればできることだと思うが、もう既に業者がいなくなって、責任者がいないというケースになると、やり逃げみたいな話になってしまう。あとは国が責任持つかというと、国には責任はない。犯罪行為に対してお金を払うことになるので、その辺が少し納得いかないというか、難しいことである。
- ・例えば民民で契約する場合、契約上に表明保証ということを行っている。自分としてはこういうことは知っています、これは自分としてちゃんと事実として言っています。それに反するようなものが出てきたときは、誰が損害賠償をするのかということを保証している。
- ・もちろん全てのケースを想定できるわけではないが、そういうケースがある程度明確になっていれば、それを根拠に業者間で交渉できる。そこが何もないと、そもそもどこまで補償するのか、そこに何か工夫の余地はないか。
- ・平成24年度に跡地利用特措法ができたが、いわゆる支障除去については、それまでは米軍基地に原因があるものか、そうでなければやらないとなっていた。それが、理由は問わず、返還の際の実施計画の中で、汚染物質に対しても対応しないといけなくなっている。返還特措法以前からの件で、しかも読谷村の場合は黙認耕作地の部分は誰でも出入りできた。廃棄物を扱う業者が勝手にやっていたことで、米軍に由来するものではないことから、防衛局ではできませんといった問題がある。しかし、法律の制定前後でなぜ違うのという疑問は確かにあると思う。
- ・これから先は法律が変わったから、それでOKになると思っているが、それでは今までの部分はどうかということ、とても宙ぶらりんになっている。
- ・いわゆる産廃問題が一般的な宅地であってももちろん起こり得ることではあるが、跡地でそういうことが起きたときにどう取り扱うか、法律が変わる前後、それから返還時にわかっていたのか、わかっていなかったのか、そういうことも含めた取り扱いについて、もう少しわかりやすい説明書があるといいということになってくる気がする。
- ・それは今後のセミナーとか、何かの会議のときに課題として取り上げるべきであれ

ば、廃棄物処理の法律分野の有識者などと一緒に、手を組んでやることも当然必要だろうと思うし、今の世の中の話題であるということは大事なので、1つテーマとして考えていただければいいと思う。

- ・都市計画区域外の話も出たが、これはどれぐらいそういう案件があつて、どういう状況なのかを踏まえて、そういうグループに対してどう取り扱うべきか。今回の恩納村の例も出して、ここでこんなことが起きた、だから皆さんのところでも同じことが起こり得るから、ちゃんと考えたほうがいいという話になる。
- ・文化財調査も必ず起きることで、そもそもJVが組めるような、そういう業者間のマーケットの仕組みがちゃんとできているのか。そういうことを含めると、恐らく文化財行政の皆さんと一緒にやってやらないと、我々だけではできない。そこも含め一緒に議論を重ねて、実際に市町村に対してそういうセミナーを開くとか、そういうことをやっていかないといけない。
- ・全般の話で、この頃何かいろいろと出てきているという話を聞くと、外部の専門家というか、サポーターチームをつくっておいて、そこに相談できるシステムが必要になってきていると思う。そこをどういう形で、どこで構築するかといったことをここで議論することができればよい。やはり皆さんはいろいろな知恵を持っていらっしゃる方なので、この懇談会の中でできればよいのではないかな。
- ・市町村のほうからそういう要請があれば、アドバイザーという形で派遣するなど、実際にそういう組織が欲しいという相談が来た時に、どう取り扱うか。
- ・例えば外資系企業の件がかなり問題になっていたが、そういう話が出てきたときに、まずそこに相談して、一義的にどう動けばいいかわかるという組織があると、かなり救われると思う。
- ・例えば土地の賃貸借契約で99年、100年契約みたいな話がある。そういう話が来たとき最初に、こういう話が来たけどと、相談というか、投げかけしてもらうような組織があると、最初のボタンの掛け違いや大きなミスがなくていいと思っている。
- ・地主とかが、そういう国際的な法律や契約のやり方について知らない、99年契約という日本の民法では全然考えられない契約を何もわからないまま結んでしまう。そういうことが起こらないよう、こういう問題があつたときは弁護士に相談しようとか、もう少し過去の失敗事例集みたいなのがあればいいが、それを気づかなくて、もう契約しているということになる。相談に来る前に、もう間違つたことをしていることになる。それを止めるのは結構難しいと思うので、そこは教育するしかない。
- ・アワセゴルフ場地区もそうだったが、自分たちの組織の資金調達ができていない。それでみんなバラバラになっていた。恩納村では現在でも地主会の費用はなくて、リゾート開発企業から年間200万円ぐらいもらったり、地主の皆さんも8%もらったりしている。アワセゴルフ場地区の場合も、準備組合は資金がないと言って非常に困っていた。それで比嘉区から3,000万円ぐらい借りて、いろいろやっていた。

- ・そのような話になれば、やはりガバナンスがきちんとできていると、その組織の代表たちで相談するかという話になるが、そこら辺で地主会そのものが一体どう考えているか。
- ・一番大きな問題は、窓口がないという問題よりも、相談に行く人の問題じゃないかと思う。地主会にしろ、市町村の担当者にしろ、強力なキーパーソンがいなくなかなか動かない。制度としてはあるが、やはり最後は個人の動きで、そういう人間をどうやって確保するか。
- ・プロジェクト・マネージャーをアドバイザーとして派遣したくても、来てくださと呼ばれないとなかなか行けない。そういったときに来てくださと動く人が地主会や市町村にいるかどうかという問題で、その辺をどう教育して、キーパーソンを育てるかが、非常に大きなポイントになる。
- ・地主会は結構無責任な組織で、誰もなかなかそういうキーパーソンになってくれない。恩納村でもリゾート開発企業から話が来ても、それを受けとめる人が誰もいないので、プロジェクト・マネージャーとして出ていくが、そういう組織そのものにちゃんとしたガバナンスをサポートしていく者がいないと非常に難しい。
- ・現在の地主会の組織率は94%で、土地連（沖縄県軍用地等地主会連合会）というトップの組織があって、その下に市町村ごとに地主会がある。その市町村ごとの地主会の中に、さらに基地ごとの分科会みたいなものがある。その分科会に今度は字ごとの組織がある。
- ・地主会は軍用地料から何パーセントか事務費を徴収するが、沖縄県で1番高い軍用地料が那覇港湾施設で、那覇新都心地区の地主会は2番目に高い地代をもらっていた。年間何百万円のお金が入ってきて、調べたら何千万円も持っている。しかも地主会事務所の土地代まで抱え込んでいる。そういうところで地主会がきちんとお金を持っていて管理できているところと、金が全くないところもある。
- ・それからもう1つの問題は、那覇新都心地区のように地主が全体では2,600人もいるのに会員は700人、800人という組織だった。理由としては、返還後15年も経って、次々と相続が始まって、地主会の会員ではなくなった人も増えていた。組織としての地主会に対して帰属意識が全くない。その状態では地主会として意思決定もできない。
- ・URも地主会を相手に申し出換地をやりたい、減歩率は何%だ、土地利用計画はこうだという協議ができない。最初はそういうことを知らずに協議していたが、地主会に所属してない地主が2倍ぐらいいることが判明して、これは駄目だということになった。それで地主会を解体してくれとお願いしたが、それで大喧嘩になったが気持ちはわかってもらった。
- ・これまでの地主会は一旦解散して、帰属意識を持ってもらうために、今ではいけないことかもしれないが、地主全員の名簿を地主会に渡して選挙をやった。選挙で選ばれた代表が地主会の構成員になって代表権を持っているので、地主会の組織をピ

ラミッドとして相手にすれば、申し出換地の相談もあつという間にできるし、先買いの価格も決められる。

- ・要は、地主会が組織として意思決定できる組織になっているかは極めて重要な問題で、そういう組織になっていなければ、那覇新都心地区のようにドラスティックにもう一度再構成してもらおう。そうでなければ普天間飛行場や牧港補給地区のような大きなプロジェクトは相手と協議できないので動かせないと思う。
- ・地主会は単なる任意団体で、会費は規約で決められている。借地料の更新のための交渉を土地連が防衛省と直接やっていて、借地料の交渉のための団体となっている。
- ・任意団体であるが、公庫も銀行もお金を貸してくれない。だけど維持管理費として年間700～800万円ぐらいの支出がある。対象となるエリアの全ての地主が地主会に入っているわけではなく、平均するとどこでも94%ぐらいの加入率になる。
- ・形式上は94%の地主が会員になっているが、帰属意識が薄いところと強いところの両方がある。代表を選挙で選んでいる地主会は帰属意識を持っているし、自分たちの代表じゃないと思えば、別の人間を選挙に立たせる場合もある。
- ・恩納村の場合は、既に返還されているので、地主会としてそこに帰属する必要がないのだと思う。地主会の話はタブーではないが、地主会自身が、地主会の組成をあまりよく知らないのでは問題点がわかっていない。
- ・地主会のマネジメントはどうやるべきか、うまくやっている地主会と、そうでない地主会がある。それによってこんなことが実際に起きますみたいな話を出すことは構わないと思う。那覇新都心地区のように選挙で役員を選んでいる地主会もあれば、声の大きい人が手を挙げて役員になっているところもある。そういうところは個々の地主は帰属意識がないので、先買いをを行うにしても難しくなる。
- ・株式会社のような組織にして、代表権も持って役員を決定する地主会でなければいけない。10ha、20haぐらいで、地主が200人、300人であれば、地主全員を相手に区画整理をできるかもしれないが、2,000人、3,000人になれば相手が組織立っていないと無理である。それは普天間飛行場や牧港補給地区はそういうことが言えるのではないか。
- ・地主会の問題はすごく大きな問題だと思う。今後待ったなしで、どういう仕組みにするのか考えないといけないのではないか。
- ・ガバナンスとかを考えたとき、少なくとも株式会社でなくても最近は合同会社や社団法人とかいろいろあるので、そういう会社組織にして、ガバナンスが効いて、どういう過程で意思決定がなされているのが明らかになるような、そういうことは最低限必要だと思う。そういうことを表向き大きな議題にしていけないかという問題があるが、地主会には気づいてもらわないと、相当まずいと思う。
- ・要は各市町村の地主会は予算としてお金を出してくれないかと言っているが、市町村は出せない。本当はそういう身近な行政が、何か条例でもつくって、お金を調達できるようなことがあればいいと思う。

- ・準備組合とかであれば、また少し違うと思うが、普通は借地料が入ってくるので、その借地料の1%とか、それを徴収して会費にしているところが多いようだが、そういう形をとってなければ、お金がないという話になると思う。
- ・問題は基地である時はいいが、西普天間住宅地区のように返還されると、途端にキャッシュがなくなって借地料が入ってこない。借地料が入ってこないということは、事務費が入ってこないということで、それこそ解体しないといけなくなる。
- ・那覇新都心地区やアワセゴルフ場の事例を聞いて思ったのは、今までどういうことを考えてやってきたのか、これからこれを伝えないといけない、継承していかないといけないなと思ったので、これからどう継承していくのかといったところを少し丁寧に議論していきながら、ストックをどんどん出してもらってもいいかと思う。
- ・伝え方として、今までせっかくやってきたことを、どうやって伝えるかということで、目に見えないものが一番重要で、その裏にはいろいろなことがあるということ伝えていければと思う。

## ウ 今後の進め方について

- ・全体の議論としては、今後事業を進めていく上で、特に都市計画区域外について、我々はどういうふうに事業の仕組みを考えたらいいのかという課題、あるいはそれを市町村の担当者はどう捉えるべきかということを、しっかりと伝えるべきではないか。さらに、そういった専門家による相談窓口があってもいいのではないか。
- ・実際に事業に入ろうと思って地区内を見ると、廃棄物がある、文化財があるとなると、これはなかなか一筋縄ではいかない。こういう基地跡地の整備であれば必ず出てきそうな話題なので、そこについてはしっかりとどういう方向でやるべきかを過去の事例も含めて学ぶべきじゃないか。
- ・地主会という組織が最終的には地域を動かす母体となりそうな組織ではあるが、返還後もうまく運営できる母体になれるようにするには、どういったマネジメントの仕方を考えるべきか。
- ・したがって、個別にセミナーを開催するとか、様々な講演会をやるときに、情報をあらかじめ少し整理し、過去の事例で他のところではどうなっているかを整理した上で、具体に取り組んでいる有識者や先生方から具体の事例を紹介してもらい、何に気をつけるべきかを理解してもらい、できれば行政がとりあえず受けてもいいと思うが、窓口としてどこかに相談するスタッフをしっかりとつくり上げるということに向かっていければと思う。

## 3-3 第2回駐留軍用地跡地利用推進懇談会

### 1 開催日

平成30年2月21日（水）

### 2 開催場所

ネイチャーみらい館 視聴覚室（金武町）

### 3 出席者

#### 【推進懇談会委員】

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 大澤 真   | 株式会社フイーモ 代表取締役                   |
| 岸井 隆幸  | 日本大学理工学部 教授                      |
| 阪井 暖子  | Planning & Produce Studio SAI 代表 |
| 堤 純一郎  | 琉球大学工学部 教授                       |
| 當銘 健一郎 | 株式会社沖電工 代表取締役専務                  |
| 中本 清   | 特定非営利活動法人蒸暑地域住まいの研究会 理事          |
| 新田 進   | 那覇新都心株式会社 顧問                     |

（五十音順 敬称略）

#### 【オブザーバー】

大田 泰介 内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付参事官（政策調整担当）付企画官  
山田 雅一 内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付参事官（政策調整担当）付参事官補佐

#### 【金武町】※ギンバル訓練場の現場説明及び意見交換

|       |                |
|-------|----------------|
| 儀間 権  | 基地跡地推進課 主幹     |
| 安富祖 匠 | 基地跡地推進課 事業開発係長 |

### 4 議題

- (1) ギンバル訓練場の状況について（意見交換）
- (2) 下半期の取組について（報告）
- (3) 今後の市町村支援事業の取組について（意見交換）

## 5 内容

### (1) ギンバル訓練場の状況について（意見交換）

#### ア 金武町担当者からの取組説明等

- ・ ギンバル訓練場の跡地利用の状況について、現地視察を実施し、金武町の取組状況について町担当者と意見交換を行った。

### (2) 下半期の取組について（報告）

#### ア 事務局からの主な報告事項

- ・ 下半期における取組状況として市町村個別訪問（第2回）、跡地関係市町村個別会議（第2回）、アドバイザー等専門家の派遣等の実施概要を報告した。

### (3) 跡地利用における想定外の支障除去等への対応方法について（意見交換）

#### ア 提案の経緯

- ・ 第1回推進懇談会で「返還後に実際に事業に入ると、廃棄物などがあるとなると、一筋縄ではいかない課題となる。こういう基地跡地の整備であれば必ず出てきそうな話題なので、そこについてはしっかりとどういう方向でやるべきかを過去の事例も含めて学ぶべきではないか。」という結果となった。
- ・ 返還後に発見される産業廃棄物など、跡地利用の支障となる項目について、今後どういった対応が必要かについて意見交換を行った。

#### イ 意見交換

- ・ 支障という訳ではないが、個別会議（第2回）で文化財の話をしたが、今後返還が予定されているところでは予め文化財調査ができる場所は調査したほうがいいんじゃないかという話があった。特に那覇軍港では、これから何十年か経つと文化財として認定されてしまうので、一度調べて状況を見ておいたほうがいいんじゃないかという話があった。
- ・ 読谷補助飛行場で、産業廃棄物が不法投棄されたのが見つかったという事例がある。平成18年に返還されて土地改良事業で基盤整備・施設整備をしようとしているが、その中で不法投棄が見つかった。土地汚染や水質汚染、地下水汚染の問題があるので、どう対応したらいいかという問題がある。基地として使われている時から、フェンスもなかったので勝手に産廃業者が捨てたということがあった。
- ・ 現在では、民有地を米軍が使っている場合、地権者は国との間で賃貸借契約を結び、地代をもらっている。提供している施設は、国が米軍に対して転貸している形になっている。
- ・ それが返還されることになると、もともと国は原状回復する義務があると思う。例



えば不発弾処理は、原状回復義務に基づき行われていると思うが、産業廃棄物が出たり、土壌汚染されていることに気づけなかった場合など、後で出てくる可能性が100%ないとは言い切れない。その場合、現在の契約ではどう処理されるのか、現状がどうなっているか確認したほうがいいのではないかな。

- ・平成24年4月に改正された「跡地利用特措法」では、支障除去は国の責務で、汚染物質や不発弾についても全て対処されるとなっている。それ以前は「返還特措法」が平成7年からあり、そこでは支障除去の対象は、米軍基地に由来するものと明記されている。しかし、「跡地利用特措法」では、返還される駐留軍用地から何らかのものが出てきた場合は、全て支障除去の対象であるというように変わった。
- ・一番難しいのはフェンスがないということで、フェンスがなかった基地跡地で見つかった不法投棄されたものは、米軍基地に由来するかどうか論点である。
- ・読谷村の事例では、航空写真と比較することで、どうやって使っていたかを挙げて、米軍基地に由来しないと防衛局が判断し、読谷村が産廃業者を捕まえて処理すべきと整理をした。
- ・「跡地利用特措法」以前と以降に分けて整理したほうがいい。「跡地利用特措法」以前は、米軍由来であることを証明しないといけなかったので、立証責任は自治体側、又は地主側にあった。「跡地利用特措法」以降では、例えば慶佐次通信所やキャンプ瑞慶覧などは、「跡地利用特措法」が適用され、米軍由来かどうかを立証する必要もなく、全て支障除去措置は国の責任で行うことになる。
- ・ただし、注意すべき点は、「跡地利用特措法」の施行後であっても2種類に分けられることである。嘉手納以南の基地のように、都市的な開発、具体的には区画整理事業がすぐ始められるような地域では特段問題は起きない可能性がある。防衛局が行っている西普天間住宅地区の支障除去措置もかなり徹底的にやっているのだから、全くゼロかどうかはわからないが恐らく取り残しというのは限りなくゼロに近いが、土壌汚染を見逃す可能性としてはなくはない。
- ・1点だけ不安に思うことが、西普天間住宅地区で何らかの見逃しがあったときである。少なくとも今年の3月には地権者に引渡しができる。防衛局は支障除去措置をかなり徹底的にやっているが、取り残しがゼロかどうかお互い確認するわけではない。そうすると、後から何か出てきたときに具体物でどこに立証責任があるか。その場合、宜野湾市側に立証責任があるとなるとなかなか立証できない。そうすると面倒な問題が起きる。
- ・もっと大きな問題が2つあり、1つは都市型の開発であっても、キャンプキンザーのように分割返還されると、返還時期が海側と国道側で1～2年開くことになる。当然そうならないよう地元は望んでいるし、そうすべきだと思うが、万が一、部分返還されると、1～2年管理しない土地が出てくることになる。そうすると、道路に接する場所は金網を破って夜中のうちに何か捨てられる可能性がある。返還後、土地を引き渡した後にそうなる可能性があるのだから、それは防衛局の責任ではない、読谷村の事例と同じようなことが起きてくる。ただし、これは土地の管理の問題な

ので地主側も動かざるを得ない。

- ・ もう1つの問題は、都市型の開発ではないところで、返還後全く跡地利用がされていないところはフェンスもないので、道路に接しているところは夜中に何か捨てられるということが起きて何年も放置した状態では、米軍由来という立証はなかなか難しい。
- ・ あわせて整理すると、「跡地利用特措法」以前の問題は、前回の読谷村の事例のように管理責任はどこにあるのか、立証責任は誰にあるのか、そういう問題なので余程のことがない限り防衛局に責任を持っていくことは難しい。
- ・ 「跡地利用特措法」以降については、都市型の開発であれば間髪入れずに区画整理事業が入ってくる。3年以内事業認可されないと特定給付金の支給が切れるので、恐らく地元の公共団体、施行者が引き継ぐことで、産業廃棄物などを埋められることはない。仮にあっても、使用収益開始までは施行者の責任で、地主が責任を負うことはないと思う。ただし、都市型の開発ではないところでは、常に空白期間が出てくるため、注意しなければいけない。
- ・ 地方の大型ニュータウンを22地区管理していた時も、そのうちの5地区において処理するだけで何十億もかかるような産業廃棄物問題を抱えて四苦八苦した。1件だけ広島県の大型のニュータウンでは、お客様に売った土地の地下からかなりの産業廃棄物が出て、URを訴えるということで何とか対処しないといけないことになったが、出てきた産業廃棄物を分析すると、相手側に売った後の瓶とか缶だった。缶の発売年月が残っており、URの責任ではないということで、お客様の責任として切り分けしたことがあったが、その事例以外はほとんど施行者が責任を負っていることが多い。
- ・ 特に区画整理事業で一番わかりやすい処理の仕方は、元々地主がいた土地で、その地主の土地から出てきた産廃については、地主が自ら撤去するか、撤去しなければ評価額を下げるというやり方が一番わかりやすいが、米軍基地の場合は、それがなかなか難しい。
- ・ 位置境界明確化法で地主の土地を任意で決めているので、絶対正しい位置ではない。そういう状況では、地主の祖先を辿っていても、祖先が埋めたものではない可能性があるし、地主の土地は元々どこにあったかわからない状態で便宜的に境界を決めているので、地主に責任は取らせられない。
- ・ 那覇新都心地区では、国道58号沿いに30haぐらいの巨大なごみの山があり、そこには40～50人の地主がいた。そのうちの2人が早く土地を使いたいということで、国道58号に面していたため、産廃業者の仮置き場として使用させていた。もともと地主と契約していたのは2社だったが、それを契機に違法な産廃業者が約30社も入ってきて、違法的な状況で産廃を山盛りにして地面の中に埋め込んでいた。
- ・ それを処理するには荒治療しかないということで、1トンプロックを夜中に積み上げて、全てのダンプカーの進入を止め、中にいたダンプカーも出れないようにした。

社名も全てリストアップして、地主と契約していた2社も地主から契約を打ち切ってもらい、残りの代表的な地主には弁護士を付けて訴えさせた。その後、那覇署と沖縄県環境部に行ったが、那覇署には違法状態だから逮捕してくれと言っても、民事介入は難しいということで断られた。

- ・最終的に産廃業者が一番怖いのは、沖縄県に認可を取り消されることなので、違法状態ということで、まず代表的な1社の認可を取り消してもらい、取り消し直後に警察が逮捕すると、あっという間に他の業者も片づけた。
- ・那覇新都心地区のような事例は今後あり得ないし、仮にあったとしてもそれは区画整理事業の施行中の話になってくるので、その場合は施行者が責任を負えばいいと思う。
- ・跡地利用特措法上は、後から自分で埋めてもともと汚染されていたという人がいるかどうかかわからないが、そういうものを除いて基本的に米軍由来であってもなくても、返還された後、土地利用が始まるまで24時間ずっと監視することができないので、それは基本的に国が原状回復の義務を負っている。
- ・返還後に区画整理事業のように施行者が管理者になるように、すぐに土地の管理者が確定できればいいが、個人の権利だけがあるような状態では、はっきりした管理体系がないため、非常に危ういものが入ってくる可能性があるということが問題である。それに対し、産廃業者に問題があれば最後は法律的に排除できるかもしれない。また、米軍由来かどうかを誰が立証するかとなると相当ややこしい。返還後に個人が管理できていない以上、いろいろなものが入ってくる可能性はあるという問題は特措法以前も以降も同じである。
- ・返還後、地主に使用权が返ってきて、地主が汚染されていることに気づかず第三者に転売するのは当然起こり得ることで、その途中で汚染されていたことがわかれば、そこまで遡及して国が補償する、または原状回復義務を負っていることになるのか、それとも、地主の責任になるのかわからない。
- ・支障除去措置は、法律上引き渡しまでなので、引き渡し後は防衛局が支障除去を終えたことになるため、行政同士が紳士協定に基づき管理するということもできる。
- ・民間で売買される場合、例えば10年後に初めて産業廃棄物などが見つかり、調べた結果、米軍由来だとわかれば、その分は瑕疵として、国が補償することになっている。また、民間であればそういう時の対応を契約書で明記していると思う。地主の立場からすると、そこを守ってあげないと厳しいかと思うが、可能性としてはそんなに高くないかもしれない。
- ・返還されると、防衛局が3年ぐらいの間に支障除去を行うので、産業廃棄物などは限りなくゼロに近い状態で地主に引き渡しされる。そこからは区画整理事業を行うか行わないかで2つに分かれる。
- ・区画整理事業を行うところは、公共団体もしくは区画整理の施行者に引き渡しになるので、常に管理状態に置かれるため、その間に何かを埋められることはないし、

仮に何かを埋められた場合は施行者の責任になる。それが使用収益開始までずっと続くので、使用収益開始後に地主に引き継がれ、万が一地主が建設工事などを行うときに産業廃棄物が出てくると、それが地主の使用開始以後なのか、防衛局がすべきものか、自ら立証責任を示さないといけないが、それは極めて難しい。

- ・ 区画整理事業を行わないところは、引き渡し後は地主に管理権が移るので、地主や地主会が管理しない状態になると、読谷村と同じ問題が出てくると思う。
- ・ 行政間で何らかの文書が取り交わされていれば問題はないが、土地の管理については、地域力があるかどうかでも変わってくる。

## ウ まとめ

- ・ 跡地利用特措法以前は、その土地から出た想定外の支障除去等への対応は、それが米軍由来であることを証明しなければ国による撤去は困難である。証明できない場合は、区画整理事業の施行者や地主が撤去しなければいけないことになる。
- ・ 跡地利用特措法以後は、支障除去措置は全て国の責任で行われる。
- ・ 跡地利用特措法の施行前後に関わらず、返還後の想定外の支障除去は、支障除去の対象となるものが誰のものなのか特定することが困難であるため、不法投棄等がなされないよう、地主や地主会により管理を行う等、地域力も必要である。

## (4) 跡地利用に対する組織のあり方や事例の継承について（意見交換）

### ア 提案の経緯

- ・ 第1回推進懇談会で「地主会が最終的に地域を動かす母体となる組織であるが、返還後もうまく運営できる組織になるには、こういったマネジメントの仕方を考えるべきか。相談できる組織・スタッフを作り上げることが必要になる。」という結果となった。
- ・ 地主会が運営母体となるためのマネジメント方法や、跡地利用の相談窓口、相談されるスタッフをどう育成していくか、他地区の事例を確認しつつ、今後こういった組織が必要かについて意見交換を行った。

### イ 意見交換

- ・ 地主会は返還されるとほとんど解散される。地代が入らなくなるため事務費も取れない。ただし、返還後すぐに区画整理事業に入れば、区画整理の施行者は、地主会を相手にしないといけないので、区画整理事業が終わるまで地主会は維持される。
- ・ 転売により地権者が増えても、旧軍用地主会から開発協議会などの名称にして組織を変えていくのが普通である。ただし、何年か前に返還されているところは、大体

返還と同時に解散式をやり地主会がなくなっている。

- ・ 現在、返還済みが18地区あり、そのうち6地区で区画整理事業を実施中か検討中である。3分の1は区画整理事業を実施することで動いているが、区画整理事業を実施するためには、地主を把握しないといけないので、地主会という名称は変わるかもしれないが、地権者組織を維持できる。
- ・ 地権者組織を維持できると、様々な方法でリーダーとなる人を育成していくことができると思うが、区画整理事業ではない場合はどう考えるかが1つの課題である。
- ・ 返還前の地主会は軍用地料を交渉するための組織である。返還前は地権者の集まりはいいが、返還が決まって跡地利用をするというときに1つのタイミングだと思う。その交渉団体が軍用地料云々だけではなく、その後の開発やまちづくりを目的にした協議会などに変えていくときに、一番の主役になってもらわないといけないのは市町村だと思う。
- ・ 市町村において跡地利用に向けたしっかりした組織づくりが必要で、跡地利用をしっかりやる組織が市町村全てにあるかという、そうでもないかという気がするし、第一段階はそこではないか。
- ・ 区画整理事業にすぐ入れず、放ったらかしになっているような土地も、土地利用が決まらなくなかなか難しいが、やはり返還前から跡地利用計画を進めるために、新しい協議会などに転換していくことができると思う。
- ・ 跡地利用における最初の段階から市町村がリードすべきで、区画整理事業もそうだが、やはりまちづくりは市町村が主体となるもので、待つものではない。市町村が一生懸命やるときに県もバックアップする、国もアドバイスなり補助金を出す。
- ・ 地主会は市町村ごとに設立されており、組織率は、全地主に対して概ね94%となるのが沖縄県内の平均的な姿である。地主会は市町村ごとであって、基地ごとではない。基地ごとには大体が分科会という形で活動していて、宜野湾市であれば軍用地等地主会の中で西普天間支部という形になっている。軍用地等となっているのは、那覇市のように自衛隊基地も入っているからである。
- ・ これまでは返還と同時に地代が入らなくなり、地主会を運用しようにも通信費も持てない状態になり、ずるずると組織が解体されていくことが多い。
- ・ 今後は少し事情が違ってきて、嘉手納以南の6つの基地は大体区画整理事業を行うと見込まれていて、その場合は特定給付金が支給されるので、これまでの地代より少なくなる人はいるかもしれないが、地代収入的なものがあるので、おそらく区画整理事業を行う地区では、地主会が維持される。
- ・ 那覇新都心地区でもそうだったが、問題は開発に10年とか15年かかると、その間に地主会も2世代ぐらい変わっていく。その後は本来ならエリアマネジメントを担うような組織にうまく移行して、地主だけではなく、地区内の住民も抱え込んでやっていくことが望ましい姿だが、なかなかそうはいかないし、自治会費という収入は当てにならない。うまく収入できるものがあって、それで運営できればこれからの

まちづくりという形に繋がっていくし、まちの管理までうまくやっていくことができると思う。

- ・区画整理事業を行うところは当然のことながら地主とのパイプは必要で、そういった場合は継続されると思う。ただし、そうでないところは何か手を打つのか打たないのかが一番大事になってくるような気がする。
- ・返還範囲が決まってない場合はやりづらいところもあるが、それでも決まればすぐにでも動きたいということであれば、支部のようなものをつくりませんかという働きかけはしておいてもいいのではないかな。
- ・また、状況がうまくいっていないというところがあれば、人を送り込んででも組織作りをしたほうがいいということを一生懸命宣伝しないといけないし、地権者がまちづくりを進めていくにはどうしたらいいか、むしろ先進事例をつくってもいいのではないかな。
- ・各地主会がすべて自己充足的にやるのは難しく、外資系企業との交渉になったとき、各地主会がそういう組織づくりをするのかという話になってしまうと非常に無理がある。事業計画の検証は極めて重要だと思うが、市町村ではなかなかそういうノウハウがない。会計士や弁護士など、事業を客観的に見れる立場にある人が評価したほうが納得いくような形になると思う。
- ・どこの地主会に対してもアドバイスを提供できるアドバイザー機能というか、窓口があるといいのではないかな。それをどこに置くのか、市町村に置くべきなのかなということもあると思うが、そういう支援を局がすることがあっていいのではないかな。
- ・ある程度面積も関係して、100ha以下のところは大体組合施行の区画整理事業になる。組合施行になれば組合を設立しないといけないので、地主会がなくても地権者組織が設立する。100ha以上、200ha以上となると公共団体施行の可能性も高くなり、地主も500人、600人になる。そうすると、地主会というちゃんと意思決定できる組織がなければ相手にできない。
- ・区画整理事業を行うために、減歩率を決める、土地利用計画を協議する、先買いのためにこの値段で売ってくださいという交渉をするにしても、きちんと組織された相手がいなければ事業は全く進まない。500人も直接相手にできない。
- ・那覇新都心地区では事業当初の平成元年は1,600人も地主がいたが、一人一人を直接相手にできないので、字単位で50人、100人規模で意思決定できる組織に分解した。URと協議するときの条件などは、上から下にすぐ下ろしてもらうことが、那覇新都心地区の地主協議会の役回りだった。その組織はものすごく意思決定が早いし、きちんと組織だっているし、選挙で選ばれているので地権者の代表権も持っていた。
- ・地区の面積がある程度大きくなり、人数が増えれば、きちんとした組織をつくらないといけない。声の大きい人が会長になっているような組織ではだめで、民主的なルールで意思決定できる組織であって、やりたい方がやる必要がある。
- ・面積の大きい地区では当然地権者組織が必要であるし、小さい地区でも必然的に地

権者組織が形成される。その間の50～60ha規模の地区では地権者組織がないように感じるので、そういった地区は少し目配りしておかないと危ないのではないか。

- ・ 沖縄県環境アセスメント条例が改正される動きがあり、20ha以上の土地開発はすべて対象にすることになりそうである。そうなれば、20ha以上の地区はある程度地権者組織を形成しておいたほうが無難というか、必要になってくる気がする。
- ・ 中規模の地区は少し目配りして、地主の心をうまくつかまえ、意図的に組織化しないとバラバラになってしまう可能性がある。先進事例をつくって、うまくやるにはこうしないとだめだということも見せるために、先行している地区でいい事例をつくっていかないといけない。
- ・ 成功事例にするためには、やはりアドバイザーなどの専門家のサポートが必要になるが、各地区それぞれ専門家のサポートをつけるわけにはいかない。どこかでストックするなり、ワンストップサービスを受けられるような、そういう窓口が今はない。
- ・ 事業計画の検証は、沖縄公庫にそういうノウハウがあって、提供してもいいということだったので、沖縄公庫の力を借りることや、公認会計士などの専門家の方々にお願いすることはできると思う。
- ・ 地主会は任意団体で、本来は社団法人にするとか、ガバナンスをしっかりとったほうがいい気がする。ただし、一時的な組織なので社団法人にすると、最後に残余財産の問題とか出てくるので難しいということがあるかもしれない。
- ・ 同じ地主会でも、那覇新都心地区では商業街地の底地の地主会は分科会があり、そこは財産を扱っている。1万坪の土地を企業に賃貸していて、彼らの意思決定のルールは株式会社と同じような組織になっている。地主1人1人が企業と賃貸契約を結んでいるが、意思決定のやり方として面積案分にしていて、大地主の声が大きくなるが、ルールとしては当然かもしれない。民主的なルールを自ら決めていれば、社団法人である必要はない。
- ・ 那覇新都心株式会社のような組織で、地権者のガバナンスをしっかりと動かすことができるのであれば、そういう組織があったほうがいい。ただし、収入がないとそういう組織もなかなかできない。
- ・ 例えば、組合施行の区画整理事業に非常に熱心な民間コンサルタントが張りついて、一生懸命地主を説得するというパターンがあるが、コンサルタントもスタミナがないと続かなくなる。地主会に一定の収入があって、そういったことを相談できる組織として保てればいいが、そうでなければそういう費用は国が持つのだ、県が持つのだ、市が持つのだという話だけでおしまいということにもなる。
- ・ イギリスにURC（都市再生会社）という再開発を行う会社があり、その会社では地権者が現物出資して株主になる。公的当局もそれを支援するという形で一出資者として入り、そこでキャッシュが入る。そういう会社がプロジェクトマネジメント全般をやっていくことで、会社組織として非常に透明性も高いし、アカウンタビリ

ティーも確保できるということで、イギリスでは実施している。本当に透明性高くきちっとプロフェッショナリズムにのっとってやるのであればいいが、そこまではなかなか一足飛びには行かないので、それに近いような仕組みというか、機能的にはそれと同じようなことができるものがあればいいと思う。

- ・これから返還される地区として、キャンプ桑江（南側）や那覇軍港が比較的模範になる。今動いている地区としては、西普天間住宅地区はきちんとやらないといけない。西普天間住宅地区で事業を進めるとなると、現在の地主会に組織をきちんと動かしていけるようにしないと、全体の事業として成り立たないというアドバイスをすることは必要である。
- ・外資系企業の実態について、少なくともどういう会社なのか、理解することも必要で、その会社がこれまでどんな仕事をしてきているか理解しておかないとアドバイスのしようもない。他の地区でも外資系企業が進出してきているのであれば、外資系企業が日本をどう捉えているか、そういうことに詳しい方の話を聞いてみることも必要である。

## ウ まとめ

- ・市町村の中にも跡地利用に向けた組織づくりが必要である。
- ・西普天間住宅地区では、今後地権者の組織づくりをきちんとしていかないといけないという意見もあり、推進懇談会としては、西普天間住宅地区の事業をうまく動かすために、常に状況を確認しながら、再度意見交換を行い、それを宜野湾市や関係者に伝えていけるような仕掛けを考える。
- ・那覇軍港やキャンプ桑江（南側地区）など、これから事業を行うところは、先行的にいい状況を生み出すための仕掛けづくりを、より積極的に行うにはどうしたらいいかを引き続き考えていく。そうすることで、他のところもそれを見て動くということを期待したい。
- ・地権者組織ができると、土地の管理のことももう少ししっかりできてくる。そうすれば不法投棄の問題も収められるかもしれない。
- ・外資系企業は、どんな会社で何をしているかぐらいは、アドバイザーとしての立場からすれば、少し事前に我々自身が勉強しておく必要がある。



## **第4章**

### **跡地関係市町村連絡会議**



## 第4章 跡地関係市町村連絡会議

### 4-1 跡地関係市町村連絡会議の概要

#### 1 目的

連絡会議は、関係市町村において跡地利用の実務に携わっている担当者を対象として、本業務内容の実績報告や本年度実施計画等について情報提供及び意見交換を実施することで跡地利用担当者間の連携強化を図ることを目的に開催した。

#### 2 開催状況

本年度の連絡会議は、年度当初において本業務内容の実績報告や本年度実施計画等について情報提供及び意見交換を実施すること並びに関係市町村の跡地利用担当者間の連携強化を図ることを目的として、市町村支援事業の取組や制度等について情報提供を行い、関係市町村の取組状況について意見交換を実施した。

また、今後の市町村支援事業をより有意義に進めていくためにアンケート調査も実施した。

## 4-2 跡地関係市町村連絡会議

### 1 実施概要

#### (1) 開催日及び開催場所

開催日：平成 29 年 5 月 24 日（水）

場 所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室



#### (2) 出席者

##### ①関係市町村（13市町村）

国頭村（企画商工観光課）、東村（企画観光課）、伊江村（政策調整室）、本部町（企画政策課）、金武町（基地跡地推進課）、うるま市（防災基地渉外課）、読谷村（企画政策課）、北谷町（企画財政課）、沖縄市（都市整備室）、北中城村（企画振興課・建設課）、宜野湾市（まち未来課・西普天間跡地推進室）、浦添市（企画課・文化課）、那覇市（那覇軍港総合対策室）

##### ②オブザーバー

沖縄県（企画調整課）

#### (3) 開催趣旨

年度当初において本業務内容の実績報告や本年度実施計画等について情報提供及び意見交換を実施すること及び関係市町村の跡地利用担当者間の連携強化を図ることを目的として、以下の内容で実施した。

##### （報告）

平成 28 年度市町村支援事業の取組について

##### （情報提供）

①平成 29 年度市町村支援事業の取組及び制度等について

②駐留軍用地跡地利用支援システムについて

##### （意見交換）

関係市町村の取組状況について

## 2 内容

### (1) 平成28年度市町村支援事業の取組について（報告）

#### <市町村個別訪問>

○関係市町村の返還跡地などへの取組状況、検討課題の把握及び支援事業の要望確認のためにヒアリングを行うとともに、意見交換を目的に市町村個別訪問を2回行った。7月に第1回、第2回は11月から12月にかけて実施した。

#### <駐留軍用地跡地利用推進懇談会>

○市町村個別訪問の結果などを受けて、各市町村の抱える課題等について、跡地利用に詳しい学識経験者や有識者で意見交換を行い、今後の跡地利用に資することを目的に駐留軍用地跡地利用推進懇談会を2回開催した。第1回は9月29日に読谷村地域振興センターにおいて、第2回は、平成29年2月24日に沖縄総合事務局において、それぞれ開催した。

#### <跡地関係市町村連絡会議>

○跡地利用担当者間の連携強化と支援事業の紹介などを目的に、跡地関係市町村連絡会議を5月10日に開催した。

#### <跡地関係市町村個別会議>

○跡地利用の取組や課題などが類似する関係市町村の担当者を対象に、講師による講演と参加市町村の意見交換を行い、情報の共有を目的に跡地関係市町村個別会議を2回開催した。

○第1回は、8月29日に恩納村ふれあい体験学習センターにおいて開催し、講師として、株式会社フィーモ 代表取締役の大澤氏を講師としてお招きし、「外資系企業(リゾートホテル等)の誘致 ～自治体としての留意点～」を演題として、外資系企業との向き合い方や留意点について講演してもらうとともに、Planning & Produce Studio SAI の阪井代表を進行役に、講師も交えて外資系企業を誘致する際の課題や交渉方法などについて意見交換を行った。

○第2回は、平成29年1月31日に沖縄総合事務局において開催し、「既存の地形を生かしたゆとりあるまちづくりとエリアマネジメントを取り入れた跡地利用計画の可能性」を演題に、元UR都市機構の橋本氏を講師としてお招きし、ゆとりあるエリアマネジメントについて、神戸市舞多聞地区の実例を交えながら講演してもらうとともに、第1回と同様に、阪井氏を進行役として「まちづくりとエリアマネジメントの考え方・進め方」について意見交換を行った。

#### <アドバイザー等専門家の派遣>

○駐留軍用地跡地利用の支援を図るため、市町村の要請に基づき、アドバイザーなどの専門家を派遣した。

【アドバイザー派遣】

- ・読谷村へ読谷補助飛行場跡地で計画されているパークゴルフ場について、指定管理するに当たり、施設の運営方法などに関する情報提供などを目的に、株式会社スポーツビジネス研究所の今野代表取締役を派遣した。
- ・宜野湾市には、西普天間住宅地区跡地及び普天間飛行場の返還を見据えた宜野湾市の総合計画を策定するに当たり、必要になるまちづくりや社会情勢、多様化する市民ニーズを的確に捉えた市の将来計画の策定に当たっての考え方、手法に関するノウハウのアドバイスを目的に、有限会社あしコミュニティ研究所の浦野代表取締役を派遣した。
- ・恩納村には、恩納通信所跡地の地主などで組織する合同会社に対し、取組事例の紹介及び意見交換を行うことを目的に、北中城村アワセ土地地区画整理組合の吉村理事長を派遣した。

【コンサルタント派遣】

- ・金武町へギンバル訓練場跡地に計画されている海岸整備事業後の管理計画に係る基礎調査を行うために株式会社国建を、また、ギンバル訓練場跡地に整備が予定されている温泉施設の運営方法、運営会社の公募選定に必要な基礎資料の作成などのため、株式会社エオネックスを派遣した。
- ・読谷村には、嘉手納弾薬庫地区(国道東地区)の遺跡の国指定に向けた基礎条件の調査を行うため、有限会社MU I 景画を派遣した。
- ・恩納村へ恩納通信所跡地と周辺整備に係る新たな跡地利用策定協議会に向けた基礎条件の調査を目的に、玉野総合コンサルタント株式会社を派遣した。
- ・宜野湾市には、西普天間住宅地区の現状を映像として残し、跡地開発の資料とすることを目的に、株式会社シネマ沖縄を、また、琉球大学医学部などの移設に必要な用地売買契約の実施のため、株式会社オゼックを派遣した。

【プロジェクト・マネージャーの派遣】

- ・恩納村へ恩納通信所跡地に関して、恩納村役場内の調整、リゾート計画推進に向けた関係機関や地主会などの対外的な各種調整、助言を目的に高嶺氏を派遣した。

○配付資料 12 ページに過去の専門家派遣の実績を掲載しているので、皆さんが派遣を要請する際の参考にしていただきたい。

(2) 平成 29 年度市町村支援事業の取組及び制度等について（情報提供）

＜関係市町村の検討課題の把握等＞

- 本年度も関係市町村の検討課題の把握、返還跡地などへの取組状況、支援事業への要望確認のために、関係市町村においてヒアリングを行う市町村個別訪問を 5 月から 6 月に

かけてと、11月ごろの2回実施する予定で、現在、日程などの調整を行っているので協力をお願いしたい。

#### ＜駐留軍用地跡地利用推進懇談会＞

- 跡地利用に詳しい学識経験者や有識者で構成し、市町村個別訪問の成果などを受けて、各市町村の抱える課題等について助言、指導、新たな支援方法の検討などを行うことを目的に「推進懇談会」を9月と2月に開催を予定している。

#### ＜跡地関係市町村連絡会議＞

- 「連絡会議」は本日開催しているもので、跡地利用担当者間の連携強化と情報共有などを目的に開催している。

#### ＜跡地関係市町村個別会議＞

- 跡地利用の取り組みや課題などが類似する関係市町村担当者を対象に、講師による講演と参加市町村の意見交換を行い、情報共有を目的に「個別会議」を8月と1月の2回開催する予定で、現時点では、昨年と同様に嘉手納飛行場より北の区域と南の区域に分けて開催したいと考えている。
- 1回目は嘉手納飛行場より北の区域を対象に、「都市計画区域外あるいは農的土地利用・リゾート開発等における開発手法・事業手法」というテーマで、「恩納通信所」、「上本部飛行場」、「ギンバル訓練場」、「読谷村役場周辺」等の跡地利用に携わった経験・実績を有する有識者に出席していただき、今後、想定されるそれぞれ個別の課題を明らかにし、提案、助言をいただくことにより、跡地利用策定などの参考とすることを目的にした意見交換や講演の開催により、こうした課題に対してどのように対応してきたかを整理し、記録を残し、他の跡地利用の参考としたいと考えている。
- 2回目は嘉手納飛行場より南の区域を対象に、「沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用推進に関する特別措置法（跡地利用特措法）の下での跡地利用遂行上の課題と対応」というテーマで、跡地利用が進められている「アワセゴルフ場地区」と「西普天間住宅地区」において、これまでに発生した課題とその対応などを通じて、今後の跡地利用に必要な知識・情報・手段等のあり方について議論を行い、特に西普天間住宅地区においては、現在、支障除去措置が進行中であり、基地跡地独特の現状と課題を整理・記録していくことで、今後の基地跡地利用の貴重な手順書になることから、「アワセゴルフ場地区」及び「西普天間住宅地区」の跡地利用に携わった経験・実績を有する有識者に出席していただき、課題や対応策などについて提案、助言いただくことにより、跡地利用推進のための参考とすることを目的とした意見交換や講演を開催したいと考えている。
- テーマは現時点の案で、本日の意見交換やアンケート、市町村個別訪問などを受けて変更することもある。

#### ＜跡地利用推進セミナー＞

- 今年度からの新たな取り組みで、開催時期は7月を予定している。跡地利用計画の策定にかかわる職員だけではなく、土地所有者や地主会などの関係者も対象に専門家などに

よる跡地利用の事例紹介や土地区画整理事業の仕組みなどについて、跡地利用に関する基礎的な知識の共有を目的に開催するもの。こちらも「個別会議」と同様に、現時点の案で、本日の意見交換やアンケート、市町村個別訪問などを受けて見直しを行うこともある。

＜アドバイザー等専門家の派遣等＞

○関係市町村からの要請に対して適宜、派遣、対応していくもので、後ほど行う意見交換の中で各市町村の取組状況などについて意見交換を実施したいと考えている。

＜跡地カルテなどの更新等＞

○例年どおり「跡地カルテ」、「パンフレット」を更新する予定で、あわせてホームページのコンテンツの作成、更新も行う予定である。

### (3) 駐留軍用地跡地利用支援システムについて（情報提供）

○駐留軍用地跡地利用支援システムの操作説明を行った。

○配付資料はシステムの概要説明が主となっている。操作マニュアルは市町村担当者向けサイトのトップページからダウンロードできるようになっている。

○明日以降に関係者に連絡を取り、（システム利用に必要となる）パスワードとIDの調整を行いたい。

○市町村の跡地利用に関する取組は、状況もそれぞれ異なっており、全ての市町村のニーズに対して網羅できるか難しいところであるが、データはかなり蓄積されている。

○今後、平成 28 年度分のデータ収集を行っていくが、将来にわたって跡地利用に関するデータベースとして蓄積され、ここに来れば大体いろんなことがわかるという図書館みたいなイメージでつくっていければと思っている。

○データを蓄積して関係者間で情報共有できれば、非常に貴重なものになるし、沖縄総合事務局の地下倉庫にも昔の写真が残っていたりしていて、当時のものも年代がたつと貴重な航空写真になったりするので、そういったデータも今後載せていければと思っている。

○データを蓄積するためにも今後、各市町村のほうにも資料提供や報告書の提供をお願いすることがあるかもしれないが、ご協力をお願いしたい。

○システムについては、これまではソフトウェアのバージョンアップなどはやってきているが、平成 30 年度にこのシステムについては何らかの新たなものを導入するするかを検討している。配付したアンケート用紙に、システムについて、どういう要望があるかを記入する欄がある。予算的な問題で出来る出来ないはあるが、皆さんからの要望も承りたいと思っているので、何か要望等があればアンケートに記入してもらいたい。



### ＜質疑応答＞

(沖縄市)

Q：一般用と行政向けのサイトがあるというところからすると、行政向けのサイトの地図は会議資料や地域説明会資料等で使っても問題はないか。そのデータは印刷できるものなのか。

A：こちらの地図に関しては、データ化する作業は沖縄総合事務局のほうでしております。一定の精度までの修正も含みでやっておりますので、データそのものを活用いただいて、配付という形でなければ使うことは大丈夫かと思います。ただ、シェープファイルをそのまま配付するような形になると、多分、出典が何であるかというところを確認いただいた上で使っていただいたほうがいいのかなと思います。

Q：単純に、先ほど Google の写真にいろいろ重なっていくような図面がありましたが、ああいうものを印刷する機能があって、印刷して表に出すのはやはりだめなのか。

A：Google Earth の場合は、この印刷機能によって画面の印刷になります。こちらのほうは Google の著作権があるものは Google のクレジットが必ず端っこに載ってくるかと思えます。

Q：ちなみに、図面関係ではなくて、文書関係が図書館にあるが、そういった文書関係はどうですか。

A：文書関係は各自治体の報告書などを集めている機能です。これは市町村担当者向けにご利用いただきたい。

## (4) 関係市町村の取組状況について（意見交換）

### ＜専門家の派遣について＞

○事務局：昨年度実施したアドバイザー派遣について、実施した市町村から具体的にどういったことをアドバイスしてもらい、どんな成果があったか報告していただき、他の市町村の参考にしてもらうこととあわせて、今年度はこんなことを考えているけどどうかというところまで意見交換を行いたい。

○宜野湾市：去年はアドバイザー派遣として、あしコミュニティ研究所の浦野氏を派遣してもらったが、詳細はわからない。今年度は、地権者合意形成の中で「若手の会」という組織があり、その中で大規模公園についてのまちづくりに関する専門家をどなたか呼べないか検討をしている。また、市民の合意形成の一つとして「ねたてのまちベースミーティング」という組織もあるが、そこでも使えないか考えているが、アドバイザー派遣を行うにあたって、回数的に何か制限はあるのか。

○事務局：回数について特に制約は設けていないが、何回もというわけにはいかない。相談した上で決めたい。

○**宜野湾市**：詳細はどなたを講師として呼びたいかということが決まり次第、相談させていただきたいと思う。

○**事務局**：「若手の会」と「ねたてのまちベースミーティング」向けということで、例えば今年開催を予定しているセミナーとかに参加してもらうことも可能だと思うので、セミナーにこういった方を呼んでほしいという希望を言ってもらえれば、検討させていただく。

○**金武町**：1回目の派遣は、ギンバル訓練場の海岸線を本年度から約4年、20億円ほどかけて沖縄県が一括交付金（ハード）を使って海岸整備事業として約770メートルの海岸整備を行っていくが、その後の管理を金武町が行うことを前提で進められていく事業で、町が管理する、簡単にいえば町がビーチ開設することを前提となっている。

現在、実施設計を行っていて、工事も今年度から始まる予定なので、今後4年間、県が海岸を整備し、町がその背後地に公園と道路をつくって、誘客等行うことになっているが、町はビーチを管理したことがないので、コンサルタントを派遣してもらい、県内の各市町村の海岸の管理の実態、ホテルとどういった調整をしてビーチを開設しているのか、その基礎資料をつくってもらった。

その資料を基礎データにして、今年度は背後地の海浜公園の管理棟の実施設計業務を一括交付金を活用して行っていくという、ホップ・ステップ・ジャンプのステップの段階になるが、最初のホップの部分はこの制度を使って活用させていただいたということで、県が海岸整備を進めながら、町は背後地に海浜公園とか、そういった整備を進めていくところで、その1段目がコンサルタントにお願いした海岸の利用計画等の基礎資料の作成です。

2回目の派遣については、平成25年度一括交付金の特別枠で、海岸の近くで町が温泉を掘って、温度が34度、毎分約400リットルぐらいの温泉が出ています。掘削は去年終わったんですけども、どうしても水位が地下30メートル前後で止まっているため、町でポンプを設置して、ボタンを押せばいつでも温泉がでるような形にしています。

当初は公設も考えていたが、やはり昨今の民設による公益的な運営方法がいいのではないかとこのころで、平成27年度に町の方針を決めて、この派遣制度を使って、町が公募する際の基本的な条件整理に対する計画を行っていただいた。

具体的には町が民間を公募するにあたっての条件整理の資料作成を行い、12月から一括交付金を活用して、公募する資料等の作成と公募に対する委員会の策定からプレゼンまでを3月まで行った。

2回目の派遣も制度を活用して条件整理の基本的な基礎資料をつくってもらい、次は一括交付金を使って、民間企業を公募するための資料作成からプレゼンまで行ったところ です。

今回の派遣ではあくまでも町がどこまで条件整理をするかという基礎的なことで、全ての町有地部分を貸すということなので、それに対する町有地の面積とか用途利用とか、細かな条件整理の中での基礎的な年数とか、どこまで建物をつくっていいかという

ある程度の最低限度の条件整理を行ったというのが今回、コンサルタント派遣で行っていただいた業務内容になっています。

○事務局：今説明してもらった、海岸の整備に関する調査と温泉施設の基礎調査の資料作成の説明について何か質問がございましたらお願いいたします。

なければ私から1つよろしいですか。民間による施設の管理をお願いするということなんですが、業者の公募は始まっているんですか。

○金武町：1月末から3月初めぐらいまで公募して、2社から応募があった。そのうち1社がプレゼンに臨めるようになったが、プレゼン後の資料確認とか、まだ揃い切れなかったため、最終決定者に至らなくて、来月からまた再公募したいということで、町のほうで動いている状況です。

結果的にアプローチしたのは3社ありました。ただ最終審査まで至ったのは1社しかなかったという状況になっています。やはり民間企業なので、スピード感をもって、もう少し早くやったほうがいいのか。民間投資ですので、交渉も含むようなところもあるので難しい部分もあると思うんですが、まだいろいろできている部分、できていない部分、町の魅力的なことをもっと進めながら、町としてはPRしていきたいと考えています。

○本部町：平成24年度にマレーシアの会社がホテル運営という形で手を挙げたと思うんですが、その計画は温泉と人工ビーチと一体であるのかということと、外資系は特に即効性を求めるものですから、今、止まっている状況でマレーシアの企業が何か言ってきているのかどうか確認させてください。

○金武町：（支援システムの地図機能で当該地を表示して）地図上では左下のほうに調整された跡地がありますが、ここはマレーシアの企業が民間投資による造成工事を行っている状況です。そこは進んでいないという状況があるが、この部分が「ヒルトン沖縄金武」というところと契約しますということで、本来であればダブルツリーヒルトン那覇首里城の前には契約できている予定だったんですが、海岸整備が進んでいないという状況ですので、今年度から工事が着工します、県の予算もついて4年間で整備というところで進んでいきますので、その状況を見ながら建設が進んでいくのかなと見ています。

海側部分の16ヘクタールを貸していますので、今は1期分しか造成していないんですが、海岸整備の工事が進むことが着実にわかっていけば、ホテルのほうも進んでいくと認識しています。あくまでも民間投資のホテルの話です。

温泉はGoogleの写真では掘削しているときのものなので、3年前の写真になると思います。ここはあくまでも町有地に町が温泉を掘ってポンプがつけられている状態で、民間には土地を貸していくが、そちらに対する投資は全て民間でやってくださいということになっていますので、別々の事業となっています。

○事務局：1つ教えていただきたいが、ギンバル訓練場跡地の海岸整備後の海岸の管理が町になるということですが、通常は普通の市民ビーチであれば那覇市や南城市等が結構

やっているが、その後背地がホテルとか、そういう企業が建ってきた場合、管理の仕方、体制は違ってくるんですか。

○**金武町**：海岸の後ろは全て町有地と一部区有地があるが、海岸から接続する部分は全部海浜公園になります。そこは町有地になっていて、民間の開発区域に入るような形で整備されていきますので、まず海岸、町の公園、そこからホテルというアクセスになりますから、そのエリア分けはきちんとされている状況になっています。

なおかつ、民間が借りている土地は町有地です。ですので、町の土地に隣接するという考え方になっているかなというところですが、町が管理自体することも今回が初めてなので、県内では一般的に西海岸のビーチはホテルが海岸を整備しているような現実があるんですが、恩納村の「ナビービーチ」は県がつくって、恩納村に管理委託することなので、それと同じような形で進めていくことで話は進んでいます。

○**事務局**：続いて、宜野湾市にコンサル派遣をしています、その成果と課題等がありましたら教えていただければと思います。

○**宜野湾市**：琉球大学医学部及び同附属病院の移設に必要な用地の売買契約業務ということで、宜野湾市土地開発公社のほうで、移設のために必要な用地を確保するために契約業務を行っているところですが、第1期の受け付けが12月の契約になっていたかと思うんですが、申込件数が結構多かったものですから、それに対応するためにコンサル派遣で協力を依頼して、契約を行う際の地権者との契約業務を行ったところ。そのために派遣を依頼したという経緯です。

○**浦添市**：実際に用地業務にかかわった期間、派遣期間は何カ月ぐらいだったんですか。

○**宜野湾市**：契約業務としては大体2週間ぐらいで、地権者を呼んで会議室にブースを設けて契約を行ったんですけども、事前調整等も含めて、実際に契約をいつからいつまでやったという詳細はわからないが、契約業務として約2週間の間で行ったということです。

○**事務局**：琉球大学医学部及び同附属病院の移設に必要な契約は先行取得の中でやったと思うんですが、質問があったように、先行取得する期間は結構長かったんだけど、その中の一部をこの派遣でやったということですか。

○**宜野湾市**：第1期が11月17日から約2週間程度だったんですが、その第1期分は業務体制や業務量がたくさんあることを踏まえて、コンサルタントを派遣してもらったということだったが、第2期以降に関しては、公社のほうで業務を行っています。

○**事務局**：第1期のときは公社が絡んでいなかったということですか。

○**宜野湾市**：公社も業務は行っていたが、業務量が多いのでコンサルタントを派遣してもらってということだったんですけど、コンサルタントを間に挟んで業務を行うと、やりとり等でなかなか難しい部分もあったみたいだったので、第2期からは公社が独自で契約作業なども含めて行っている状況です。

○**事務局**：恩納村は欠席されていますが、恩納通信所の派遣について（玉野総合コンサル

タントから何か) 説明できますか。

○玉野総合コンサルタント：昨年度恩納村にコンサル派遣で作業を依頼されましたので、代わってお話しますが、立場上、派遣の目的を主にお話をします。

恩納通信所は外資系ホテルの開発計画がある中で、高嶺プロジェクト・マネージャーが派遣され、外資系企業との調整等を請け負われているところですが、その中で通信所周辺に万座毛があり、ホテル開発もそうですが、村としては万座毛を含めた広域的な観光リゾート的な位置付けをしていきたい。そういう中で恩納村がこれまでやってきた恩納通信所に関する調査はだいぶ古いんです。確か10年近く前にやっている調査です。

万座毛に関しては近年行った調査があり、実際に今動いているホテル開発の計画があるという中で、このエリア全体を統括した全体計画がない。そういう中でこれから具体的に水路の改修整備や道路事業が計画されつつある中で、全体の位置付けをきちんとしないと、今後の対応が滞るところがあったので、過去の調査とかホテル開発計画の現状等を踏まえて、全体的に資料収集し、今後の方向性を大まかに位置付けるような検討を行った。その結果については、特に地元の合意形成に使用する資料などに活用いただいていると聞いています。

#### ＜個別会議及びセミナーのテーマ等について＞

○事務局：今年度開催予定の「個別会議」と「セミナー」のテーマについて意見がございましたらお伺いしたいんですが、本日の配付資料18ページに「個別会議」のテーマ案と、19ページに「セミナー」のテーマ案を提示しています。これに対して何かご意見がありましたらお伺いしたいんですが、お願いいたします。

今回の「個別会議」は、これまでの取り組みについて、将来引き継いでいくために何かできないかということを考えて、これまで事業を実施してきた地域の方に講演などをしてもらい、その考え方や問題の解決方法について検証していきたいと考えています。

それから資料19ページの「セミナー」については今年度からの開催なんですが、昨年、宜野湾市と那覇市の若手の会の会合に出席させていただいたのですが、その際、役所のほうではどういったことをやっているのかわからないので見てみたいという話があったので、それで地権者も参加できるようなセミナーを開催しようと考えて今回提案しております。

このテーマについては、担当者からすると入口論的な話ばかりになってしまうかもしれないですけども、多くの方が参加できるようなことを考えておりますので、何か別のテーマがありましたらお知らせいただきたいと思います。

#### ＜今年度の跡地利用の取組予定について＞

○事務局：平成15年、16年のときに比べるとだいぶ進んできているところもあれば、そのときと全く変わらないなというイメージを持っているところもありますが、那覇市にお聞きしたいのですが、当時、那覇港湾施設は地主会のほうが一生懸命独自で計

画を立てていたりしていたので、だいたい進むかなと思っていたが、移設自体の問題もあるんでしょうけど、昨今は逆に那覇市のほうがリードして、地主会といいますか、地権者との意識啓発など、いろんなことをやっているという雰囲気を持っていますが、そのところは動きとしてはどうなんでしょうか。

○**那覇市**：平成7年度に那覇港湾施設の跡地利用計画基本構想を那覇市のほうで立てられていますが、その内容は軍用地等地主会が地主に対して行ったアンケートをもとに立てた跡地利用計画と、那覇市は当時の都市計画部あたりで3つぐらいの那覇港湾施設の跡地利用計画案を立てていたという状況があります。

それを統一案という形で、地主会が立てた案と那覇市が考えている案の共通点と違う点を分けて、共通点はお互い合意形成ができるわけです。違う点についてどう解決していくかということがあって、その後、平成8年、9年の時点でアンケート調査をして報告書はまとめています。その後、理由はわからないですが、平成10年あたりから少し動きが止まっていた状況がありました。

当時にしても、那覇港湾施設がいつ返ってくるかという期間が全く明示されていないまま、だいたい前から跡地利用計画自体は立てられたと思うんですが、那覇市が少し動き始めたのが平成16年度で、平成7年度ぐらいに統一案を立てたんだけど、その後、動いていない。どちらかというと、そういう計画ではなくて、軍用地等地主会の会員と会員じゃない方も含めて、地権者との合意形成とか、意思疎通とか、どうすればその人たちがうまくコミュニケーションをとって意向を聴取できるのか、私たちの考えが伝えられるのかということに、まず重点を置いた取り組みをしましょうということで、平成16年度ぐらいから調査業務をして、平成18年度に合意形成に特化した計画を立てて、10年間取り組んできたというところです。

10年間たって、昨年度からようやく合意形成の部分は私たちの手段としていたところに、ある程度効果が出るということを検証しまして、現在は跡地利用計画を立てる段階に移ってきている状況です。その跡地利用計画を立てる段階でも、当然、10年間の合意形成活動がありますので、地主会とのやりとりも含めて、一緒になってやっていこうというような協力関係を築きながら進んでいる状況です。

○**事務局**：続きまして、去年は北部訓練場の返還がありましたけれども、その後国立公園の指定を目指しているとか、世界遺産の認定を目指しているという話を聞いていますが、現在の取組状況を教えていただきたい。

○**東村**：北部訓練場につきましては、昨年12月22日に国頭村とあわせて、過半の約4,000haが返還されたわけなんですけど、昨年9月15日に「やんばる国立公園」ということで、国内33カ所目の国立公園の指定を受けまして、返還された跡地につきましても防衛省を含め、環境省が主体となって追加の登録を目指しているところで、あわせて来年の夏ごろを目指して、今回返還される場所ではないですけども、国立公園内の一部を奄美と西表も含めて世界自然遺産の登録を目指しているところで、皆さんが説明いただいたような跡地利用の開発とかは考えていなくて、逆に今後、自然を守るということで、保護する立場での方向性になっています。

○国頭村：東村と状況としては同じです。国立公園に編入していただきたいということで、村としての考えは統一して同じです。実際に土地の所有区分もほとんどが国有林なんです。ですから、今は支障除去期間ですので、米軍から防衛局が管理しています。これも引き渡しが終われば林野庁の管理になると思います。そうすると国有林ですので、そういった管理の方向と、国立公園として新たに編入するところについて村長からも要望するような流れになっています。

北部訓練場とは別に安波訓練場がありまして、そこはほぼ村有地ということがありますので、そこは今、既に「やんばる学びの森」という施設が供用開始していますが、自然体験とか、そういったことを展開する拠点、宿泊もできるように整備していますので、国立公園に編入していただきながら、さらに環境を学べるところで波及できていけばいいかと考えています。

○事務局：今年、普天間飛行場の一部が返還されるという報道があるのですが、それに対して何か皆さんに提供できる情報はありますか。

○宜野湾市：新聞報道でもあるかと思うんですが、今年7月31日に市道宜野湾11号に係る4.2haの土地が返還されることになっています。そこに関しましては市道11号の整備もありまして、土木課と用地課のほうで用地取得などを行っている状況です。

○事務局：これは全て道路用地になるという理解でいいんですか。

○宜野湾市：道路用地はフェンス沿いの一部になるんですが、そこを整備するためにフェンスの反対側が巻き添え返還ということで返還される場所もあります。

○事務局：文化財調査等も終わっているんですね。

○宜野湾市：今は返還されていなくて、周回道路の整備も終わり、返還に向けた手続きをしているところで、その後で支障除去も防衛局で行って、それと同時に文化財調査も行われる形になるかと思います。ただ、今日は文化課が出席していませんので詳細はわかりません。

市道11号は約4.2ヘクタールなんですけれども、道路予定地とあわせて、一部中原進入路という供用施設がフェンスの外に地域住民の供用道路として使われている部分があって、そこも同時に返還されるということで返還実施計画が来ているので、宜野湾市としては、フェンスの中で軍用地だった部分はいいいんですけれども、それ以外の巻き添え返還といわれる部分について、支障除去をどういうふうに進めていくかという課題はあります。

○事務局：牧港補給地区も南側の第5ゲート付近が返ってくるという報道が一部あったんですが、それに関して何か説明ができることはないですか。

○浦添市：牧港補給地区は統合計画で4分割返還ということで、北側進入路は1haが2013年に返還されています。

第5ゲート付近の2haについては、防衛局からは統合計画で2013年以降となっていますが、市としては一括返還を目指しています。それは地権者も議会も市もそうですが、

この2haが返還された場合、その部分だけの区画整理とかそういう予定もなく、結局、地権者にかなり負担を強いることになるということで、市としては一括返還でお願いしています。防衛局も早く返還したいということなんですが、それでは困ると、計画もない、返還されて区画整理もできない。返還される部分には袋地になっているところもあるので、結局は活用できないということで、地権者の方に非常に不利益をこうむることになるので、返還はあくまでも一括返還でお願いしますということで、地主会も機会あるごとにそれぞれ関係機関に要請をしている状況です。

○事務局：既に返ってきているところで、今、実際に整備事業等をやっているところで何か問題とか、取り組んでいることがあれば紹介してもらいたいんですが、本部町はどうでしょうか。

○本部町：上本部飛行場という復帰前に返還された土地が31haございます。その31haのうち3分の1が町有地になっているんですが、3分の2が虫食い状態で民地になっている関係で、一気に開発というのは厳しい状況になっています。ただ、その土地について関心を示している県内企業があるものですから、そこと詰めながら開発について話を進めさせてもらっているところです。

○事務局：続きまして、北中城村のアワセ地区の整備状況について何かお話できることはありますか。

○北中城村：アワセゴルフ場跡地は返還された平成24年度から土地区画整理事業がスタートして5年を迎えています。平成31年度完了予定で進めていまして、進捗率も7割強ですので、おおむね順調に進んでいるかと思います。あわせて、大型商業施設や拠点病院となる医療施設も開業していますので、区画整理地内のまちのにぎわいとかも出てきていますので、今後、住民が張りついていけば、もっと活気が出てくるかなと捉えています。

○事務局：他に何か報告できることはありますか。

○沖縄県：今日は市町村連絡会議ということですが、跡地の情報を共有したくて参加させていただきました。沖縄県からのお知らせとしまして、県では5年前に中南部6市町村が協力しまして、返還予定の跡地が広域的な役割を分担しながら連携できるように、跡地利用広域構想を策定しました。今回策定から5年が経過して、具体的にこの中で西普天間住宅地区が返還されたりとかがあるものですから、これの更新に向けた調査を行いたいと考えています。つきましては、沖縄市、北中城村を含め嘉手納飛行場の南の市町村の皆様のご協力をいただくことがあるかもしれませんので、その際にはよろしくお願いします。

○事務局：他に何か報告したいことがあればお願いします。

○本部町：報告事項ではなく質問なんですけれども、昨年まで先進地視察があったかと思うんですけれども、市町村にとってはその場でしか顔を合わせる機会がなくて、交流の場としては大変いい研修で、他府県のまちづくりを知るという面からも大変よかったと思ったんですけれども、今年も考えているんですか。



○事務局：先進地事例研修は今年度も実施します。この市町村支援事業の中で触れられていないのは、予算が別でして、本来は市町村支援事業といいますか、跡地に関する支援の一環なんですけれども、別財源ということもあり、ここでは触れられていないのですが、今年度も実施します。

#### ＜今後の市町村支援事業の取組予定について＞

○事務局：市町村支援事業の今後の予定としまして、先ほどご案内したとおり、跡地関係市町村の「個別訪問」を5月末から6月にかけて予定しています。現在、訪問日程等を調整させていただいておりますので、ご協力方よろしくお願ひします。

また、7月には新たな取組として、「セミナー」の開催、8月には第1回目の「個別会議」を予定しています。「セミナー」の内容としましては、跡地利用計画の実例紹介や土地区画整理事業の仕組みなど、跡地利用計画に資する基礎的な知見の共有を目的としており、「個別会議」は昨年同様に、嘉手納飛行場より北と南の区域と分けて、それぞれに適したテーマを設定して、有識者の講演及び意見交換を含めて開催する予定です。

なお、「セミナー」や「個別会議」のテーマについては、本日のアンケート結果や推進懇談会委員のご意見を参考に検討していきますが、何かご希望がございましたら「個別訪問」の際にでも改めてお知らせいただければと思っています。引き続きご協力よろしくお願ひします。

#### ＜その他＞

○事務局：最後に2つほどお願ひがありまして、例年、一括交付金の概要と成果物の内容をホームページへアップしています。そのために、まず配付資料で平成28年度の一括交付金の跡地関係分がこれだけありましたというもので、まずは沖縄県、那覇市、宜野湾市、浦添市、恩納村、読谷村、北谷町、北中城村、金武町にはこの概要を確認していただき、後日行う各市町村の個別訪問に行く際に間違っている部分等があればお知らせください。

それと同時に、この一括交付金で行った調査等の成果物を例年CD媒体と印刷物でいただいておりますので、ヒアリングの際にいただければありがたいと思っておりますので、ご協力のほうをお願いします。

ホームページへのアップの方法は、配付資料のような概要で、フォーマットは少し違ってきますが、これについては、国民全員が見れるようなサイトに掲載します。中身や成果物につきましては、市町村担当者だけが見られるサイトのほうで閲覧できるようになりますので、その旨、ご承知ください。これは毎年お願いしているものでございます。

それともう1点は市町村ヒアリングを今月末から行う予定ですが、その際にご協力をお願いしたいと思っています。このヒアリングは、公にも公開している跡地カルテとか、その他書物の更新、情報の整理がひとつの目的となっています。それと公にする

ことは難しいが同じ行政機関として共通認識すべきこと、それらについても聞かせていただきたいと思います。そこを私ども行政機関が共有することによって、公表できるものの説明を力説できるものと思っていますので、その辺の情報提供をよろしくお願いします。

それと最後の目的なんですけれども、私どもも現場を全て細かく了知しているわけではなく、ある意味、机上の空論となってしまうところもあるものですから、それらを避けるためにも、各市町村の方々から教えを請う機会としてこのヒアリングに参りますので、その際にはご教授よろしくお願いします。

### 3 《参考》跡地関係市町村連絡会議に対するアンケート結果

跡地関係市町村連絡会議に対する出席者の意見・要望等を把握するため、全出席者に対してアンケートを実施した。

質問項目は次のとおり。

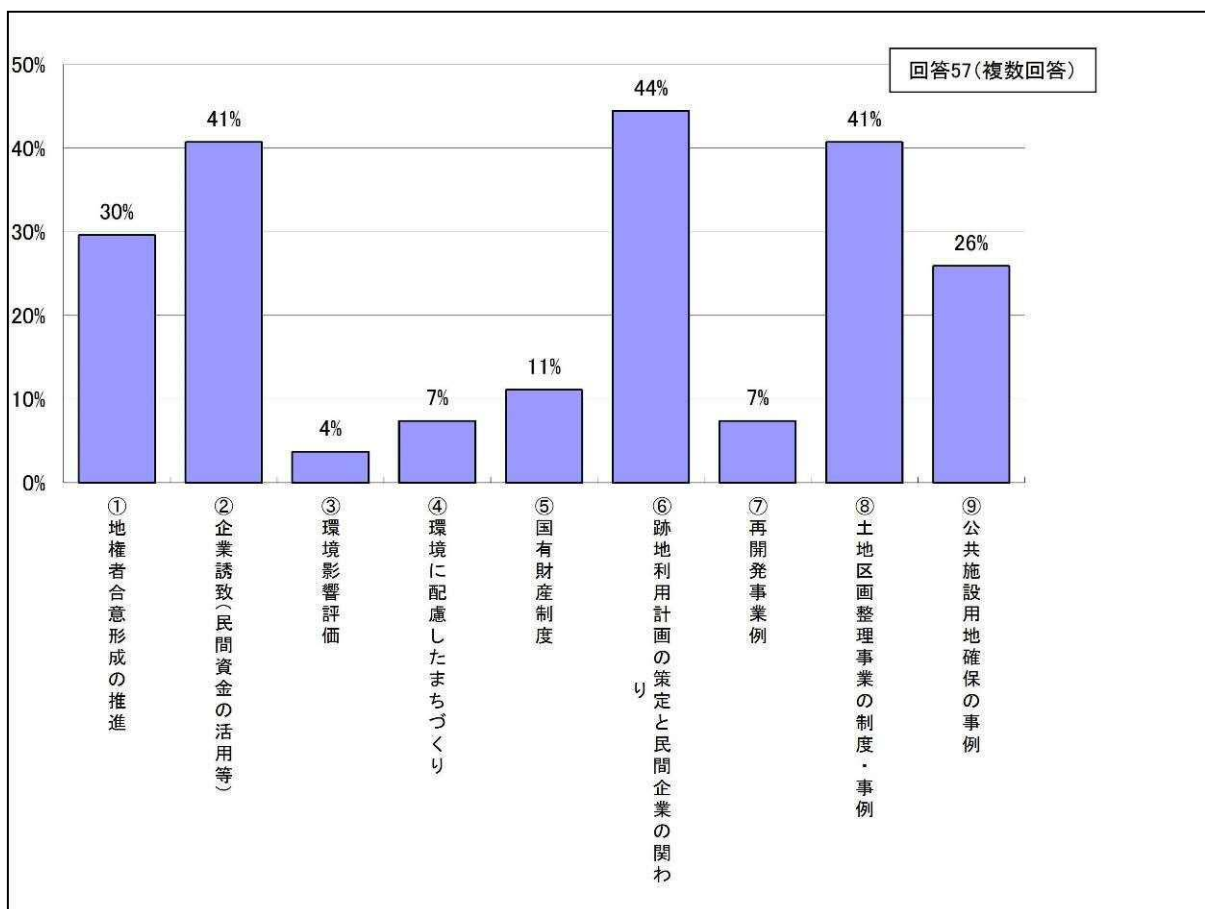
- Q 1. 今後の意見交換及び情報提供として取り扱って欲しいテーマは何でしょうか。  
 Q 2. 今後の市町村支援事業で取り組んで欲しいこと又はアドバイザー等専門家派遣に関する意見（疑問点等）をご記入下さい。

（跡地利用支援システムの充実に向けて）

システムQ 1. 本日のシステム操作説明を受けて、重ね合わせを行いたい図面や地図データがございましたら、図面、地図データの概要（記載内容、データフォーマット）等について、お分かりの範囲でご記入ください。

システムQ 2. 図面や地図データのほか、跡地利用を進める上で必要と思う資料やデータ、システム機能の拡充へのご要望がありましたら、下記にご記入ください。

#### Q 1. 今後の意見交換及び情報提供として取り扱って欲しいテーマは何でしょうか。



●具体的な内容

| 選択肢                 | 具体的な内容                                                     |
|---------------------|------------------------------------------------------------|
| ②企業誘致（民間資金の活用等）     | ・ 誘致の事例紹介<br>・ 大規模企業の誘致事例                                  |
| ⑤国有財産制度             | ・ 国有地の売却、譲渡の事例紹介                                           |
| ⑥跡地利用計画の策定と民間企業の関わり | ・ 計画策定に係る民間企業の参加のタイ<br>ミング<br>・ 大規模企業の誘致事例                 |
| ⑧土地区画整理事業の制度・事例     | ・ 減歩率緩和方策<br>・ 港機能を有する事業の事例<br>・ 跡地特措法<br>・ 周辺市街地と一体となった整備 |

●自由意見

なし。

**Q 2. 今後の市町村支援事業で取り組んで欲しいこと又はアドバイザー等専門家派遣に関する意見（疑問点等）をご記入下さい。**

- ・ 同じような課題を抱えている市町村と意見交換できる場が欲しい。
- ・ 市町村職員を対象としている研修（講演）等が予定されているのであれば、地主会の会員、また、地主の次の世代で参加を希望する方にも参加する機会があれば、その方々が跡地利用に関する知識が得られるのではないかな。
- ・ アドバイザーの派遣回数を増やして欲しい。

(跡地利用支援システムの充実に向けて)

**システムQ1. 本日のシステム操作説明を受けて、重ね合わせを行いたい図面や地図データがございましたら、図面、地図データの概要（記載内容、データフォーマット）等について、お分りの範囲でご記入ください。**

- ・道路開発計画等、道路交通網
- ・地盤高などの高さの情報
- ・（既にあるかもしれないが）都市計画法の用途地域、農用地等の周辺地域の土地利用規制
- ・提供施設区域界の部分だけでもいいので、地番がわかるとありがたい。

**システムQ2. 図面や地図データのほか、跡地利用を進める上で必要と思う資料やデータ、システム機能の拡充へのご要望がありましたら、下記にご記入ください。**

- ・住民説明会資料等で活用できるようデータを加工しやすいものにして欲しい。
- ・1つ1つは面倒なので、文書を一括ダウンロードできるようにして欲しい。
- ・地主会にもID発行してもらい、若手地主の勉強会でも使用できるようにして欲しい。

